

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	久保田 理

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教学（旧約聖書）	1	前期	必修	はい	98

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①1年生の必修科目であるため、受講動機はその点に集中している。</p> <p>②チャペルアワーと関連付けられた科目であるため、聖書を読むこと、祈禱をすることの実践を毎回の授業で行うことで、youtubeチャペルの視聴意識を高める。</p> <p>③キリスト教に対する理解を持つことを目的に、キリスト教の礼拝で行われていることについて段階的に講義を行う。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均点は85点であり、再試対象は0名であった。</p> <p>全員が標準的レベルに達していた。</p> <p>知識理解という点では十分な理解が得られたと考えられる。</p> <p>実践の点ではyoutubeチャペルを視聴しレポートを実施することで、キリスト教礼拝を体験することが授業内容の確認につながったと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「総合人間科学」の「文化と宗教」であるが、本学の建学の精神である「感恩奉仕」を学ぶ科目であり、必修である。多くの学生がキリスト教に馴染みがないため、社会との接点を示しながら理解の助けとしたことから、内容的には妥当であると考ええる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容の妥当性 成績評価から達成度は十分と判断出来ることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価における平均値は問題がないと考えられる。 学習量の評価では、予復習時間の解答に「0回」が多かったこと、また自発的学習の解答に「していない」が多かったが、授業の内容で理解できたとする解答も多く、課題を出す等で対応することも考えられる。 また、学生の意見でも「何をすれば良いかわからない」があったが、この点も課題を出す等で考えられる。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>キリスト教主義学校としてキリスト教理解の入り口となるのが本科目の位置付けである。その意味では知識理解の形成では達成出来た。また、youtubeチャペルの視聴と合わせて、キリスト教礼拝の実際にもふれる機会があり、理論と実践の実施も出来ている。キリスト教の価値観を学ぶことは、新しい視点を得ることにもつながり、判断の多様化を促すことにもなっている。 ただし、そのことを得たと実感することとは別になっている面もあり、本科目の課題として考えて行きたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	浅野 嘉延 ・ 東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
キリスト教と西南女学院のあゆみ	1	前期	必修	はい	98

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>科目の名称通りキリスト教に重点を置き、また、西南女学院と大学の歴史的転換点においての内部での議論やその後の方向性について講義出来る方々を厳選させていただき、講義を行った。宗教主任補佐のラス・ボーク先生は本学院についての研究者であるため、動画による3回の講義をお願いした。クラスポートフォリオ7回、及びまとめレポート30点で合計100点とし、すべてGoogle Classroom経由で回収するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の出席率は全ての講義時間において各学科で90%を超えており、出された回答は熱心に書かれ、講義の内容も十分に把握されていた。講義者により多くの画像が配信されたため、印象深い回答がほとんどであった。したがって大部分の学生の成績は優、あるいは秀であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP：この科目は総合人間学の必須科目であり、本学の寄付行為や建学の精神、また、大学の設置趣旨の最初の項目に相当し、CP上妥当であると考えます。

DP：この科目の目標は①西南女学院の歴史を知り、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深めることができる。②設立者や宣教師たちの精神と働きを学び、「西南女学院生」としての自己形成を深めることができる。③キリスト教に基づく女子教育の意義を理解し説明できる、であり、DP1-1とDP4-1に相当しており妥当と考えます。

上記より、内容的妥当性に問題はないと思われる。

なお、全学科の到達度自己評価の平均値は3.8で、自由記述からも特に問題点は見られなかった。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業の質評価では、全学科で提出物の評価基準、学習範囲や課題、理解しやすさの平均は4.3であった。しかし、ネット授業のため学生参加の機会、質疑応答の機会が乏しいとの評価だった。次年度、対面授業が再開した際には、学生が発言できる機会を積極的に設けていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

昨年に引き続き本年も遠隔授業を行わざるを得なかったが、遠隔授業参加への積極性はどの学科の学生も高かった。次年度は100周年ということもあり、引き続き、本学の歴史や特色を十分に理解した上で、それぞれの専門科目に取り組み、西南女学院生としての自己形成の土台を築くことができるよう、内容を工夫したい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	目野 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
初年次セミナー I	1	前期	必修	いいえ	98

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①昨年度の課題であったグループ学習については、グループ学習導入として講義3回目に学生の交流を図る時間を1コマ、また、ミニレポートやレポート作成の進行途中にも学生間の意見交換を行う場を設けた。</p> <p>②昨年度に引き続き、担当教員5名で、講義前後に講義の内容・指導方法について詳細な打ち合わせをした。また、講義の指示内容については、教員間で統一をはかった。</p> <p>③学生の学習スキルをアップするために、ミニレポートではレポートの書式（構成）と文献検索スキルの習得を重点に、レポート作成では、講義回数を増やし、レポートの内容、つまり、問いをたてる→レポートテーマをみつける→文献を検索する→文献に基づき自身の考えをまとめる、という考える・思考に重点においた授業を展開するようにした。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された		達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①総合評価の平均値は80.0点（±7.0）で標準的レベル(70点以上)に達した学生は96%、理想的レベル(80点以上)に達した学生は55%だった。レポートの平均得点は38/50点（得点率76%）で74.5%の学生が標準的レベルに達していた。</p> <p>②DP観点別の成績は、知識理解の得点率が75%で74%の学生が標準的レベルに、関心意欲の得点率は80%で85%の学生が標準的レベルに、態度の得点率は95%で学生全員が標準的レベルに達した。</p> <p>③学生の到達度自己評価の平均値は3.9、"知識を確認・修正・新たに得ることができた4.2"、"専門分野の課題を検討する力を得ることができた4.0"、"専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた3.9"、コミュニケーション力や表現力を高めることができた4.2"であった。</p> <p>④授業の質評価は、"レポートなどの評価基準の明確さ4.3"、"学習の範囲や課題の明確さ4.4"、"話し合う、発表するなどの機会があった4.5"、"学生の質問を受け付け答える機会があった4.4"だった。</p> <p>⑤学習量の評価は、1回30分の予習・復習を4～5回以上した学生が33・36%、課題以外に学習に取り組んだ学生が28%であった。傾向として昨年より"主体的に学習に取り組んだ"とする学生の割合が10～20%減少した。自由意見より課題をやるだけで精一杯だったことが窺えた。</p> <p>⑥図書館利用率は62%、学術データベース利用率は81%、インターネットなどの利用率は91%だった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 初年次教育として基本的な学修スキルを学び、それを専門基礎科目・専門科目で活用できることを目的としている。講義内容は、看護学科の学生を意識したもので、科目の位置づけとしては妥当であると考えます。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 評価点、観点別学習達成度（知識理解、意欲関心、態度）及び学生の到達度自己評価などから、科目内容は妥当であると考えます。</p> <p>③まとめ 以上より本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であると考えます。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①昨年の課題であったグループ学習については、最初にグループの関係性を築くためにアイスブレイクを取り、講義途中にも意見交換・発表と、グループ学習を取り入れたためか、途中でオンライン講義に切り替わったものの学生の意見からは、問題なくグループ学習に取り組めたことが窺えた。</p> <p>②学術データベースを使い文献を探すなどの情報検索のスキルは、概ね身に付けたようである。</p> <p>③レポート作成については、批判的思考に基づいた文献の読み方、書き方などに課題が残った。今後、プログラムに批判的思考を意識した取り組みについて検討する必要がある。</p> <p>④学生の主体的学習量は減少していた。学生の自主性に任せるのではなく、レポート課題から派生する主体的学習を教員側から具体的に示す必要があるかもしれない。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>1年で学ぶ学修の基本スキルズを修得するという目標は、自己到達度評価、授業の質評価、そして成績からみて概ね達成できた。5名の担当教員が、講義の前後で詳細に打ち合わせをし、学生の学習状況を共有するなどの取り組みの成果もあったと思われる。批判的思考の育成や主体的学習を促すことについては、レポートに関連した学習を自主的に促すような具体的取り組みを引き続き検討する必要がある。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
運動と健康	1	前期	必修	はい	98

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業においては、学生の興味・関心を引きつけられるように、健康に関する身近な事例をできる限り多く挙げるようにした。</p> <p>毎回の授業において理解度チェックを行うと同時に、質問を受け付けることによって、学生の理解度を把握し、理解が不十分であったと思われる事柄については次回の授業で説明を行った。</p> <p>毎回の授業内容について復習、ならびに復習の過程でさらに興味関心を持った内容について調べ、まとめたノートを提出させることによって、学生の学習の状況を確認した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は72.7（±112.0）点であった。成績分布別にみると、90点以上が7%、89～80点が17%、79～70点が36%、69～60点が36%であった。ほとんどすべての学生が標準的レベルに達しており、そのうち24%の学生が理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成した」では、「かなりそうだと思う」が23%、「わりにそうだと思う」が52%、「まあまあそうだと思う」が20%とほとんどの学生が肯定的に捉えていた（平均値3.9）。</p> <p>「知識・理解（DP1）」に関する学生の到達度自己評価については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」という質問では、「かなりそうだと思う」が38%、「わりにそうだと思う」が43%、「まあまあそうだと思う」が16%と、ほとんどすべての学生が肯定的に捉えていた（平均値4.1）。また、「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」という質問では、「かなりそうだと思う」が29%、「わりにそうだと思う」が48%、「まあまあそうだと思う」が16%と、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた（平均値4.0）。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>総合人間科学の「女性と健康」領域に含まれる科目である。授業では主に定期的な運動がどのようにして生活習慣病を予防し、体力を向上させるか、さらには運動の効果をより大きくするために、どのように運動を計画していくのかなどについて解説を行った。「自分なりの目標を達成した」および「知識・理解 (DP1)」に関する学生の到達度自己評価では、ほぼすべての学生が肯定的な回答を行っていたことから、本科目はDP、CP、カリキュラムマップの位置づけからみて内容的に妥当であると考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価では、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」以外の質問では、平均値が3.6～4.3であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。</p> <p>学習量の評価についてみると、予習（1回30分程度以上）については、「0回」と答えた学生が56%、「1回」が19%、「2、3回」が17%、「4、5回」が3%、「6回」が5%いた。一方、復習（1回30分程度以上）については、「0回」と答えた学生が40%、「1回」が17%、「2、3回」が18%、「4、5回」が7%、「6回」が18%いた。このように40～56%の学生が習慣的に予習・復習を行っていたことから、学習に対する動機づけはある程度行うことができた考える。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>目標は概ね達成できたと考える。 今後はさらに学生が内容を理解しやすくなるような工夫と、学習に対する動機づけをさらに行なっていく。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
チームスポーツ	1	前期	選択	はい	114

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、からだを動かすことが中心のスポーツ実技の授業であり、学生が積極的に自律心をもって楽しく行えるように、指示は必要最小限にした。また、カロリーカウンターを用いることによって、授業中の歩数や消費カロリーを把握させ、からだを動かすことへの動機づけを図った。</p> <p>チームスポーツでは、チームのメンバーが固定的にならないように、種目が変わる毎にメンバーの入れ替えを行い、できるだけ多くの人とコミュニケーションをとることができるよう工夫した。また、試合後には必ず良かった点や悪かった点、次の試合に向けての改善点（課題）などをチームで話し合わせ、記録用紙にまとめさせることによってチームで活動することの意義を考えさせた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は86.4（±9.4）点であった。成績分布別にみると、90点以上が23%、89～80点が69%、79～70点が7%、69～60点が1%であった。ほとんどすべての学生が標準的レベルに達しており、92%の学生は理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそうだと思う」が48%、「わりにそうだと思う」が38%、「まあまあそうだと思う」が13%とほとんどすべての学生が肯定的に捉えていた（平均値4.3）。</p> <p>「知識・理解（DP1）」に関する学生の到達度自己評価（質問項目2と3）についても、「かなりそうだと思う」が23～40%、「わりにそうだと思う」が37～39%、「まあまあそうだと思う」が21～28%と、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた（平均値3.7～4.1）。</p> <p>「態度（DP4）」に関する学生の到達度自己評価（質問項目9）についても、「かなりそうだと思う」が23%、「わりにそうだと思う」が32%、「まあまあそうだと思う」が32%と、多くの学生が肯定的に捉えていた（平均値3.6）。</p> <p>「技能・表現（DP5）」に関する学生の到達度自己評価（質問項目7と8）についても、「かなりそうだと思う」が37～51%、「わりにそうだと思う」が27～28%、「まあまあそうだと思う」が19～27%と、多くの学生が肯定的に捉えていた（平均値3.6～4.2）。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は総合人間科学の「女性と健康」領域に含まれる1年生対象の科目である。授業では体力向上を目指した運動（ストレッチング、筋力づくり運動およびスタミナづくり運動）の実施方法を実技を交えて解説した。また、チームスポーツ（バスケットボール、バレーボール、フットサル）の技術練習およびゲームを行った。特にチームスポーツでは、授業の最後にゲーム中の良かった点や悪かった点など振り返り行わせ、次に向けてのチームの課題について話し合わせた。その結果、回を追う毎にゲーム中の声掛けが良く行われるようになり、より積極的なプレーが観察されるようになったように思える。このようなことから、本科目は内容的に妥当であると考ええる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価は、平均値が3.8～4.4であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。</p> <p>本科目では、各種トレーニングおよび球技スポーツを実技として行うため、講義の時のような予習・復習を必ずしも必要としていない。そのことを反映してか、ほとんどの学生は予習・復習を行っておらず、その必要性もないと考えている学生も数人いた。このことに対しては、球技スポーツのルールや練習方法を調べさせ、レポートとして提出させるなどしたいと考えている。</p> <p>また、日常生活を活動的に過ごすことが、健康や体力の維持・増進につながることを考えれば、学生自身に日々の歩数や消費カロリーを記録させ、それを提出させることは、運動することへの動機づけになると考える。すでに学生の中にはウォーキングや筋力トレーニング、ストレッチなどを行っていた者もいた。来年度は、このような活動的な学生が更に増えるように工夫したいと考えている。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>概ね目標は達成できたと考える。</p> <p>今後の課題としては、本実習以外でも積極的にからだを動かし、健康の維持・増進に努める学生の数を増やすことである。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	倉富 史枝

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
共生社会とジェンダー	3	前期	選択	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ジェンダーに関しては、身近な問題でありながら意識されていない場合が多いことから、アクティブラーニングを実施するにあたって、アニメや身の上相談などの紙媒体、ネット上の映像、ニュースや映画の予告、CMなどの新しい動画を教材として準備した。学生にもその旨シラバスに記載し、身近なテーマから授業に関心を持てるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>評価は、最終授業の中でジェンダーを原因とする格差が解消した未来の共生社会を新聞記事として表現し、これに対し当事者性のある課題をどこまで社会的解決に結びつけるかを採点の基準とした。ほとんどの学生がジェンダーを自分の問題としてとらえる力は身につけていた。授業の感想においては、現代社会におけるジェンダーをめぐる諸問題に関心を持ち、自分の考えを述べることのできる思考力が確認された。選択科目であり、テーマに関心の高い学生が集まったため意欲関心は高かったと思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>新聞記事として表現された内容から、現代社会におけるジェンダーをめぐる問題を社会的解決が必要であること、実現するための施策などへの理解は達成できたといえる。また、思考判断や意欲関心についても達成されており、おおむね内容的妥当性は認められる。ただし、国籍、人種、障害の有無などに関わらず多様な人々との共生をジェンダーの視点から総合的に捉え、女性が自立的に社会参画に関する問題を理解し、課題解決の方策を考える点は不十分な学生もいた。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>オンライン上ではあったが、アクティブラーニングとなるようブレイクアウトルームを活用し、講師と学生、学生同士で意見を交換しながらワークショップ形式で授業を進めることができた。毎回、発表する担当者を決めて、またグループで発表内容を検討するなどして、主体的な学びの場となった。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>ジェンダーや共生社会という概念については、もともと知識のある学生と全く初めて接する学生に分かれていたが、最終的には基礎的な知識を身につけたものと思われる。身近な問題を社会的施策といった政治や経済と関連する理解を今後はさらに深める必要はある。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	伊藤 直子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保健福祉学入門	1	前期	必修	はい	98

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、1年生前期に配置された必修科目である。保健福祉学部の教育への導入科目となっている。看護学科、福祉学科及び栄養学科における学びをスタートするにあたり、保健・医療・福祉の専門性を理解するために本学教員の学問領域にふれ、多職種協働の意義を理解し、社会の期待に応えるための課題の認識を深めていくものである。</p> <p>受講動機には「必修科目である」が95.9%となっており、「関心のある内容である」は17.5%であり、初学者である受講生にはシラバスのみでは、授業の意図する部分については理解されにくいことが考えられる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は、80.9点、再試対象者は1名であった。標準的レベルに達した者99.0%、内、理想的レベルに達した者58.2%であった。</p> <p>目標別にみると、知識理解は81.8%、関心意欲は82.7%、態度は70.5%であった。</p> <p>到達度自己評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が4.5、「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができた」が4.4、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」が4.3、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」が4.2、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」が4.2であり、科目の教育目的は一定の成果が出ていると評価できる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、保健福祉学部の教育を学ぶにあたっての必修の導入科目である。 到達度自己評価および最終的な成績評価からも科目の目的は、果たしていると判断でき、内容的にも妥当であると考えます。</p> <p>②DP,行動目標からみでの内容的妥当性 知識理解、意欲関心及び態度に位置付けられた科目である。知識理解は81.8%、関心意欲は82.7%、態度は70.5%であり、概ね内容的には妥当であると考えます。態度については、オムニバス形式の講義となるため、講義開始前の導入について、担当講師との打ち合わせを次年度はさらに詰めていくことが大事と考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」については、平均値4.6であるが、一方で、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」が平均値2.4、「口頭、文書など、なんらかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」が平均値2.4であった。 この結果から、主体的学習を促すための教育方法については、一方的講義とならないよう教育方法の検討が必要と考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目の達成状況については、授業成績及び授業評価アンケートより計画している状況は、概ね達成できていると評価できる。 教員と学生、または学生間の双方向コミュニケーションを取り入れた教育展開について、更なる授業方法の工夫を担当いただく先生方と検討していきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	目野 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生物と生命科学	1	前期	選択	いいえ	91

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機が、「関心ある内容と答えた学生が49.3%」と低いため、まず、興味関心をもってもらうことを一番とした。講義では、興味や関心をもてるように”日常生活のなかで気づく体の正常なしくみと異常(疾患)”に焦点をあて講義を行った。</p> <p>②学生の復習の機会を早期からつくる目的で、昨年から実施した小テスト2回の導入を今年度も実施した。</p> <p>③講義への積極的な参加を促す一案として、今年度は、教員側から学生に質問をする、また、講義の振り返りとして、学生にスライドを見ながら復唱してもらおうなどの取り組みを行った。</p> <p>④講義の後半に必ず質問を受ける時間をとった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①総合評価の平均値は77点（±10.6）で、80%の学生が標準的レベル（70点以上）に達し、理想的レベル（80点以上）に達した学生は47%であった。筆記試験の平均点は43/60点（得点率72%）、小テストの平均点は15/20点（得点率75%）、講義後の提出課題の平均点は9.5/10点（得点率95%）と、いずれも得点率は70%を超えてはいたが、再試験対象者が5名いた。</p> <p>②学生の到達度自己評価では、「学びを深めたいと意欲をもつことができた4.3」、「新しい知識など得ることができた4.4」、「事象を理解する視点を得ることができた4.0」、「専門分野について課題を検討する力を得た4.3」ではあったが、「自分なりに目標を達成した」は、3.8であった。</p> <p>③学習量の評価をみると1回30分の予習・復習を4～5回以上した学生が28%・53%、課題以外に学習に取り組んだ学生が77%であった。また、学生からは、「解剖生理学の教科書を用いた」、「疾患について調べた」、「提示されたポイントの整理をした」、「ノートを作った」などの意見がある一方、予習・復習をしていない学生が、19%・1%と主体的学習量に差がでていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 大学で学ぶ生物学として、専門科目を意識した内容、また、一般教養科目として1年生を対象にしたカリキュラム上の位置付けは、学生の自由意見、「高校生物よりもっと詳しいことを学ぶことができ楽しかった」、「形態機能学の授業と結びつけた」などから妥当であると考える。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 看護で学ぶ専門基礎科目（形態機能学、疾病学など）に繋ぐための講義内容は、学生の学習達成度及び知識理解到達度からみて妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 上記で述べたように、本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であると考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①今年度の授業の質評価は、"テストの評価基準の明確さ4.5"、"課題の明確さ、説明の理解しやすさはともに4.6"、"質問を受ける機会を設けていた4.5"とある程度の評価を得たので、今年度の授業改善の取り組みを来年度も継続し行う。</p> <p>②特に、学生の主体的な講義への参加を促すために、教員側から学生に質問をする、また、講義の振り返りとして、学生にスライドを見ながら復唱してもらうなどの学生参加型の講義の取り組みは、次年度も継続し行い、学生の目標達成状況の動向をみていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>・講義内容に興味、関心を持ち、関連する専門基礎科目につなぐために必要な基礎知識を習得するという目的は、学生の到達度から見て、やや達成できたと思われる。今後、引き続き今までの授業改善を継続し実施する。加えて、遠隔授業で学生参加型の授業機会をとりいれたことは、学生の反応、講義に対する理解度の把握や積極的な講義姿勢を促した点で一定の成果があったと考える。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	齋藤 朗宏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
数学リテラシー	1	前期	選択	はい	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>例年通りではあるが、1年生、全学対象、かつ苦手な学生の多い数学ということであり、また、受講の動機からも、基本的には興味関心よりは単位取得を目的として受講している科目であるため、内容理解へのモチベーションを上げる必要から、テーマを身近なものにすることを特に意識した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業アンケートにおいては、本科目は到達度自己評価における(1)～(3)と関係が深いと考えられるが、この3カ所について、概ね「まあそうだと思う」以上の評価は得られており、やや達成されたとみればきであると思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

本科目は特定の学科のカリキュラムに関連すると言うよりは、全学共通の教養科目であるため位置づけは難しいが、学習到達度について概ね達成されたと評価できるため、この点についても大きな問題はないと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

PCを利用した実習を含めた授業内容である点から、オンライン授業の中でも特にオンデマンド形式との相性が良いとの判断から、昨年度に引き続いてオンデマンド形式の授業を実施し、質問等はClassroom内で受け付ける形式を取ったが、特に新入生が多いということもあり、知らない学生の中で質問するのは難しかったようで、質問、交流の機会に関して不足であった部分が見て取れた。全7回と回数の少ない授業で交流の機会を作るのは中々難しいが、最初の方の回でアイスブレイクを兼ねたグループワークの機会を作るなど検討したい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

過去にグループワークをベースとした評価を行った結果不満が多く、個人課題に切り替えた結果、評価に関する不満がなくなったという経緯があり、あまり成績に影響を与えるグループワークを実施するのも難しいと考えられるが、成績に大きな影響を与えない範囲で部分的にグループワークを取り入れることは可能であると考えられ、そういった取り組みも検討したい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こころと人間	2	前期	選択	はい	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>現代社会はストレス社会であると感じる。心理学の分野に期待が高まっている。本講義では基本となる心理学一般の基礎知識や教養的知見の修得を目指しながら、専門性のある生涯発達心理学の視点から授業を組み立てている。それは今を生きる学生に最も必要な「生き方の模索」に関わる問題だからである。昨年度の大きな課題は講義中の集中力をいかに途切れないようにキープさせるかという点であった。このため講義途中で「映像」を多く取り入れた。自由記述などを読むと概ね成功したと理解できる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度に引き続き、全体を通して達成されたという根拠は「定期試験の結果」である。優れた及び良しの合格点を取った学生はほぼ100パーセントに達した。定期試験は記述式がその中心であるが、記載の内容も的を射たものであり、しっかり書かれており理解の進んだものであった。また学生の授業評価アンケートの記述にも「ためになった」「分かりやすかった」「面白かった」などが多数あり知識理解と意欲関心について一定の水準を保ったことが伺えると思った。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>昨年度と同様に、毎回の授業について、ミニ感想や質問を自主的に書いて提出するように求めている。この効果は大きく好評のようである。自由記述を見ると、これに関する「質問の回答の時間が一番良かった」「心理学だけでなく先生の人生の話が面白かった」等の記述もあり、本科目の目標である「ストレスの多い現代社会を生き抜く健康な心構えを形成する」というねらいが達成されたと評価できる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>昨年度の問題点であった、自学自習を促すための「次回の授業までに日々の生活の中で心にとどめておいてもらいたいこと」を伝え方が良いのではないかと授業アンケートの結果からまだまだ改善されていないと言える様である。昨年同様に学習量を高める工夫の一つとして予習の課題設定を今後さらに試行継続してみたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>講義シラバスで年度当初の学生に期待した行動目標は概ね達成出来たと思う。しかしまだ授業中に集中力が途絶え、睡眠モードに切り替わる学生が幾人が存在する。注意の仕方に工夫をくわえたい。睡眠学習者0を達成するのは容易ではない。今年度取り組んだ映像や教師の発問、討議話題の挿入などまだ工夫の余地を継続して続けたい。がんばりたいと思う。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	永松 有紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生活の中の化学	1	前期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 生活に関連する化学物質・化学的現象を中心にしながら、講義内容の構成を行った。</p> <p>2. 本科目を担当する初年度ということもあり、受講学生が高校で学修した「化学基礎」の理解度を確認しながら、不足部分を補う内容に適宜変えて各回の内容を進めてきた。</p> <p>3. 女子学生が興味ある「生活の中の化学物質（例：化粧品、食品、サプリメントなど）」について、毎回取り上げ、単調な講義内容にならないように準備した。</p> <p>4. 全て遠隔形式で行ったが、双方の授業となるように、質疑応答がしやすい環境作りをした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	どちらともいえない			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 本試験を受験した全学生が合格点を取り一定の到達度に達したということから、教育目標はやや達成されたと考えられる。</p> <p>2. 各回の学生への復習内容の質問に対して、一定の回答が返せており、教育目標に関して標準レベル（標準：身近な化学の基本的な知識をよく理解し、それを人に説明できる。）は7割程度達成したと考えられる。</p> <p>3. 本試験素点とレポート点との2つによる総合評価であった。本試験素点だけで知識理解度を評価すると、持ち込みを許可した試験であったにもかかわらず、解答が不十分な箇所もありDP1に関しては達成したとは言えない。レポートに関しては、優れた内容も多く、授業に対する姿勢は十分に評価できる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

1. 科目名からも生活に関する「化学」の内容であることが分かりやすく、また関心も持ちやすい。これを念頭に置き、文系の学生であってもこれからの学生生活、卒業後の生活に役立つ内容も織り交ぜたことで、教養科目として十分に内容的妥当性があると考えられる。
2. 専門科目との関連性は低いが、講義内容は科学的思考力を養うことができるように構成しており、内容妥当性は十分にある。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

1. 高校までの理科の選択状況・化学の学修状況は学生により大幅に違うため、すべての学生の受講開始前の状況を把握することはできない。従って、講義内の学生との質疑応答で状況を判断しながら、適宜説明を補足した。しかしながら、想定外に化学的知識がないケース（中学校以下での学修内容の欠落）も多々あり、自己学修である程度補うように助言した。
2. 不明点は、講義中に直接、またはメールで質問ができるように声掛けしたことから、複数の学生からほぼ毎回質問が出た。しかし、成績評価対象であるレポート課題の解答内容に迫る質問に関しては、公平性を期して直接的な解答を避け、自身で調べ学習をするように促した。
3. 双方型となるように心がけたところ、質問に対して自分なりに考えた解答をする学生がほとんどであり、総じて講義態度が良かったと思われる。
4. 初年度の担当であったため、学生の入学時の化学とその周辺知識のレベルが不明であった。初回講義時に、アンケート調査や簡単な小試験等により、受講学生の状況を客観的に把握する必要がある。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

1. 受講学生が少なかったため、講義中および講義後に積極的に質問をする学生が多く、全回が遠隔形式であったが、双方向型の講義ができた。
2. ほとんどの受講学生が、生活の中の化学的現象や化学物質に一定の興味を示し、今後の生活に役立つことを多少なりとも認識できたようにみられた。
3. 一方、目に見えない原子、電子等、化学反応、濃度計算、公式の活用についての理解度は、当初の目標よりも低く、開講時の化学関連内容の理解度・知識レベルの把握とそれに基づく講義内容の調整が必要だと分析した。
4. 講義態度、出席状況については総じて良好であった。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
法学	1	前期	選択	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>回答者数は11名、回答率は91.7%であった。受講動機を見ると、「単位数を確保する」が72.7%、「関心のある内容である」が45.5%、「友人が履修している」27.3%であった。保健福祉学部3学科同時開講の科目のため、看護に特化した授業内容にするのは困難であるが、学生が具体的なイメージを持ちやすい事例を挙げて、関心を引き付けるように努めた。加えて、今年度は一部遠隔授業で実施したが、学生の身体面での負担軽減と集中力の維持にも重点を置いた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>今年度も昨年度と同様に、授業中の確認テスト・コメントおよびレポートで成績評価を行った。前期の素点の平均点は81.75点、理想的レベル（90点以上）に達した者は2名、不可と評価した者は0名であった。履修者は昨年の半分だが、平均点は昨年度(77.43点)より大幅に上昇している。学生による到達度自己評価については、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は4.4、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値は4.1であった。昨年度とほぼ同様の数値である。また、DPには加えていないが、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値は4.3、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値は3.7、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値は3.6、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値は3.5であった。これは「法学」という科目そのものの特性のほか、講義の中で社会における具体的な事件を用いて説明したことにより、講義のポイントを学生が理解できていることによると思われる。また「自分なりの目標を達成した」の平均値は3.9であり、学生の目的到達度は比較的高いといえる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみると、本学は「総合人間科学」科目であり、国家試験の試験科目ではないが、「単位目当て」の学生のみならず、内容に関心のある学生が多く履修している。この科目は、将来、対人社会サービスの担い手となる学生にとって、豊かな人間性と社会性を得るためには重要であり、学生も一定以上の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。②DP,行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考え。よって、内容的妥当性には問題ないと考え。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価のうち、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」、「期間内に行う学習の範囲や課題は明らかであった」、「説明は理解しやすいものであった」の平均値がいずれも4.4であった。これらは数値が大幅に上昇した昨年度よりやや低下しているが、比較的高い水準は維持している。また、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値は4.2であった。学習量の評価について、講義内で予習・復習のやり方について説明したが、全く予習をしなかった学生は10名、全く復習をしなかった学生は9名で、予習をしていない学生がほとんどであった。授業以外に学習していない理由として「時間がなかった」、「授業内で理解できたから」という意見が見られた。他方、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習については、「法律について調べた」との意見が見られた。学生の意見は特になかった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>総合人間科学科目とする本科目の位置づけから、人間を総合的に理解するための基礎的な知識の形成についてはおおむね達成できたと考える。今後は予習・復習の習慣が多くの学生に定着することを目指したい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	Daniel Droukis

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎英語	1	前期	選択	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>The students seemed to understand the course reasonably well but were probably thrown off by the ineptitude of the teacher in teaching the course based on the TOEIC test. It was very hard to match the content of the course with the students and it must have shown in the teaching of the class. How to teach this class in normal conditions would be tough but doing so online was even tougher. Establishing a goal for the lessons was extremely difficult and getting the students to relate the practice to something they could understand was very hard. I have no doubt that the students found the class very hard to do and were not really reassured by the instructor.</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>I am sure that students found it hard to reconcile the goal of the course and the content as it was presented. They were very charitable in their comments from what I could understand. Surely, they were able to gain a lot of experience in dealing with the language in a testing environment. This made the class beneficial for them in many respects. They seemed to feel that they gained some advantage from the course and surely they did but it could have been so much better in a regular classroom environment.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>An effort was made to match the goals of the course with the basic classe content. In a practical sense this was not always achievable due to the nature of the content of the course. A person more experienced in the content of the test and the needs of the students in preparing would have made this a much more beneficial course for the students</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>Surely the students benefit from the experiences of the course. A re-think on the part of the teacher and a better understanding of the problems that the students face in the test would make this a much more benficial class for the students. I have no doubt that many studetns felt that they benifitted from the class but this may be becasue of a lack of knowledge about what theu were preparing for, Surely, more attention could have been paid to the difficulties of the test and also the stresses of time limits etc. In a free class it is hard to appreciate the stresses of the actual test which the students at this point are unaware of.</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>In future it would be better if the teacher were better prepared for the situation that the students found themselves in Online in additon provied a great difficulty in presenting the materials effectively. Surely, a more experiecned person in dealing with online learning would have done a far better job. It is recommended that the future teaching of this be done by someone who has more direct experience with the test or at least has become more familiar iwth the stresses of the test process.</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	Daniel Droukis

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
実用英語コミュニケーション	2	前期	選択	いいえ	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>The main content of the material proved to be of interest to the students. This made the instruction of the course much easier to deal with in spite of the instructors lack of familiarity with medical matters. Finding the right level to focus on in the class was a challenge as the students' general language level had to be balanced with the natural complexity of the subject matter. Making the goals of each lesson more manageable for the students was essential. It was therefore difficult to deal the with text material as directly presented.</p> <p>The material in general was very easy for the students to relate to as we have all had many experiences in dealing with these topics in real life situations (although of course not in the target language). Adapting the large amount of vocabulary became easier as the course progressed as it could be determined how much the students could actually comprehend and then use.</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>It is certain that the students found the material in its orinal format a bit overwhelmg at first. With a little focus on certain voabulary or contrent it made the course easier to process. A lot of vocabulary with difficult to pronounce words made some areas difficut to progress through. Again, because we all have some experinece in medical situations it was easier for the students to comprehend the situations and again the dffiiicult vocabulary sometimes created great challenges. Limiting the area of the vcabulary helped as the students gained understanding in the content of the course.</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

Effort was made to relate as much of the situations of the course to actual medical experiences of the students. This was not always possible due to the nature of the materials but often the students were able to relate what was done in the text to real life situations. The complex vocabulary made some areas very difficult for the students to comprehend.

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

The students were able to benefit from the course because it was directly related to their employment goals. Surely, the students benefited from using the language in an area they have a great interest in even when the vocabulary may have been above their general understanding. They were given the opportunity to use the language in preparation for their future work. This aspect was not lost on the students who seemed to find much of the content of interest.

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

In the future this seems to be something that is of great benefit to the students as they are worried about their ability to use the language in an important situation. It seems that they came away with the feeling that the language can be of some use to them in their employment future.

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	金 光子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ハングル入門	1	前期	選択	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>韓国語が初めての受講者が多いことから、ハングル文字でつまづかないように経験上理解しにくいところを先回りして解説するなど、わかりやすい授業を第一に心がけた。また受講動機において、90%近い学生が「関心のある内容である」との回答をしていることからわかるように、もともとK-POPや韓流ドラマなどの影響を受けている学生が多く、できるだけK-POPアーティストや韓流ドラマ俳優などが使うフレーズや言葉なども文法学習で取り入れながら、学生が韓国カルチャー情報を見る際に実際役立つような授業も心がけながら、学生の自発的な韓国語学習を促すことに重点を置いて取り組んだ。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>毎週の提出課題についてみると、回数が進むにつれて学習の成果が表れており、後半に向けては完成度の高い内容の課題を出せるようになっていった反面、遠隔授業により目が行き届きにくい点もあったと考える。到達度自己評価の平均点、中央値からみて教育目標はやや到達したと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>本講義は語学学習を通じて韓国という国、地域、社会や歴史に興味を持ち、言語に現れる文化などの違いを理解し、また、習得した韓国語を実際に話してみることによって、異文化圏の人々との相互理解の一助になるものとするため、「人間の尊厳や多様性の理解と、社会をグローバルに捉える視点を修得している、看護の対象と良好な関係を築くことができる」と定めたDPに沿うものであり、カリキュラムマップにおける本講義の位置づけからみた内容的妥当性は問題ないとする。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>授業の進め方は課題の出来具合をしっかりと把握し、つまづいている受講者がいれば個人的に質問を受けて指導にあたったりもした。遠隔授業の進め方については学生からアンケートを取り、意見を取り入れながら授業の作成に臨んだ。授業の予習と復習の時間が若干伸びていないのは宿題が易すぎたか、自主性を重視したためか、評価に直接つながらない学習には積極的ではないと感じた。いずれにしても前期に履修すべき語学の基礎的レベルには達したと思う。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本講義ではハングル文字の書き方、正確な発音など、これからの発展的な語学学習の重要な基礎を身につけることができ、韓国語でのコミュニケーションの第一歩を確実に踏み出せたと考える。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本語表現法	3	前期	選択	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生たちが社会に出ても通用するためにも、まず書くということの根本理念の考察を皮切りに、小論文作成、わかりやすいということの奥義、また伝達文の書き方、敬語の問題、普通の文の作成、ぼかし言葉の意味、人間関係を円滑にする言語表現など言葉に関するあらゆる内容を多岐にわたって考察した。これは同時に、言葉の奥に潜む日本文化についても認識を深めることが出来る内容であり、多角的考察が望ましいので、そういった内容も取り入れて探求した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>看護学科の学生たちはなかなか向学心に燃えているせいか、達成度が80%であった。表現能力は個々の差はあるものの、素直に講義を吸収する姿勢がうかがわれ、徐々にのびていったようである。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容的妥当性は良かったと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

たとえリモートであっても、一人ひとりが声を出して発表する内容が他の学生の刺激となり勉学意欲が倍增されるように感じられる。こういった雰囲気が続くよう、講義そのものあり方を工夫したいと考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

達成状況の総合的評価は、今年度は85%である。昨年度より向上していると思われる。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	宮浦 崇

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
メディアリテラシー	1	前期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>当初、PCのある演習室での実施を想定した授業内容を同期型完全オンラインで実施するにあたり、個人演習での「つまづき」を最小化するように授業内容を構成するよう心がけた。従来であれば近くの受講者に相談することで解決できたような「小さなわからない点」が積み重なって行き詰まることないように、メール・チャット・オンラインのグループ対話する機会を多く設けたり、課題作成にあたっても意図的に協働機会を増やすことを試みた。</p> <p>開講当初に実施したアンケートから、受講者のPCスキルのスタートラインが、高校までの学習経験の違いから大きく差があり、一層の習熟が必要な受講生がおおよそ40%程度いたことから、講義回の4回程度は、大学が示すICT活用のためのルール・規範などの情報に繰り返し触れながら、PC操作やメール送受信、キーボード入力などの基本的PC操作スキルの向上に焦点をあてた授業進行をおこなった。</p> <p>アンケートなどから、既に一定のスキルのある受講生からは、内容が平易、既知っている内容に多くの時間が割かれるなどの声が届いたが、この科目が目指す学習到達目標に、多くの受講生を導くために必要な時間・措置であったことを理解してもらうようその都度説明をおこなった。そのような受講生に対しては、仮に対面授業であったならば従来はサポート役をお願いするなどしていた。オンライン授業の特性を活かした受講生の習熟に応じた課題開発や授業運営方法の検討など、今後工夫していきたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>提出された各回の課題、小テスト、プレゼンテーション資料の作成、最終レポートの作成課題の到達度（評価点）からは、シラバスに示した3つの到達目標（行動目標）は受講生の多くが達成されたものと見なすことができる。また授業アンケートの自己評価の結果に照らしても同様の結果であると判断する。なお、一部の提出物の未提出が続いた受講生は、最終的に目標を達成したかどうかの判定が困難であったためD評価とした。</p> <p>【参考1】シラバスに示した到達目標</p> <p>目標1. メディアリテラシーに関する理論や重要な事柄について説明することができるようになる。</p> <p>目標2. メディアから受け取った情報の妥当性を判断するための方策について説明することができるようになる。</p> <p>目標3. 文書作成ソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトを利用した情報発信ができるようになる。</p> <p>【参考2】最終成績の得点分布割合</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>"メディアリテラシー" (情報を伝える媒体を使いこなす基礎的な能力・知識・態度) の習得を通じて、大学が掲げる「豊かな人間性と社会を捉える総合的視点と知識を身につけている」ことに寄与している。また、PC活用スキルを獲得しより高度化することで大学の掲げる「専攻する学問分野における基礎的知識を修得している」ことに寄与している。</p> <p>本講義で重点的に指導をおこなったキーボード入力の熟達について、その必要性に気づき取り組んだ受講生が多く見られたことは、一層のスキルアップを目指す基盤が形成されたこととして良い傾向であると考え。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>オンライン授業下での演習授業において、受講生の習熟度の違いによる課題分量や難易度調整について、継続して改善方を検討していきたい。この授業でも「簡単だった」「難しかった」両意見が二極化する傾向が続いたので、「難しかった」側への対応だけでなく全体的対応を心がけていきたい。</p> <p>また、大学入学までの段階で極端にPC利用経験が少ない受講生は、授業内容以外の場面（PC操作、オンライン授業の履修方法や大学のメールシステムなど）で履修や予習の負荷が高まったように見受けられるため、必要に応じて大学内の関連サポート窓口や各種リソースに適切につなげることができるよう準備をおこないたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>最終レポートの完成度や履修者アンケートなどから、本講義で目指した到達目標（行動目標）は概ね達成できたものと考えている。上記で示した課題などに留意しながら、次年度の授業デザインを検討したい。オンライン授業の課題については、コロナ禍の一過性のものとしてではなく、今後の大学教育における授業提供の一形態として、その有効性に着目して継続的に改善の検討をおこなってきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	矢原 充敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報処理基礎	1	前期	選択	いいえ	80

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、大学生としてのICTの基礎スキル修得を主目的とした授業であるが、ソフトウェアの基本的な使い方は高校時代に学んでいる学生が多く、また日々進化し続けるICT社会において、使い方そのものはあまり意味をなさない。むしろ、PCを用いて何を表現できるかが4年間の大学生活を送っていく上で、あるいは社会人基礎力として重要である。従って、授業では文書作成やデータ活用において、学生生活で必要となるPCによるレポート作成技法やデータ処理スキル、インターネットの活用手法、あるいはプレゼンスキルの向上を目標としながら、その中で必要なICTスキルを修得させることに重点を置いた。</p> <p>受講動機では、「関心のある内容である」が約50%となっており、第1回講義において本科目の位置づけとICTの重要性を看護業務等と絡めてしっかりと説明した効果が表れていると考えられる。しかしながら、「単位数を確保する」も50%程度を占めており、次年度に向けてさらなる改善が求められる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は83.6点であり、再試験対象者は0名であった。評価が「秀・優」の学生が87%、「良」も加えると97%に上っており、授業目標としているレベルを達成できたといえる。「可」の3%の学生は、授業内容は十分理解できてはいるものの、授業等で習得したスキルや知識が復習不足から身についておらず、課題の内容において満足のいく結果を残せていない状況である。オンライン実施であった点も学生個々の状況把握を難しくしており、今後の検討課題といえる。</p> <p>学生の到達度自己評価でみると、全体的傾向として(2)の項目において高い数値を示しており、学生自身も授業目的であるICT活用術の修得を実感できていると言えるのではないだろうか。また、(7)の項目も高い数値を示している。毎回の授業内容、練習課題等において看護に関連する話題を提供した点が数値の伸びにつながっていると考えられる。ただし、1年生前期の科目であるため、本授業の内容が4年間の大学生活や卒業後の業務の中で重要な要素となる点については、学生自身が把握しきれておらず、他の項目の数値の伸び悩みにつながっていると考えられる。全体的に数値が高くなっている点は評価できるが、次年度に向けてさらなる改善の余地を残している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は社会人基礎力あるいは4年間の学生生活において必要とされるICT基礎スキルと知識を修得する1年生の前期に実施される選択科目である。受講生が入学直後であり、まだ完全にDP、CP、カリキュラムマップを理解し切れていない中で、学生生活だけでなく社会人基礎力としても必須のICTスキルの重要性を理解させるよう工夫している。学生も所期の成績を収めており、かつ授業評価の結果からも、その内容については妥当であったと考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 授業評価から「コミュニケーションや表現」および「職業選択の参考」に関する達成度が他の項目に比べて低かったが、オンライン実施のためグループ活動による発表等を組めなかった点が影響していると考えられる。次年度に向けて別途の手法を検討したい。また、思考判断に関しては、与えられたことを指示された手順に沿って行うことは得意であるが、自分で創造夫していく課題になると対応できない点が見受けられる。次年度に向けて改善策が必要である。しかし、成績の面では内容的に妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、改善すべき点はあるものの、内容的妥当性に問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質評価」では、(1)から(3)に関して「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」を合わせて7割を超えている点は、こちらの授業意図が学生にも浸透していたのではないと思われる。しかし、(4)についてはPCを中心とした実習授業であると言う事もあるが、授業内課題については周囲と相談しながら行わせるなど、PCとだけに向き合う事のないようにしたが「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」あわせて6割弱であり、検討の余地を残した。</p> <p>「学習量の評価」では、(1)(2)について「0回」が5割程度を占めており、「1回」も含めると7割程度となっている。授業では自己学習の取り組み方について指導は行っていたが、家庭にPCを持っていない学生も多く、対応を検討する必要がある。</p> <p>また、授業全体を通して与えられたテーマ、課題に対して、PCをどのように活用しながらその問題解決に取り組んでいくかという点に主眼を置いた授業展開を心掛けていた。これについては、昨年度に引き続きよい結果が得られている。今後は、更なる数値の向上を目指し、検討を重ねていきたい。</p> <p>学生の意見は、特にここで特筆すべき内容は見当たらなかった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、科目区分「総合人間科学」の「環境と情報」に位置づけられており、社会人基礎力あるいは4年間の学生生活の中で必要とされるICT基礎スキルと知識を修得することを狙いとしているが、その目標は概ね達成できた。また、与えられたテーマや課題に対して、その問題解決のためにPCをどのように活用すべきかという点ではよい評価を得ることができた。しかしながら、看護学科という卒業後の進路が明確な学生に対して、どのように専門性と結び付けながら関心を持たせるかという点では、さらなる改良の余地を残した。</p> <p>以上から、教材内容の見直しや、課題提示の工夫、グループ活動への取り組みなど、次回に向けた改善を検討していきたいと考えている。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	古川 洋章

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
情報の理解と表現	2	前期	選択	はい	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、科目名の通り情報処理に関する科目であるため、事前に必要な前提知識についてシラバスで周知をしている。併せて本年度は、全ての授業回が遠隔授業となったため、初回のオリエンテーションの際に、受講者のリテラシーについてアンケートを実施し、授業計画に反映した。また、昨年度の遠隔授業実施の結果を踏まえて、グループワーク中心の形態から個人ワーク中心の形態となるよう、授業計画へ反映した。</p> <p>本科目の受講動機をみると、「資格習得に必要である」の項目が65.2%であるのに対し「関心がある内容である」の項目は43.5%と、昨年度（「資格習得に必要である」：85.7%、「関心がある内容である」：28.8%）と比較し、受講動機における「関心がある内容である」の割合が大きく増加していた。このことから、受講者の興味・関心や近年の情報社会における知識・技能の必要性について認識されている結果と考えられる。一方で、受講者間における情報リテラシーに大きな差があることが判明した。そのため、次年度はシラバスに受講に必要なスキルセットについて明示したい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均は73.6(標準偏差：8.4)であり、標準的レベル（成績が60点以上を想定）に達していない受講者が全体の約6%（2名）、理想的なレベル（成績が80点以上を想定）に到達している受講者が全体の約22%（7名）とばらつきが非常に大きい結果となった。</p> <p>目標別にみると、知識理解に関しては74.0%、技能表現に関しては71.5%の到達度であった。はじめに知識理解では、前年度の課題であった情報モラルや著作権に関する内容の理解において改善がみられ、非常に満足している。また標準的レベルに達していない受講生においては情報モラル・著作権に関する小テストを未受験または正解率が40%以下であった。次に技能表現では、前年度の課題であった課題の制作において改善がみられ、非常に満足している。また提出課題において標準的レベルに達していない受講生が4名となったが、いずれもファイル名の誤り等の初歩的なミスによるものであった。次年度はグループワークを取り入れ、学生が主体的に取り組むことができるよう授業内容を改善したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「養教一種免」に関連する科目であり、「情報機器の操作」における科目として資格取得の上で必修である。単純な機器操作だけではなく、情報モラルや著作権などの情報を扱う上で必要となる知識や、情報を発信するために必要な技術について習得を目指している。近年の情報社会におけるニーズと情報技術の活用の観点から、授業の難易度は高めであると認識しているが、到達度自己評価の結果や学生の成績状況を考慮すると、内容的には妥当であると考える。</p> <p>一方で、本授業を初心者向けの情報科目と認識して受講している受講者が若干名存在していたため、シラバスに本授業の位置づけを分かりやすく記述する等、次年度のシラバスでは改善を図りたい。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>はじめに「授業の質の評価」において、「(5)口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られている」の平均が4.4と、学科別集計の平均と比較し高く、この点は評価できる。一方で、「(3)説明は理解しやすいものであった」の平均が3.6と低かった。この原因として、授業実施後のアンケート結果から、「講義の内容はわかりやすいが、遠隔授業のためなかなか質問がしづらかった」との回答が複数得られた。次年度は、受講者に対し細かくフォローを行うことで改善につなげていきたい。</p> <p>次に授業評価アンケートの学習量の評価では、準備および復習を1回以上実施した割合が80%を超え、学科別集計の58.8%と比較し、大きく上回っている。これは受講者が目標達成に向け積極的に学修に取り組んでいたためと考えられ、非常に満足している。一方で、授業の課題以外の学修においては39.3%と学科別集計を若干下回っている。また自由記述より、「授業の内容で十分理解できた」という回答と「授業中の課題で精一杯だった」という回答に二分化されていることがわかった。このことから、次年度は課題について受講者のレベルにより段階的にステップアップできるような仕組みを取り入れたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>達成目標への到達については概ね達成できた。前年度の課題であった疑問点や問題点に受講生自ら気付くような仕組みの効果については、授業評価アンケートの自由記述より自らインターネット等を用いて解決する姿勢がみられ、一定の効果が確認できた点は評価できる。一方、課題の難易度設定では、前年度のコメントを考慮し調整を行ったが、「簡単すぎる」という意見と「難しすぎる」という意見に二極化した。次年度では、課題だけではなく授業中においても協働的な学修方法を取り入れたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	林 裕二

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
北九州の技と文化	3	前期	選択	はい	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>3. 授業準備について</p> <p>授業評価アンケート（回答者7名）の受講動機を見ると、4. 単位数を確保する（85.7%）、1. 必修科目である、2. 資格取得に必要である、3. 関心のある内容であるの三項目が全て同じである（14.3%）。外発的な動機（3. 関心のある内容である）からの履修もなされている層がいることがわかる。しかしながら、1. 必修科目である（14.3%）には困惑する。必修授業ではないからである。この科目は全学科で選択科目である。受講生は3年生であり、シラバスを読むことは当然と考えるが、そうではない層がいるということになる。あるいは、キャンパスライフでは、「地域創生」の4科目から2単位以上を修得となっていることから、当科目を「必修」と理解しているのであろうか。しかしながら同じ記載（選択）の同じ学部の福祉学科では、受講動機で「必修科目」を選んだのは、0%である。授業評価では、7. 情報利用の最後の2項目（シラバス利用、授業計画）で、回答者の三分の二が「計画を立てた」としており、5学科中で最も高い達成率となっており、たいへん好ましい学習の状況であるが、更に増えてほしい。昨年度は外部講師の講義内容が、どちらかという人文系に傾いていたことがあり、本年度は保健福祉学部系の教育内容に関わる業界の講師も呼んだ。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>4. 学生の教育目標達成状況について</p> <p>全般的にはやや達成された」と考える。採点対象者（10名）の本試験の成績分布は、A(50%)、B(10%)、C(10%)、E(不可30%)である。なお、再試で合格は2名である。授業評価アンケートの「到達度の自己評価」では、3.8～4.0の範囲内にある。成績はレポートが100%である。レポートについては、初回オリエンテーションに予告し、最後の二回の授業でも書式等については詳しく説明した。その内容は1. 参考文献の書き方、2. レポートの見本（学習技術研究会〔編著〕知へのステップくろしお出版）、3. レポートの書式をClassroomに公開した。E(不可30%)は不本意であるが、レポートのみでの成績評価であり、残念ながら標準的な水準に達していないレポートがある、そのような評価となった。なお、大学の全学科の2. 到達度評価(DP)の10項目の平均を示す。看護：2.9、福祉：2.61、栄養：3.78、英語：4.18、観光文化：3.21。3. 授業の質評価(5項目の平均)は、次となる。看護：3.42、福祉：2.66、栄養：3.76、英語：4.、観光文化：3であり、大まかには昨年度と同じ傾向である。成績のA(50%)は、福祉学科と並ぶ。上位層と階層がくっきりと分かれている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>  
「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

5. DP, CP, カリキュラムマップ上における本科目の位置づけについての評価

本科目は総合人間科学の学部共通科目中の地域創生のカテゴリーに位置する。外部講師を幅広くいろいろな分野から選んでいる。今回招いた5名の外部講師の講義がどれも英語学科学学生の専門性に何らかの形で関わるものであり、将来のキャリア選択に際して、幅広い視野を持たせてくれるものとなった。このようなことから、本科目を3年前期に置くことは、妥当であるとする。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>  
「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

6. 授業の進め方とその向上について

授業評価アンケート（回答者7名）については、「学習の質の評価について」は、2.9～3.9の範囲内にある。「5. 情報利用」のシラバスについては、「（1）シラバス記載を参考にした」は、対しては、回答者7名中4名が、「参考にした」。「（2）授業計画を立てた」に対しては、「立てた」が3名である。4. 学習量の評価については、回答者7名で、「（1）授業に参加するために、1回30分程度以上の予習をどのくらい行いましたか」「（1）授業を振り返るために、1回30分程度以上の復習をどのくらい行いましたか」に対しても、予習・復習の双方でゼロが6名である。予習復習のどちらにしても、85%の学生が何もしていない。しかしながら、予習については、学生を責めることはできない。外部講師からの授業前の資料を事前に学生に提示することをしていないからであり、予習の必要性がない形になっていたからである。これを改善するには、外部講師からの資料を事前に入手して配布しておくしかない。レポートについては、初回に詳しく説明しました。最後の二回の授業で説明を繰り返しました。書式、見本、参考文献の書き方を配信しました。また、メールでの問い合わせのやり取りをしました。また授業で、「レポートについて質問はありませんか」と質問をしました。そこでの質問が欲しいと思いました。メールや授業で出た質問にはそこで答えて、またそのやり取りを文字情報として、Classroomに公開しました。学生の意見が一人ありました。長い

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

全般的には、目的は「達成された」と考える。大学の全学科対象の選択科目であり、受講生が多くなることが予測されるが、いろいろな背景の学生がいることを想定して、必要に応じて個別指導等を行うことが必要と考える。3年生以上であり、レポートの書き方の基礎は学科を問わずできていると期待していたが、そうではない学生もいることが分かったからである。しかしながら、教育目標にDP5（技能表現）を含まないこの授業で、レポート作成の基礎として、助詞の使い方、漢字表記、文章のつながり、段落について指導を行う必要があるのかを自問すると、この科目担当者がそれを担うべきなのかについては迷う。初回の授業で学生の反応を見て、レポートについては丁寧に説明をする必要があると考える。この2年間は遠隔授業であり、資料配布も遠隔でなされた。端末によっては、資料が開けないなどのトラブルは避けられない。担当者はデジタルの専門家でもないため、その場での対応が困難なこともある。次年度は、テキストは購入してもらうことで、少しでもトラブルを減らしたい。看護学科は上位と下位の差が大きい。これを授業でどう埋めるのかの方策を検討したい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ボランティア概論	1	前期	選択	はい	93

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本講では、ボランティアや地域貢献活動等の理論や実践について学びを深めるとともに、自らボランティアに参加したりすることにより、自分自身の社会的有効性や存在価値を見出し、豊かな人生を目指すことを目的としたものである。全7回の講義中、現在進行形で活動しておられる、外部講師を5団体招聘して、リアル講義の工夫をした。</p> <p>特に自分自身で活動を行いたいと思うような気持ちを膨らませられるよう、質疑応答の時間を多く設けるように工夫した。</p> <p>初回講義の時には、この講義で何をするかということ、ペーパーにして配布し詳細の説明をした。心構えと題してのペーパー（内容は休まない、協力する等の再確認、外部講師の方々へのマナー礼儀の確認）を配布して関心をもたせた。また、毎回、リアクションペーパーの記入で、自分が何をどんな風に学んだかを振り返る時間を必ず設け、考えたことを文章にて表現させ、次の時間に必ずフィードバックをした。</p> <p>なお、今年度に関しては、保健福祉学部と人文学部の全学科合同でのWeb講義ということになり、多人数かつ少タリアルに欠けるところもあったかもしれないが、学生たちのリアクションペーパーから、また外部講師の先生方の力強いご協力により、十分な教育の提供ができたと思われた。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体を通して目標の達成度が達成されたという根拠は、欠席が非常に少なかったということが考えられる。そのことで、学生の意識をしっかり受け止めることができたと感じている。また、リアクションペーパーの中には、Webではあったが楽しい授業であった、普通では知ることができないことを学べた、実際にボランティアを始めた、等々の記載内容のものが多かった。当然楽しいだけではいけないので、毎回必ず振り返りを教員と学生と一緒にやって、このボランティア概論の意義と必要性を高めた。そのようなことから、最終的には全員が学びと感動を深めることができ、理想的レベルまで達成できたものとする。</p> <p>講義時間内だけのものになってしまう可能性もあるので、外部講師（ゲストスピーカー）の団体の事前学習の課題を与え、考えさせて興味を持たせるよう工夫して行った。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性については、学生の授業評価アンケートの評価や、最終報告から見て、内容としては妥当と考えられる。DP、行動目標から見ての内容的妥当性に関しても同様で、内容的には妥当であったと思われる。以上のことから、内容的妥当性に関しては問題ないと思われる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

「授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由」で、「することがなかった」という回答があった。

地域貢献や社会活動、ボランティア等々の重要性について、より具体的に社会の中での状況を興味深く話していき、可能な限りリアルに伝わるようにして、講義以外の時間でも振り返ることができるような意識付けを深めていきたい。

事前の課題をほぼ毎回課したので、インターネットの利用が多かった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本講においては、学生からの自己評価やリアクションペーパー、最終講義の時の全体的感想によって、その達成は理想的レベルであると考えられる。

講義内容もゲストスピーカーの方々のご協力を得て、ウェブ講義ではあったが、シラバス通りに進行した。

次年度も同様な内容で進めていこうと考えるが、時代をキャッチした内容の講義を展開していきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	阪井 俊文

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ライフイベントとキャリア支援	2	前期	選択	はい	22

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機としては「単位数を確保する」と「関心のある内容である」が多くなっている。本科目は、学生に今の時期から自身のキャリアや人生設計について積極的に考えることの重要性の理解を促し、必要な知識を提供することを目的としており、単位取得を目的に履修した学生にとって、結果的にこの目的が伝わっていれば問題ないと考えている。今年度は、例年に比べて本学科の履修者が少なかったが、履修者が多かった学科もあり、学科により登校日を分けるという変則的な時間割が、履修するか否かに大きく影響したとみられる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>講義後に毎回、コメントの提出を求めたが、その記述内容から、多くの学生が真面目に受講し、自身のキャリアと結び付けて考えていることが伺えた。アンケートの自由記述では、他の履修科目の課題に追われ、本科目の予習/復習には時間が割けなかったという意見が多く見られたが、科目の性質上、学科の専門科目よりも優先度が低くなるのはやむを得ないと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

アンケートの「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」や「職業選択の参考になった」という項目で肯定的な回答が多くなっていることから、本科目の目的は概ね達成されていると考えられる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」  
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

今年度はすべての回が遠隔での実施となったが、講義形式の科目であるため、対面の場合とほぼ同様の内容で実施することができた。ただし、授業回数が元来8回しかない科目であり、今年度は7回に減ったために、内容を一部減らさざるを得なかった。アンケートの、授業の理解度などの指標において否定的な評価はほとんど見られないことから、授業の進め方などにおいて特に問題はなかったと考えられる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

今年度は、昨年度に引き続きコロナの影響で遠隔授業と講義回数の削減という制約を強いられたが、すでに学生が遠隔授業に慣れていたこともあり、スムーズに授業を進めることができた。学生に課したレポートの内容から、学生がキャリアについて考えることを促すことができたと考えている。次年度以降も、社会情勢を踏まえ有意義な知識を提供できるよう努めたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	笹月 桃子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
看護形態機能学Ⅰ	1	前期	必修	いいえ	98

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>大学に入学し最初に受講する基礎医学知識に関する必須講義であるため、</p> <p>①なるべく平易に、また興味を持ちやすいように日常生活や医療現場での実例と関連させて、講義を行うよう試みた。</p> <p>②遠隔と対面の両体制を交互で行う形式であったため、遠隔講義時には解剖学的な3D画像など視覚的情報を共有し、対面講義時には筆記試験の実施や双方向性の議論を盛り込み、それぞれの利点を活かせるよう工夫した。いずれにしても、ある程度一方向的に知識を講義する形は避けられないため、集中や注意が逸れないように、講義の進行に合わせて教科書と同じ図表をスライドに大きく示し、ハイライトや書き込みなどの指示も具体的に行うようにした。</p> <p>③画一的な答えだけを暗記するのではなく、体の神秘にみられる物語性という枠組みを、物語性と連結性を持って理解することを繰り返し促した。</p> <p>④内容のほとんどが新しく学ぶ知識であり、量も多いため、知識定着の促し、及び理解できていない箇所の気付きのために、毎回講義の内容について、講義終了前に小テストを行った（Google formw活用あるいは対面筆記試験）。またその次の講義において、小テスト結果を共有しながら、内容を復習する時間を設けた。</p> <p>⑤折に触れ、医療に関するニュースや現場の実例などを紹介し、看護師という職種の果たす役割、やりがい、責任に考えを馳せる機会を設</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>前期試験の平均点は70.7点であり、標準的なレベルに到達していると考えられた。</p> <p>到達度自己評価において、(2)知識を確認、修正したり、新たに得ることが、割に、あるいはかなりできた。と評価した学生は72/76人、また(6)自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた、とした学生は72/76人おり、新しい科目に意欲的に取り組み、新しい知識を得たと自覚した学生が少なくなかったことは、上記に挙げた工夫がある一定の効果を挙げた可能性も考慮する。</p> <p>一方、講義内容の特性上、双方向性のやりとりや議論は行いにくく、コミュニケーション力や表現力への効果、及び授業の質評価において、(4)授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなどの、学生が参加する機会が作られていた、と評価する学生は他項目に比し、やや低く、今後意欲の維持のためにも、改善策が必要と考えられた。</p> <p>毎回、講義の最後に小テストを課したことにより、一部の学生については復習の促しには繋がった（30分以上の復習6回以上：26/76人）と考えられたが、復習をほとんどしない（0～1回）と答えた学生が33/76人もおり、意欲の維持は限定的であったかもしれない、知識の定着について、その検証もふくめ、さらなる工夫を要する。</p> <p>オンラインでの講義であっても、指名して発言を求めることは可能であり、学生たちも臆せず回答する姿勢も見られ、それをクラスメート</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP 1 知識理解については、上述の通り、意欲的に取り組み、復習などを行うことで、ある程度達成されたと考えられたが、DP2思考判断については、一方的な知識の伝達ではない講義スタイルのさらなる工夫も必要と考えられた。</p> <p>到達度自己評価において、(10)職業選択の参考になった、に対し「わりに～かなりそう思う」とした学生が63/76人おり、看護師・医療職になるべく道を選択した意識の促しとして、刺激となる一面もあったことが伺えた。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>前期試験が60点に満たなかった学生には再試を課したが、合格ラインに達したとはいえ、同問題であったにも関わらず点数は伸びず、学習の取り組み方に難しさを抱える学生がいることも伺え、支援策の検討を要すると考えられた。</p> <p>講義の説明は理解しやすいものであった（わりと～かなり）と答えた学生が74/76人おり、遠隔と対面の両形式で行う変則的な形でありながら、学生たちの前向きな取り組みが窺えた。</p> <p>一方で個人学習に伴う不安や焦りの声も聞かれたため、今後も小テスト結果の共有など、全体の様子、その中でのじぶんの立ち位置の把握の機会担保など、続けていきたい。また、意欲と知識定着が一致していないため、学習方法の助言も含め、促し、支援が必要であると感じられる。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生たちのうちに、基礎的な医学知識を学ぶ意欲や努力がみられたので、信頼関係を築きながら、その姿勢と得た力を維持を支援できる工夫を今後重ねていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	目野 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
感染と免疫	1	前期	必修	いいえ	99

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①専門基礎科目のため、教科書とパワーポイントを使い感染症についての基礎的知識をわかりやすい言葉で説明した。また、新型コロナウイルス感染症など感染症についての最新情報を講義に取り入れた。</p> <p>② 昨年同様、早期から講義の復習を促す意味で小テストを2回実施した。</p> <p>③ 講義への積極的な参加を促す一案として、今年度は、教員側から学生に質問をする、また、講義の振り返りとして、学生にスライドを見ながら復唱してもらうなどの取り組みを行った。</p> <p>④講義内容がかなり多いため、講義で質問を受ける時間をとる、メールで質問を受けるなどの対応をした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①総合評価の平均値は70点（±12.0）で、50%の学生が標準的レベル（70点以上）に達し、理想的レベル（80点以上）に達した学生は30%であった。再試験受験者は7%（7名）だった。試験の平均点は41/60点（得点率68%）、小テストの平均点は20/30点（得点率67%）であった。DP1の平均点は63/90点（得点率70%）、DP2の平均点は7.2/10点（得点率72%）だった。</p> <p>②学生の到達度自己評価では"自分なりに目標を達成した3.4"、"新しい知識など得ることができた4.3"、"専門分野について課題を検討する力を得た4.0"、"学びを深めたいと意欲をもつことができた4.3"であった。この結果から、意欲を持ち学ぶことはできたが、目標達成にはいたらなかったとする学生が多いことが窺えた。</p> <p>③授業の質評価では、"テストの評価基準の明確さ4.3、課題の明確さ4.5"、"説明の理解しやすさはともに4.4"、"質問を受ける機会を設けていた4.6"であった。</p> <p>④学習量の評価をみると1回30分の予習・復習を4～5回以上した学生が33%・65%、課題以外に学習に取り組んだ学生が72%であった。この結果は、昨年と比較すると復習で20%、課題以外の学習で15%減少しており、今年度の学生の学習量が減少傾向にあることが示された。学生からは、「提示されたポイントの整理をした」、「わからないところをノートにまとめた」などの意見がある一方、「してない」と回答している学生もあり、学習に主体的に取り組む学生と、取り組んでいない学生の学習量に差が出ていると考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 専門科目につながるために必要な基礎知識を養う科目として、学生の自己評価からも1年次で学ぶ内容としては妥当であると考えている。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 科目内容は、専門基礎科目として専門知識を学ぶ上では、ボリュームも多く、難しい科目と考える。しかし、「説明がわかりやすかった」「応用力が身についた」「専門職について時に大いに活かそうだ」などの意見があり、講義内容は妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 上記で述べたように、本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容も妥当であると考えている。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①今年度、オンライン講義での学生参加型の授業を意識して行ったが、この取り組みは、学生の理解度を教員が把握する上で役に立った。</p> <p>②試験については、オンライン上で試験を行うということで、公平な評価ができるように工夫して、Google Form を使い実施した。今年で2年目になる。学生からは、試験後に試験問題をもらいたいとの要望が出たが、試験後には、PPでテスト問題を提示して解答及び解説をしている、また、ポイントを整理するための資料を渡している、この二点から主体的学習を養う上で、試験問題は渡さず現状のままとする。要望があった学生には、この意図を説明した。</p> <p>③学生の意見から、「説明が丁寧でわかりやすかった」とする一方で、「ゆっくり話してほしい」、「教科書の説明の時、どこを読んでいるかわからない」との意見があった。講義中に話すスピードが適切かを学生に問いかけ改善を図る。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>オンライン講義は、2年目である。専門基礎科目として、特に看護に必要な知識が、学習目標に対し十分達成できたかどうかを判断するのは難しかった。学生の30%が理想的レベルに達している一方で、20%は標準レベルに達していない。また、学生自身の到達度自己評価も低かった。学生の評価から授業の質は、担保できているため、質問時間をしっかり確保し知識の定着を図る、また、学生参加型授業を継続し取り入れ、学生の理解度を把握すると共に主体的学習を促すよう働きかける。加えて、学習意欲が低迷している学生については、アドバイザーと連携し対処していきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	浅野 嘉延

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
疾病学各論Ⅰ	2	前期	必修	いいえ	104

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>疾病学各論は、各分野の主要な疾病について概念、疫学、症状、検査、治療などを解説する系統講義です。疾病の知識は、全ての看護科目を学ぶうえで基礎となり、将来に臨床現場で看護業務を行うために必要不可欠です。看護師国家試験でもこの範囲から多くの問題が出題されます。</p> <p>疾病学各論Ⅰは、内科疾患(循環器、呼吸器、代謝、内分泌、消化管、肝胆膵、神経、救急)と外科・麻酔科・婦人科疾患が範囲です。外科・麻酔科・婦人科は医療現場の最前線にいる専門医に外部講師を依頼し、内科疾患は私が担当しました。範囲が膨大ですので、臨床現場で重要なことや国家試験に出題されることを中心に、ポイントを絞って解説するように工夫しました。また、臨床現場での経験談なども紹介して、学生さんが興味を持って取り組めるように心がけました。遠隔授業でしたので、スライドの画面共有だけでなく、人形を使って病態や症状の説明なども行いました。</p> <p>授業評価アンケートの受講動機をみると、「必修科目である」が大多数ですが、「資格取得に必要である」「関心のある内容である」などの回答もかなりあり、看護師になる自覚や国家試験に意識を持ち始めた表れと考えます。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>期末試験と授業貢献度の総合判定で、平均値は78点(最高100点、最低48点)でした。秀:18名、優:38名であり、理想的レベル(80点以上)に到達したひとが全体の54%でした。内科と外科・婦人科で平均点に大きな差はありませんでした。60点未満だった3名はレポートを課して、その結果は3名とも合格でした。ほぼ全員が標準レベルに到達したと判断しました。毎回、多くの質問をするなど、学生さんの授業態度も良好でした。</p> <p>授業評価アンケートの到達度自己評価をみると、ほとんどの項目で「まあそうだと思う」以上の達成感を示す回答が大多数でした。皆さんが必死に勉強した表れだと思います。コミュニケーションや表現力の評価がやや低いのは、主に医学知識を教授する座学の講義であるのでやむをえないと思います</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

疾病学各論Ⅰは看護学科の「専門教育科目」のうち「看護を学ぶための基礎」に属します。1年次で学んだ形態機能学や保健統計学の基礎として、2年次以降の全ての看護専門科目の学びに不可欠な内容を教授します。看護師国家試験にも疾患に関する問題が多く出題されますので、早くからの勉強が必要です。

学生さんの受講態度、試験の結果、到達度自己評価などからみて、カリキュラムマップ、DP、CPにおける位置づけからみて、内容的妥当性に問題はないと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業評価アンケートの授業の質評価をみると、ほとんどの観点において「まあまあそうだと思う」以上の評価を得ています。学生参加の評価が低いのは毎年の課題ですが、昨年度からは毎回の授業後に質問を提出して貰い、次回の授業で質問に対する説明をするようにしました。

授業評価アンケートの自由記述では、授業内容や形式について肯定的な意見が多かったです。次年度も基本的に今年度の方針を継続していきたいと思います。

アンケートの学習量をみると、30分程度の予習復習を2回以上行っている学生さんは約7割でした。学生さんが積極的に授業に取り組んでいることを嬉しく思います。

なお、本科目では外科・麻酔科・婦人科の講義が外部講師のオムニバス形式になるため、試験問題を私が見直すなどして出題形式や難易度に統一性を持たせるように試みました。次年度も継続したいと思います。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

本科目は、臨床現場で看護を実践するために基盤となるもので、看護師国家試験に合格するためにも不可欠です。大多数の学生さんは標準的レベルに到達することができたと判断しました。今後も病院実習などを通して疾病に関する興味を高め、自分で勉強を進めていって欲しいと思います。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	東 泉

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
薬理学	2	前期	必修	はい	105

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>2021年度も大学への通学日の都合で遠隔講義のみでの開講となった。</p> <p>昨年度は、途中から対面試験が不可能な状況となり、全て遠隔で学生の評価の方法に課題が残ったが、本年度は、対面試験ができなくなる可能性も踏まえ、初めから小テスト、課題提出、筆記/オンライン試験により総合的な評価を行うこととした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>出席率もよく、ばらつきはあるものの主体的に学習ができていた学生が多かった。</p> <p>学生アンケートから、85%の学生が予習をし、84%の学生が復習をして授業に臨んだことは評価できる。</p> <p>昨年度よりも時間外の自習率は上昇しており、予習復習を試みたら理解度の上昇につながったという学生の意見も見受けられ良い傾向にある。</p> <p>今年度の学生の評価は毎回の講義終了時の小テスト、課題の点数の積み上げと、学期末の確認テストによるものである。</p> <p>追再試験当者は3名いたものの、「S」「A」「B」該当者があわせて87%、「C」が11%であった。</p> <p>また、情報利用、図書館利用率は学科平均と同様に利用して学修しており、概ね教育目標は達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>当該科目は「DP1-2：看護学分野での基礎知識を修得している」であるが、成績も学習到達度の自己評価も悪くなく、内容妥当性に問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>毎回講義時間に小テストを行うことで、内容の理解復習に役立っているため今後も取り入れたい。 但し、講義中に小テストを行うことで、講義する時間が不足するので、予習復習を今後とも促進したい。 遠隔講義のせいもあって、学生の質問への回答が即座に得られないことへの意見が述べられていたので、次年度は講義時間内に質問に回答するように改善したいと思う。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>概ね学生は遠隔講義にも前向きに取り組むことができ、標準レベル、理想レベルに達しており問題はなかったと思われる。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	石井 美紀代

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
家族と健康	2	前期	必修	いいえ	104

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機を見ると、全員が「必修科目である」をあげている。「関心のある内容である」のは33人（昨年は10人）であった。関心をもって受講してくれた3割の学生は、看護師の対象を患者だけでなく家族にも目が向いていると言える。</p> <p>一方、7割の学生にとって看護師は、患者の診療の援助をする役割であり、家族に対して看護しているイメージがないと思われる。現在、病院の看護でも退院を見据えた看護が要求されることから、なぜ看護師が家族のことを学習しなければならないのかを事象をあげ、学習の必要性を説明した。家族を対象とする看護について、事例から看護師に必要な視点であることを意識し、家族を含めた看護に興味を持ってもらうようにするためである。個人ワークや課題になってしまうことが多かったが、ほぼ提出期限に遅れることなく取り組んでくれた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な評価は、平均点78.0点（昨年81.1点）であった。成績の内訳は、秀16名（昨年19名）、優29名（昨年36名）、良37名（昨年22名）、可21名（昨年15名）、不可(放棄)0名（昨年0名）であった。</p> <p>本科目は、当初、レポートおよび授業内で作成する提出物20%、定期テスト80%で評価した。授業内の提出物は、小児患者、高齢者、家族介護の事例をアセスメントしてもらった。授業時間内にできるよう、授業のはじめに作業内容と視点を説明し、作業の時間をたっぷりとり、教員は常にMeetを繋いだままにして質問を待った。授業の終わりはMeetに再入室してもらい、全員の質問を待った。対面授業であれば教員が教室をまわって学生の状況を見つつ説明を加えたり、表情や筆記の進み具合で声をかけて質問を促す。それがなくて質問しにくかったのか、時間内での質問はなかった。しかし、授業の終わりを告げたあと「先生、質問いいですか?」との声が出ると、Meetから退出せず教員とのやり取りを聞いている人が多くおり、関心の高さが見えた。</p> <p>提出物の完成度には個人差があった。最初から内容が良い人、回数を重ねるごとに改善する人、がいる一方、毎回、同じような内容で出してくる学生もあった。対面授業であれば、完成度が良いレポートを、本人の同意を得て画面カメラで映して解説することができる。しかし、リモート授業の場合、画面コピー等ができるため、授業の画面に映すことがはばかられた。その点では、学生の中にはどう書いたらいいのかわからない人が多くいたのではないと思う。授業方法によって、資料の仕方を考えなければならないと思っている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「看護実践の基盤」に位置し、DP1：知識・理解、DP2：思考判断、を目標にしている。</p> <p>社会学・心理学・看護学の視点での「家族」の定義や、「家族」の機能を整理した。また、家族看護学で使われる家族理論を提示し、その中で代表的な3つの理論について、事例演習を交えながら実践的に考えていった。このことで、家族看護学に興味をもち、これから各看護学方法論の中で家族を含めた看護を考えていく動機づけの科目と位置づけている。</p> <p>到達度自己評価は、最も高かったのは「知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来た」。一番低かったのは「コミュニケーション力や表現力を高める事が出来た」であった。コミュニケーション力について自己評価が低いのは、リモート授業で学生同士のディスカッションの時間が少なく、事例検討も個人ワークとしたためであると考え。また、授業の中で「円環的質問」を考える演習をしたことも一因であろう。円環的質問では、患者さんの"あなたの考え"を聞くのではなく、"○○さんはそのことをどう思っていると、あなたは考えますか"という第三者の気持ちになって考えさせる質問をしなくてはならない。その演習では、多くの学生が質問の難しさを感じていたため、患者一看護</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目では、看護学・心理学・社会学における家族の定義を整理し、実際の看護場面での家族のアセスメントを個人ワークで深めた。家族社会学については、社会学専門の外部講師に授業をしてもらった。講師の人柄もあって、学生の反応はよかった。家族看護は社会学の視点が不可欠であることから、今後も外部講師による授業を組み、学生の知識を広げていきたい。</p> <p>その後、①理論を使って事例の個人ワーク→②事例の解説とアセスメント例の紹介、では、本来ならグループディスカッションを導入して学生同士で意見交換をしたかったが、リモート授業でその手法がとれず、個人の修正がなかなかできづらかった。この面で、学生の自己評価においても「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」が最低点になっている。しかし、「知識を確認、修正したり、新たに得ることが出来た」が最高点であることは、個人ワークに真摯に取り組んだという事だと感じる。学生が興味をもつような事例や展開を心がけたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>リモート授業が2年目で教員も学生も、何ができて何ができないかがわかり、お互いにストレスが減ったように思う。リモート授業はリアルタイムで学生の反応はわからなかったが、今回の授業評価では「授業の課題以外で具体的に取り組んだ学習」で、教科書や授業資料を読み直したり、興味を持ったことを自分で調べたり、といった内容を37人もの学生が書いてくれていた。学生は、それぞれネット環境が違う中で、最大限の努力をしてくれていた。途中、ネットが切れたら、すぐに入り直し、チャットにその旨の報告をしてきて、学生の熱意が伝わってきた。また、授業中の質問の呼びかけには、ビデオをONにして答えてくれた。真っ暗な画面に向かって講義をしている中でこの繋がり、私にとっての授業のモチベーションになった。学生に感謝したい。</p> <p>本科目は、新カリキュラムから始まった新しい科目である。そのため、先輩からの情報が少なく、家族看護学について馴染みもなかっただろう。学生によっては、「家族」にネガティブイメージをもつ人や、トラウマをもつ人もいるかもしれず、授業での取り上げ方によっては精神症状を訴える学生が出るリスクを考えながら、手探りで進めた。毎回、授業のコメントを書いてもらいながら学生個々の反応を注視していった。今回は、そのような反応を示す学生はいなかったが、科目の特性から、気になる学生はアドバイザーに情報をもらい、また、学生相談室のカウンセラーに助言をいただきながら、学生の精神面も注意しながら進めていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	水貝 洵子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
対人関係論	1	前期	必修	いいえ	98

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1年前期に開講される科目のため、初回数回の授業では心理学の導入を行い、ひとの心的過程を対象とした学問の特徴について理解が深まるよう配慮した。また、学生の受講動機が高まるよう心理学や社会心理学の基礎知識が日常生活や対人援助場面にどのように関連するかについても解説を行うようところがけた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>概ねの受講学生がSからBまでの成績を収めており、受講学生間の個人差はあるものの、概ね授業目標は達成されたと考えられる。図書館、インターネット利用が少なかったのは、本講義が発展的に学ぼうとする学生の意欲へつながらなかったためと考えられる。定期的に授業内容だけでなく他の情報を活用しながら作成する発展的な課題を提示するなどして、学生の発展的な学習態度へつながる工夫を行いたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>1年前期開講科目であり、心理学の学習自体が初めてである学生が大半を占めていると考え、基礎的な理解を問うDP1およびDP2を目標とすることは妥当であると考えられる。</p> <p>また、授業内容についても、心理学の導入や対人関係、コミュニケーションの成立ちや特徴についての解説であり、DP1およびDP2に対応しており妥当であったと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本講義では授業内容に関する質問に対する回答時間を設けたが、今後は、学生自身の自発的な学びのため、より発展的なテーマの提示や書籍等の紹介を行ってきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業目標と授業内容の関連性は妥当であり、受講学生も概ね目標を達成することが出来ており、授業内容の難易度と進行度は妥当であったと考えられる。今後は、学生の発展的な学びのために、さらなるテーマや書籍の提示をおこなってきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
発達心理学	2	前期	必修	いいえ	104

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>世相を見ていると優劣や勝ち負けにこだわり、上ばかり見て競争に勝つことが価値であるかのように見える。まさに現代社会は「脅迫的なストレス社会」であると感じる。心理学の分野に期待が高まっている。本講義では基本となる心理学一般の基礎知識や教養的知見の修得を目指しながら、専門性のある生涯発達心理学の視点から授業を組み立てている。それは今を生きる学生に最も必要な「生き方の模索」に関わる問題だからである。昨年度の大きな課題は講義中の集中力をいかに途切れないようにキープさせるかという点であった。このため講義途中で「映像」を多く取り入れた。自由記述などを読むと概ね成功したと理解できる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度に引き続き、全体を通して達成されたという根拠は「定期試験の結果」である。優れた及び良しの合格点を取った学生はほぼ100パーセントに達した。定期試験は記述式がその中心であるが、記載の内容も的を得たものであり、しっかり書かれており理解の進んだものであった。また学生の授業評価アンケートの記述にも「ためになった」「分かりやすかった」「面白かった」などが多数あり知識理解と意欲関心について一定の水準を保ったことが伺えると思った。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>昨年度と同様に、毎回の授業について、ミニ感想や質問を自主的に書いて提出するように求めている。この効果は大きく好評のようである。自由記述を見ると、これに関する「人生に関する回答の時間が一番良かった」「心理学だけでなく雑談や人生の話が面白かった」等の記述もあり、本科目の目標である「ストレスの多い現代社会を生き抜く健康な心構えを形成する」というねらいが達成されたと評価できる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度の問題点であった、自学自習を促すための「次回の授業までに日々の生活の中で心にとどめておいてもらいたいこと」を伝えた方が良いのではないかと授業アンケートの結果からまだまだ改善されていないと言える様である。昨年同様に学習量を高める工夫の一つとして予習の課題設定を今後さらに試行継続してみたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>シラバスで年度当初の学生に期待した行動目標は概ね達成出来たと思う。しかしまだ授業中に集中力が途絶え、睡眠モードに切り替わる学生が幾人か存在する。注意の仕方に工夫をくわえてきたが、睡眠学習者0を達成するのは容易ではない。今年度取り組んだ映像や教師の発問、討議話題の挿入などまだ工夫の余地を継続して続けたい。がんばりたいと思う。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	財津 倫子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
健康教育論	2	前期	必修	いいえ	103

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①健康教育論は、2年生前期に履修する看護を学ぶための基礎科目であり、個人・集団を対象とした健康教育・患者教育の方法や技術を学ぶ科目である。我が国の医療体制は、病院完結型医療から地域包括医療へと大きくシフトしている。その中で看護は、健康づくり・疾病予防から、外来、入退院後の過程で、教育的な支援役割が期待されている。その役割を担うための知識が得られるように、まずは、ヘルスプロモーションや患者教育理論の活用の仕方を講義し、事例を基に指導媒体を作成し、実際にその媒体を用いて指導体験、患者体験ができる講義としている。</p> <p>②学生の受講動機では、「必修科目である」が97.7%であった。25%の学生が「関心のある内容である」とし、少数ではあるが興味関心を持ち受講していたことがわかった。</p> <p>③昨年同様、本年度もリモート講義とし、個々でパンフレットを作成することとした。指導案作成からパンフレット作成を個々で行い、その自己評価を行うことで、自身で改善点に気付くことが出来ていた。</p> <p>④実際に指導を実践する学生は、提出されたパンフレットを見て教員が選出した。その学生が、全体の前で指導を行い、その他の学生は全員患者役として聞くことで、患者体験にも繋がった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は74点（SD7.1）であり、最高点90点、最低点60点であった（詳細は、90点：1名（1%）、80点：27名（26.2%）、70点：47名（45.6%）、60点：28名（27%）である）。</p> <p>目標別にみると、知識理解に関しては74%、思考判断については75%と、全て70%を超えており、概ね目標達成されたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門教育科目」の「看護を学ぶための基礎」に位置付けられている。定期試験の結果から考え、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価では、「知識理解」74%、「思考判断」は75%であった。達成度としては「達成された」であり、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価では、9割以上が「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と回答しており、平均値も3.9～4.4であり、概ね評価や質問に対する対応ができていたと考える。 今年は、リモート講義でグループワークが出来なかったが、本来は4人で1つの媒体作成をする講義としている。グループワークは、他者の考えを聞き自身の考えを述べることを繰り返し多くの学びを得ることが出来ると考えられる。次年度が対面授業であれば、グループワークができる講義とし、また全員が指導体験できる講義としたいと考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は「専門教育科目」の「看護を学ぶための基礎」に位置付けられ、行動目標については、概ね達成できたと考える。次年度、対面授業が可能となれば、グループワークを実施し、全員が指導体験ができる講義とし、話し合う、発表するなど学生が参加する機会のある講義としたいと考える。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	金山 正子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
看護学概論	1	前期	必修	いいえ	98

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「看護学概論」は1年次前期の必修科目であり、受講動機は、「必修科目」が100%である。今年度は対面授業と遠隔授業を組み合わせる授業を行った。学生は大学に入学直後であり、主体的な学習となるよう、教科書と講義資料を配布して授業を進めた。また、グループワークを導入し、友人とのコミュニケーションがとれるように配慮した。初めは対面授業で開始したが、緊急事態宣言中は、遠隔授業を行った。特に、遠隔授業において、classroomへの出入りや出席・欠席の確認、グループワークのサポートやレポート提出の説明等に配慮した。緊急事態宣言もあり、学生が図書館を利用する機会が少ないと考え、教科書を中心とした授業や自己学習とした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①評価基準はテスト60%、レポート40%で評価を行い、成績の平均値は76.5±10.8点であった。</p> <p>②授業評価の「到達度自己評価」では、98.8%の学生は自分なりに目標を達成したという肯定的な回答であった。項目別の評価平均は「知識を確認、修正、新たに得た」が4.2、「事象を理解する視点や考え方を得た」4.1、「課題を検討する力を得た」4.2、「的確に判断する力を得た」4.1、「学びを深めたいと意欲を持った」4.2、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」4.0、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」4.2、「職業選択の参考になった」4.2であった。目標は、「やや達成された」と考える。</p> <p>③学習量の評価については、予習、復習は61%の学生が取り組んでいた。「授業で理解できていた」「用語やわからないことは自分でインターネットで調べてみた」という学生の回答はあったが、授業の課題以外の学習に取り組んでいない学生の回答として、「授業で理解できていたから」「時間がなかった」「他の科目の課題で追われていた」「何をしたらよいかわからなかった」などの回答があり、予習・復習についての課題の工夫が必要であると考え。さらにインターネットによる情報検索は82%の学生が利用していたが、図書館の図書の利用は33%であった。緊急事態宣言もあって利用は難しい場合もあったが、図書の利用については課題である。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての妥当性 1年次の看護専門科目であり、看護実践の基盤となる科目に位置付けられている。学生も一定の成績を修めていることから、内容的に妥当であると考え。</p> <p>②DP、行動目標から見ての内容的妥当性 看護の概念や、看護倫理、看護関連の法律や制度などの基礎的知識を理解し、到達度自己評価では、「自分なりの目標を達成した」「知識を確認、修正、新たに得る」「事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得る」「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得る」「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得る」「学びを深めたいと意欲を持つことができた」などの項目において、肯定的な評価であった。また、学生も一定の成績を修めていることから、内容的に妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①講義は教科書を使用し、パワーポイントで作成した講義資料を配布した。看護の概念について理解するため、レポート作成とグループワークを導入した。ブレイクアウトルームを作成して、学生間の意見交換や発表の機会を設定した。自己の看護観をレポートに記述することができた。最終回の対面授業は、看護における今後の課題を考えるというテーマで、レポート作成、発表会を設定し、学びを共有した。また、出席確認フォームで、感想や質問を回収し、学生の反応を把握するようにした。</p> <p>②授業の質の評価では、項目別に「テスト、レポート、提出物の評価基準は明らか」4.0、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らか」4.1、「説明は理解しやすいものであった」3.8、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表など学生が参加する機会」については4.3であった。次年度の授業では、今年度以上にわかりやすく説明することが課題である。</p> <p>③授業の欠席や遅刻、途中でクラスへの出入りをしている学生、レポート未提出の学生もいたため、授業参加に対して個人指導が必要であった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学習の到達目標は全体的にやや達成できたと考える。 今後は、学生が主体的に学習に取り組むことができるように、可能な範囲でグループ学習・発表の機会を作り、学習内容を深めることができるように、課題提示と説明を工夫する。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	金山 正子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
看護理論	3	前期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「看護理論」は3年次に配置された選択科目である。受講動機は、「単位数を確保するため」が82%、「関心のある内容」は32%であった。</p> <p>今年度は5月上旬から、7回の遠隔授業を行った。授業の実施にあたり大切にすることは、学生の主体的な学習である。学生は1年次の看護学概論の授業でナイチンゲールやヘンダーソンなどの看護理論家の看護概念について学習している。これまでに看護理論に関する図書は本学図書館に設置されているが、緊急事態宣言もあり、学生が図書館を利用する機会が少ないと考え、教科書を中心とした自己学習とした。本科目で講義時間内にとりあげる看護理論は7~8であり、主な看護理論家の理論の概要を理解し、看護実践への活用について考えることを目標とする。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①評価基準は小テスト50%、レポート50%で評価を行い、成績の平均値は79.6±6.5点であった。</p> <p>②授業評価の「到達度自己評価」では、93%の学生は自分なりに目標を達成したという肯定的な回答であった。項目別の評価平均は「知識を確認、修正、新たに得た」が4.0、「事象を理解する視点や考え方を得た」3.9、「課題を検討する力を得た」3.8、「的確に判断する力を得た」3.8、「学びを深めたいと意欲を持った」3.9などであり、看護理論の概要を理解して看護実践の活用について考えるという目標は、「やや達成された」と考える。</p> <p>③学習量の評価については、毎回の講義で、その日に学習した看護理論家の理論の特徴と看護実践への活用について、レポートを提出することを課題とした。そのため、1回30分程度以上の学習については、予習は46%、復習は60%の学生が取り組んでいたが、取り組んでいない学生の回答もあった。理由として、他の科目の課題が多いという理由であった。さらに遠隔授業のため、図書館を利用できず、指定の教科書を主に用いて学習していた。看護理論の図書の活用については課題である。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての妥当性 看護理論は、看護専門科目であり、看護実践の基盤となる科目で3年次に位置付けられている。学生も一定の成績を修めていることから、内容的に妥当であると考ええる。</p> <p>②DP、行動目標から見ての内容的妥当性 行動目標についてみると、学生は主な看護理論家の理論について、基礎的知識を理解し、看護実践への活用について考えることができた。学習到達度の自己評価では、「自分なりの目標を達成した」「知識を確認、修正、新たに得る」「事象(自然、人、社会、歴史など)を理解する視点や考え方を得る」「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得る」「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得る」「学びを深めたいと意欲を持つことができた」などの項目において、肯定的評価であった。また、学生も一定の成績を修めていることから、内容的に妥当であると考ええる。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容的妥当性に問題はないと考ええる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①講義はオンラインで進め、教科書を使用し、事前にパワーポイントの講義資料を提示した。看護理論家の理論の特徴について概説し、理論の特徴と看護への活用について、レポートを提出することを課題とした。また、講義後に、出席確認フォームで、感想や質問を回収し、学生の反応を把握するようにした。</p> <p>②授業の質の評価では、項目別に「テスト、レポート、提出物の評価基準は明らか」4.3、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らか」4.3、「説明は理解しやすいものであった」4.0、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表など学生が参加する機会」については3.8であり、今回は遠隔授業であり、グループ学習を導入しなかったが、今後は話し合う機会や発表する機会を設定することが課題である。</p> <p>③遠隔授業に対して、全員が学習環境を整えていたが、欠席する学生や講義の途中でクラスへの出入りをしている学生、レポートが未提出の学生もいた。</p> <p>④オンラインで試験を実施したが、試験問題のファイルを開くのに時間がかかったという意見があった。今後はできるだけ対面での試験を行うが、オンラインに備えて、ファイルの改善を行う。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学習の到達目標は全体的にやや達成できたと考える。 今後は、可能な範囲でグループ学習・発表の機会を作り、主体的学習がすすめられるように、課題提示と説明を工夫する。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	金山 正子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
看護技術論	1	前期	必修	いいえ	98

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①1年次前期の看護専門科目である。受講動機は「必修科目である」が100%、「資格取得に必要」が38.7%である。</p> <p>②昨年度と同様にコロナ禍での授業であり、感染状況により、対面授業と遠隔授業を変更できるように準備を行った。</p> <p>③開講時の学生は、学生間の交流ができていない時期であり、「コミュニケーション技術」の授業やグループワークをととして学生間のコミュニケーションができるように配慮する。また、感染予防対策への指導を厳重に行うことが必要であり、実習室における看護技術演習については、98名を2班に分け、密を避けた授業計画を立てた。</p> <p>④授業は対面で開始する計画を立て、緊急事態宣言中の5月中旬から6月中旬までは計画を変更して遠隔授業とした。また、早期看護実習は実習病院での実習が不可能であったため、学内実習を充実するように準備した。</p> <p>⑤遠隔授業では学生がclassroomの入室や利用法に不慣れであることから、複数の教員で授業への出席とレポート提出などのサポートを行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①評価は、試験55%、小テスト10%、レポート30%、その他(授業参加度)5%により、総合的に評価した。成績の平均は、79.2±9.8点であった。</p> <p>②授業評価の到達度自己評価において、項目別の評価平均は、「自分なりの目標を達成した」4.0、「知識を確認、修正、新たに得た」が4.5、「事象を理解する視点や考え方を得た」4.2、「課題を検討する力を得た」4.4、「的確に判断する力を得た」4.2、「学びを深めたいと意欲を持った」4.4であった。また、「必要となる技術を身に着けることができた」は4.4、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」4.3、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」4.2、「職業選択の参考になった」4.3であった。到達度自己評価の10項目については、97%の学生が肯定的な回答であり、目標を達成し、学生の学習意欲や看護への動機づけに繋がったと考えられる。</p> <p>③学習量の評価からは、87%の学生は授業の準備や復習を行っていた。また、授業の課題以外に学習に取り組んだ学生は50%であった。自己学習の内容は、「動画を何度も見て、方法を理解するようにした」「看護用語を覚えるために単語帳を作成した」「授業中にわからなかったことをインターネットで調べた」「家で手指衛生やベッドメイキングをした」などの回答があり、自主的に学習法を考えて取り組ん</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性：本科目は専門教育科目の「看護実践の基盤」に位置付けられている基礎看護学の科目である。初めに看護技術を学ぶ内容として、基本的な内容であり、妥当である。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性：行動目標は、1)看護技術を提供する意味や安全・安楽・自立の視点をもつ必要性について説明ができる。2)療養環境を整えるために必要な基礎知識を説明することができる。3)看護技術を実践する上でボディメカニクスを意識した行動ができる。4)実習室を使って療養環境を整えることができる。5)看護におけるコミュニケーションの意義と方法について説明することができる。6)早期看護実習を通して、看護の果たす役割について自己の考えを述べるなどを設定している。</p> <p>学生は、看護技術の安全、安楽、自立の視点から学び、手指衛生やベッドメイキング、シーツ交換、コミュニケーション技術などを実施し、看護技術の基礎的知識を修得することができた。また、早期看護実習を通して、看護の果たす役割について自己の考えを述べることができ、上記の目標を達成することができたと考えられる。学生による授業評価からは、学生が「看護への学びの意欲」を持ったことが示されており、看護学の学習への動機づけとなったと考えられる。DP1【知識・理解】、DP3【関心・意欲】、DP4【態度】において、行動目標からみて、内容は妥当であると考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①講義、演習、実習の順で進める予定であったが、緊急事態宣言により計画を変更した。実習室での技術演習と早期看護実習は対面が可能ない時期に実施した。</p> <p>②ベッドメイキング、シーツ交換の技術演習は授業時間内に実施できたが、自己練習の時間が不十分であり、今後は学生の自己練習が課題である。</p> <p>③学生の授業評価より、「授業の質の評価」の5項目の評価平均は4.2～4.5であり、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」が最も高く、4.5であった。「学習量の評価」では、授業の準備や復習を87%の学生が行っていた。また、「情報利用」では、シラバスの記載を79%が参考にしてきた。しかし学習計画を立てたという回答は54%であった。事前にclassroomでシラバスや授業資料を配信していたが、約5割の学生はシラバスの活用と学習が連携していないことがうかがわれる。今後もシラバスの活用と自己学習への指導をすることが必要である。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>看護学を学ぶ初期の科目の位置づけから、学生は基本的な知識と技術を修得し、今後の動機づけにつながったことが考えられ、目標はやや達成できたと考えられる。今年度は感染予防対策を厳重にして、動画や体験演習など、リアルな体験を取り入れ、遠隔授業と対面授業を組み合わせることで行ってきた。今後は感染予防対策を厳重にし、実習室を有効に活用した技術演習への指導や、図書館の利用、図書の活用などの学習方法についても助言し、学習効果を高めていくことが課題である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	隅田 由加里

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
診療関連技術論演習	2	前期	必修	いいえ	104

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「必修科目」であり学生に選択の余地はないが、「資格取得に必要」(55.6%)、「関心のある内容」(49.4%)は、昨年度の率よりもさらに向上しており、学生の興味や技術習得への関心がうかがえる。これはCOVID-19の影響で、メディアを通して看護師の働く姿を多く目にしたことも一要因とかがえる。授業は対面式授業を希望していたが感染拡大に伴いオンラインに一時変更となった。このためオンライン時は先に講義を行うことで対応した。また例年行っていた実技試験は感染問題から実施困難と判断し、講義終了時のミニテストへ変更し知識定着に重点をおくこととした。このミニテスト終了後に対面授業も再開となったため、クラス別の少人数で演習を実施した。また学生は1年次から殆ど演習を行うことが出来ておらず技術演習のニードを強く持っていたので、希望者には感染防止対策を講じ自主練習が行える環境も提供し学習の場の構築に努めた。クラス別演習方法の利点として学生が平常時の半分しかいないことによる指導の行いやすさがあるが、同時に学生の演習時間は少なくなるため、演習がない時間にも効果的に基礎的知識と思考判断力の向上が行えるよう演習記録(課題)を作成し、グループワークを取り入れた。また学生の読解力低下は否めないため、動画等を活用しイメージ化を図る工夫も行った。学生の自由意見では「学内のBCPレベルや感染状況などにそって授業計画を迅速に対応していた点がよかった。健康状態と学生が技術を取得することの両方に配慮が出来ていたと感じた」「資料や説明も理解しやすかった」「基本的技術をみにつけることができた」「各先生が丁寧に教えてくれた」等があり、学生にとって有意義な授業にできたのではないかと考える。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の達成度評価は、定期試験60%、ミニテスト25%、ポートフォリオ提出10%、授業貢献度5%の総合評価に変更した。最終成績の平均値は74.96±9.32で最高92点、最低48点と例年よりもやや低下した状況であった。今年度は感染の問題から実技試験は行わず、基礎的知識修得に重きをおいた構成となった。診療関連技術論演習は医師の代行役割として、形態機能学や薬理学等の知識活用も求められるため、学生には難易度は高かったと思われる。しかし成績の内訳は、秀7名(6.7%)、優27名(26.1%)、良47名(45.2%)、可23名(22.1%)で、秀・優の人数は例年と比較してやや多い状況である。また再試験対象者5名も再試験では高い点数を取得した学生が殆どであり、結果不可は0名であったことから知識修得に関して個々が努力したと言える。学生による到達度自己評価では全10項目において平均値は4.0以上で、特に「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」は4.5と最も高く、ついで「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」も4.4と高い自己評価を行っている。このような状況かた知識理解、思考判断に関しては達成できたと判断した。また態度に関しては、講義・演習両方とも授業に遅れるなどの行為は認めず、個別に質問や自主練習の希望をする学生も複数おり、積極性を感じることもできたため、達成できたと判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「診療の補助」の基本的知識と技術の基本となり、看護実践の基本に位置づけられるが、診療の補助ということで、生活援助技術論よりも高い専門的知識と技術が必要である。よって基礎看護学実習Ⅱの前の2年前期に位置付けられていることは妥当である。しかし、授業単位は1単位のため、時間的にも限りがあり、その中で高度な診療関連技術を習得するのは難しかったといえる。2022年度入学者からのカリキュラムでは2単位となるため、今後の授業体制構築に努力する。知識の定着面においては、国家試験問題の出題基準に則って構成したため、内容の妥当性は保証できたと考えるが、「診察・検査・処置における介助技術」に関しては、疾病の知識が必要となるため、「成人看護学」または「看護のための臨床検査」等との協力・連携が必要と考える。学生の到達度自己評価においてもすべて4.0以上を示しており内容的妥当性はありと判断する。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生からの授業の質評価は、全項目が平均値4.3以上で、「説明は理解しやすいものであった」も4.4、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」も4.5の評価を得ている。このため、医学的要素の強い科目ではあったが、学生の理解を深めることはできたのではないかと考える。また多くの学生が学習量の自由記載で「ノートにまとめる」「動画を見て理解を深める」などの自主学習にも取り組んでいた。自由意見も肯定的な意見であり、授業の進め方に関しては学生にとっても効果的なものであったと考える。今後もこのような感染をはじめとする不測の事態に陥ることもあると思われるので、現状に応じて学生にとって最も良い方法をその都度模索しながら授業の質を高めていきたいと考える。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の達成度自己評価は、全ての項目において4.0以上、また質評価においても4.3以上の評価であった。約95%の学生は1回以上は予習・復習を行っており、授業の構成方法としては、継続的学習が行えるような体制であったと考える。また成績も平均が74.96±9.32点で同等の授業構成であった2019年度も比較して大差はなく、秀7名、優27名と相対的に高い成績を収めることもできており、ポートフォリオの内容を確認しても、各演習記録に則って丁寧に振り返りを行っている学生が多くみられた。よって授業の質はある一定のレベルで担保できたと考える。今後もこれらを維持できるよう、アクティブ・ラーニング等の学習を深め取り入れていきたいと考える。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	小田 日出子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
看護過程論	2	前期	必修	いいえ	104

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>当該科目は「必修科目」(100%)であり、「資格取得に必要」(58.1%)な科目である。それ以外に、「単位数を確保する」(20.4%)、「関心のある内容である」(33.3%)を受講動機とした学生が全体の半数を超えていた。その他、「GPAをあげる」(6.5%)、「友人が履修している」(3.2%)、「先輩に勧められた」(1.1%)を受講動機とした者が1割程度いた。</p> <p>授業は、①Google Classroom経由の事前の情報提供(授業計画・事前課題の提示、講義資料の配布、事例(紙上患者)紹介、模擬カルテによる患者情報の提供など)を基本に、②学生6~7名で編成したグループによる学習活動を軸に、教員6名が各2~3グループを担当して進めていった。途中、③授業計画に挙げた学習目標とグループワークの進捗状況に応じた講義を組み入れながら、学生による主体的学習活動を支援していった。毎回、授業後には④各グループのワークの振り返りと進捗状況の確認、学生個々の理解度を確認・把握するために、教員間のミーティングを実施し、状況把握と指導上の情報共有に努めた。授業終盤には、グループ間に緊張感を持たせること、またケア実践への関心意欲を高めることを目的に、各グループのパフォーマンスの機会として、⑤学習成果発表を行うとともに、その後のグループ間ディスカッションを通して学習の深化を図った。</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された~達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>筆記試験の平均点は79.7±8.29(55.7±12.91)で、昨年度を20ポイント以上上回っており、筆記試験で標準レベル以上の者は92/103(15/102)名、89.3(14.7)%, うち理想レベルに達した者は53/103(1/102)名、51.5(1.0)%, 努力を要する「可」レベルの者9/103(26/102)名、8.7(25.5)%, 筆記「不可」の者はわずか2/103(61/102)名、1.9(89.3)%であった(カッコ内は昨年度)。例年、筆記試験は同レベルの問題を出題し【知識・理解】を問うている。昨年度はその結果が極めて悪かったが、今年度は標準レベル以上の学生数がクラスの半数を占め、また筆記試験で「不可」となった者もわずか2名(1.9%)であったことから、【知識・理解】の教育目標は「達成された」と判断した。</p> <p>当該科目の最終評価は、筆記試験・小テスト(60%)、個人学習・レポート(20%)、学習成果発表(10%)、学習貢献度(10%)による総合評価としている。従って、最終評価としてのクラス平均は78.6±6.61(66.7±10.50)点(最高93(89)点、最低61(41)点)、当初科目履修登録していた受講生104名のうち、前期中より長期欠席し受験失格、その後休学した学生1名を除く103名が履修を修了した。最終成績の内訳は、秀5名、優42名、良45名、可11名で、受講生104名(再履修者5名を含む)中103名が2021年度当該科目の履修を修了、休学中の1名が再履修となった。以上の結果より、知識理解(DP1)の到達度を「達成された」、思考判断(DP2)の到達度を「達成された」、態度(DP4)については、グループワーク等の学習貢献度や学習成果発表時の取り組み等を参考に「やや達成された」とした。</p> <p>学生による授業評価アンケートでは、到達度自己評価の「自分なりに目標を達成した」について、「かなりそうだと思う」45.2(23.2)%、</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容妥当性</p> <p>授業では、看護師の思考の軸となる「問題解決的思考」や「クリティカルシンキング」について学び、看護実践の方法論である「看護過程」展開の基本を習得する。さらに、後期以降の「看護実践の応用・展開」の基盤の科目として、基礎と応用を繋ぐ「要」の役割を担っている。通常、1年次後期(2月末)に「基礎看護学実習Ⅰ」を経験した学生達は、臨地での看護体験をもとに、自らの強みや傾向、また課題を発見することを通して、2年次の看護専門科目への興味関心を高め、自身の学習動機に繋がることが多い。今年度を振り返って思うことは、当該科目が「必修科目」(99.0%)であること、「資格取得に必要である」(36.7%)ことを受講動機とした学生の割合は例年と変わらないが、「関心のある内容である」(36.7%)を挙げた学生は昨年度(33.3%)を上回っており、こうした学生の関心意欲は、「看護過程の重要さ、看護師として患者をどのように見ていくのかを知ることができた」「看護するうえでとても大切な視点を学ぶことができた」「思考力やコミュニケーション力、団結力、考察力、観察力など様々な力をつけることができた」「楽しかった」など、授業評価アンケートの自由記述においても、学生自ら興味関心をもって主体的に学習に取り組んだ様子が窺えた。これらのことから、授業内容は、CP, カリキュラムマップ上の位置づけに対応したものであったと考えている。ただ、一人「到達度自己評価」の「自分なりの目標を達成した」を「全くそう思わない」とした者、自由記述で「なぜ対面なのか最後まで理解できなかった」と記載した者がいた。同一人物か否かは不明だが、他の学</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業はグループワークとその進捗に合わせた講義の組み合わせで実施した。例年、事前学習課題への取り組みに図書館を利用する学生は多い(昨年度:75.8%)が、今年度はコロナ禍の影響か、図書館利用者はやや少なかった(62.4%)。学術データベース利用者も昨年度51.5%→今年度34.4%と減少しており、その分インターネットのHPを検索・利用した者が昨年度70.7%→今年度84.9%と1割以上増加していた。但し、インターネットの情報利用については、学生が取得・利用する情報の信頼性、内容妥当性、適切性を保証するという点では、事前にインターネットの検索・情報取得に関する具体的な助言・指導を行う必要があると感じたため、次年度は授業ガイダンスの際にそうした内容も含めて行いたい。</p> <p>授業の質評価は「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」(4.6/5.0)、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」(4.6/5.0)、「説明は理解しやすいものであった」(4.4/5.0)の3項目が学科平均を上回っていた。残り2項目「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」(4.3/5.0)、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」(4.2/4.0)も学科平均に等しく、学生の主体的学習を促す教員側の働きかけは一定の評価を得たと考えている。</p> <p>受講生の自由記載について、昨年度は、その記述の多くが、担当教員への不満、正規時間外にGWに取り組まなければならないことへの不</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業評価アンケートより、科目履修後の学生は、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(4.5/5.0)、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(4.5/5.0)、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」(4.5/5.0)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(4.4/5.0)、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(4.4/5.0)、「職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)について学ぶことができた」(4.4/5.0)、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(4.4/5.0)、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(4.4/5.0)、「職業選択の参考になった」(4.3/5.0)として「自分なりの目標を達成した」(4.3/4.0)と自己評価していたことから、当該科目で「学生が達成すべき行動目標」としての知識理解、思考判断、意欲関心は「達成された」と、態度については「やや達成された」とした。技能表現については学習成果発表が「概ね達成された」状況であったことと学生の自己評価を勘案し「やや達成された」とした。</p> <p>授業の質評価においては、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」(4.6)、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」(4.6)、「説明は理解しやすいものであった」(4.4)、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」(4.3)、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	樋口 由貴子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
小児看護学概論	2	前期	必修	いいえ	104

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機から見ると「必修科目である」96.0%、「資格取得に必要な内容である」53.5%、「関心のある内容である」53.5%であり、看護師国家資格取得に必要な内容で知識の習得が求められる科目であることから、具体的事例や動画を用いる工夫をし、学生の関心をひき、理解しながら知識を定着できるようにした。</p> <p>②知識習得とその理解が必要となるため、定期試験の他に小テストを5回実施した。また、レポートを課し、新聞やネットニュースなどから自分で調べることで、現在の子どもを取り巻く環境や社会について興味を持ち、理解を深めるようにした。</p> <p>③講義の理解状況を把握する目的と、学生自身が講義に学びや考え、疑問などを持ちながら参加できる目的として、講義終了時に毎回、「学び票」を記入するようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①総合評価な平均値は80点（±7.1）点であり、88%の学生が標準的レベル（70点以上）に達し、そのうち理想的レベル（80点以上）に達した学生は61%であった。再試対象者は0名であった。試験の平均点は36/50点（得点率72%）、小テストの平均点は36/40点（得点率90%）、レポート7/10点（得点率70%）であった。DP1の平均点は14/20点（得点率70%）、DP2の平均点は66/80点（得点率82%）だった。</p> <p>②学生の到達度自己評価では"自分なりに目標を達成した4.1"、"新しい知識など得ることができた4.5"、"専門分野について課題を検討する力を得た4.4"、"学びを深めたいと意欲をもつことができた4.5"であった。この結果から、意欲を持ち学ぶことはでき、知識・理解の習得ができたと考える。</p> <p>③授業の質評価では、"テストの評価基準の明確さ4.6"、"課題の明確さ4.6"、"説明の理解しやすさ4.5"、"質問を受ける機会を設けていた4.2"であった。</p> <p>④学習量の評価をみると1回30分の予習・復習を4～5回以上した学生が45%、課題以外に学習に取り組んだ学生が74%であった。</p> <p>以上の結果はより、①において小テストの得点率が高いことから、8回の講義中5回の小テストを行ったことで、ほぼ毎回の復習が必要となり、その結果小テストのための学習はおこなえていたと考えられる。しかし、試験の結果は、小テストと難易度は変わらないにも関わらず、小テストに比べ得点率が低いことから、知識の定着にいたっていないことも考えられる。学生からは、「わからないところをノート</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、看護の実践の応用のために必要な知識を養う科目として、学生の自己評価からも2年次で学ぶ内容としては妥当であると考え る。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 科目内容は、小児看護の基盤となる科目であり、必修科目、資格取得のために必要である科目と考える。学生からは「知識を確認、修正 し、新たに得ることができた」「小児看護に興味をもった」などの意見があり、講義内容は妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 上記で述べたように、本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容も妥当であると考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①今年度、初の科目担当であったが、前任者の講義の流れを参考に組み立てをした。講義内容は教科書と毎回の学生の学び票を参考に、学生が理解しやすい言葉を選んだり、言葉の説明だけではわからないところは、動画やイラストなど視覚的に理解できるように工夫した結果、学生から「理解しやすかった」などの意見や試験などの結果からも授業の進め方は概ね妥当だったと考える。</p> <p>②講義はオンライン講義であったため、学生の反応が講義中にわかりにくい状況であった。学生からも「コミュニケーション力や表現力を多構えることができた」3.4、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、学生が参加する機会が作られていた」3.7と学生が講義に参加している実感が低いことが分かった。オンラインであっても、講義中に学生が発言したり、発表する機会を設けることが課題であると考え る。</p> <p>③試験については、小テストでは平均点は36/40点（得点率90%）であったが、試験の平均点は36/50点（得点率72%）であった。知識の理解と定着のためには、繰り返し復習できるよう、小テストの点数配分を減らしたり、小テストのタイミングや範囲を工夫することが来年度の課題である。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目を主担当として初めて運営する中で、知識を提供することが中心となっていた。学生の理解は概ね目標達成できていたが、オンライン授業であるため、学生の反応を随時取り入れながら進行していくことが難しかった。今後は、学生の発表や発言、質問などをする時間や機会を設け、学生参加型の講義形式をとり入れていくことが課題である。また、試験方法なども検討し、学生が繰り返し復習し、知識の定着につながる様な学習形態を考えていくことも課題である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	樋口 由貴子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
小児看護学演習	3	前期	必修	いいえ	93

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機から見ると「必修科目である」が100%、「資格取得に必要である」21.6%であり、資格取得のために受講しており、「関心のある内容である」学生は18.9%と低い状況であった。そのため、小児看護に興味を持てるように、まず子どもや小児病棟をイメージできるように動画や事例を用いることで、学生の興味をひくように工夫した。興味関心を持ったうえで、これまでの知識を活用し、事例の患児・家族に看護介入する方法を思考するよう、援助方法の実際などについても具体的に説明した。学生が苦手とするアセスメントについても、事前課題として、講義前までに自己で調べてから講義に参加することで、理解できるように講義を組み立てた。</p> <p>②担当教員2名で、講義前後に講義の内容・指導方法について詳細な打ち合わせをした。また、学生への指導内容については、教員間で統一をはかった。</p> <p>③学生の看護技術習得を目的として、教員だけで指導するのではなく、すでに技術の習得をしている4年生にも技術演習に参加してもらうことで、質問しやすい環境をつくり、個人のスキル向上ができる指導体制をとった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		やや達成された	やや達成された	やや達成された		やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①総合評価の平均値は69点であり、標準的レベル(70点以上)に達した学生は62%、そのうち理想的レベル(80点以上)に達した学生は17%だった。再試験対象者は3名で、全員が再試験を受験せず、再履修対象者となった。試験の平均点は15/20点(得点率75%)、小テスト7/10点(得点率70%)、レポート34/50(得点率68%)、発表13/20点(得点率65%)であった。DP別の成績は、知識理解の平均点は10/15点(得点率67%)、思考・判断の平均点は21/30(得点率70%)、態度の平均点は37/55点(得点率67%)であった。</p> <p>②学生の到達度自己評価の平均値は4.2、"知識を確認・修正・新たに得ることができた4.5"、"専門分野の課題を検討する力を得ることができた4.4"、"専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた4.4"、"コミュニケーション力や表現力を高めることができた4.2"であった。</p> <p>③授業の質評価は、"レポートなどの評価基準の明確さ4.5"、"学習の範囲や課題の明確さ4.6"、"話し合う、発表するなどの機会があった4.4"、"学生の質問を受け付け答える機会があった4.4"だった。</p> <p>④学習量の評価は、1回30分の予習・復習を4～5回以上した学生が54%、課題以外に学習に取り組んだ学生が52.7%であった。一方で、1回30分の予習・復習を0～1回とした学生が24%であった。</p> <p>⑤図書館利用率は44%、学術データベース利用率は22%、インターネットなどの利用率は90%だった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 看護の実践の応用科目であり、小児看護の現場で活用できる知識・判断・態度を養うことを目的としている。関心をもって受講した学生は18%であったが、「学びを深めたい」とした学生の平均値は4.4であったことから、講義内容は、小児看護を実践する事に意欲が持て、科目の位置づけとしては妥当であるとする。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 評価点、DP別学習達成度（知識理解、意欲関心、態度）及び学生の到達度自己評価などから、科目内容は妥当であるとする。</p> <p>③まとめ 以上より本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であるとする。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①コロナウイルス感染症流行を予防する目的と学生個々の理解度を図るために、看護過程における、アセスメントする部分の学習は個別に行い、レポート提出し、個別に指導することで理解を促した。また、小児看護の方向性を講義することで、概ね学生は理解することができたとする。看護計画については、グループワークを用いることで、理解を深めていくことに繋がったように考える。しかし、行動目標の知識・理解の得点率67%、態度の得点率は67%と標準的レベルにとどまっており、理想的レベルにするためには、発表の機会を多く作る等の学生参加型の演習の工夫をし理解したことを表現することで、知識・技術の習得が行えるようにすることが必要であるとする。</p> <p>②図書館の利用なども44%であり、学術データベースなどを用い、現場の看護実践に対し、より興味を持てるような講義内容の工夫も必要であるとする。</p> <p>③試験に関しては、「演習科目で、テストをする意味がわからなかったが、受けてみてテスト実施の意味を納得した」と学生からの意見があったように、レポートのみでなく、試験での学生個々の理解を確認することは妥当であったとする。今後も、看護の実践につながる思考・判断・態度を考慮した学習方法と評価方法を考えていきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>看護実践の応用をするために、知識、思考・判断、態度を学ぶ目標は概ね達成できたと考える。学生に小児看護に興味を持ち学びを深めたいという意欲も高めることができたとする。限られた人数の教員で、学生個々の知識・技術の習得を促すためには、今後も工夫が必要である。学生が、看護の実践に興味もてるよう、刺激し、主体的に学習できるように促す具体的取り組みを今後も検討する必要がある。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	田中 満由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
母性看護学概論	2	前期	必修	いいえ	102

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>限られた時間で教科書1冊の分量であるため、配布資料の工夫をしたり、視聴覚教材の工夫をするなどして、重要なところは特に重要であることを示すようにした。特に学生支援対象の学生さんのためにスライドには教科書のページ数も記載し、大事なスライドには「大事」等の表示をした。また、学生が興味を持てるように調べる課題を提出した。新型コロナのため、遠隔授業であり、学生には授業中に使用する資料は事前にPDFにして配信した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的には平均79.4点であり、53.5%の学生が80点以上の成績を修めた。昨年度はコロナ禍により、評価をレポート提出にしたが、本年度は国試のことがあり、例年通りのテストを遠隔で行った。再試対象者は14.8%であった。授業で大事なところは大事だといい、学習方法も言っているが、正確に覚えていない状況の学生さんが一定数いた。再試については対象者全員成績は良かった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>DP、カリキュラムに記載されている位置づけに沿って講義を行った。国家試験出題基準等も意識し、講義を行った。内容的には妥当である。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>授業をゆとりをもって実施したいのであるが、教授する分量が多いので、内容的に削れる部分は削るという作業をする必要がある。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業中、重要な個所は重要であると示したり、確認したり、授業初めに前回の授業のポイントを示したりすることで学生の成績は向上しているが、課題としては詰込みの感があるため、不要部分は削るという作業を行いたい。本年も昨年に引き続き遠隔授業であったが、学生はカメラをオフにしており、講師側からは学生の表情が全く見れない状況であり、一方的に指名して質問に答えてもらうという状態であり、途中で退席してもわからない状況である。中には授業中指名しても返答がない場合があり、受講状況は正確に把握できていない。国試のことがあり、次年度もテストは実施する予定である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	古賀 玉緒

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
母性看護学演習	3	前期	必修	いいえ	93

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、母性看護方法論に引き続き、母性看護学実習に必要な母性看護技術や看護過程の方法を習得することを意図して看護過程と看護技術の演習を計画した。看護過程演習については、例年と同じく、ウエルネス診断を用いた看護過程の方法を解説し、事例を用いて看護過程（情報収集から看護計画の立案）について学生の理解をは図るために、学生を小グループに分け、担当教員を配置した。教員は演習で行った看護過程についても個別に添削し、学生が直接個別指導を受けられる時間を設け学生の理解が図れるよう計画した。技術演習については、母性看護における基本的な看護技術を経験できるように計画した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は80点であり、再試対象者は数名であったが最終的に全員が標準レベルに達した。</p> <p>DP別にみると、知識理解に関しては76%、思考判断に関しては77%、態度に関しては90%であった、技術については99%であった。全ての目的において数値的には目標達成できていると思われる（平均値は4.0点以上）。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、「看護実践の応用・展開」に属し、周産期に属する対象者に必要なケアを提供する能力を育成するための必須科目である。学生は一定の成績をおさめていることから内容的妥当性は問題ないとする。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の個別的な意見にもあるように、看護過程は一人一人への個別的な指導を設けて対応したことも効果的であったと考える。技術演習についても個々が一度は看護技術を経験し、その実際を実感できるよう計画したことも効果的であったと考える。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>全体的には目標達成できていると思われる。今後も、学生の意見を取り入れて講義内容はよりよい方法となるよう検討していきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	大嶋 満須美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
成人看護学概論	2	前期	必修	いいえ	102

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は2年次後期に開講される成人看護学方法論の導入科目として位置づけている。成人看護学の対象を理解するため、ライフサイクルの中で青年期から向老期に至る過程を成長・発達・成熟の段階として概説し、社会と生活との関連、また保健政策、疾病の特徴など多角的な視点で捉え、看護実践の応用のため関連する理論を意識し教授した。また、1年次の「保健統計学」での学びを再起し、学生の調べ学習による授業参加を促した。これらはレポート課題として評価した。毎回「ねらい」を伝え、学生の学修進度を確認した。授業形態が本年度も遠隔授業となり、発問は行うものの「コミュニケーションや表現力を高める」という項目については自己評価が「3.1」と低い結果であった。遠隔授業に伴う準備性について今後も継続的に改善を行う必要がある。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された	やや達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生101名が履修し、成績評価の平均点は74.1点(SD7.1)、理想的レベル(80点以上)は23名(22.8%)おり、最高点は93点であった。昨年と比較し平均点(-1.7点)や理想とするレベルの学生は若干減少した。本年度も遠隔授業となり、評価においては再試験対象者はいなかったが、60点代が23名(22.8%)とほぼ昨年と同様であった。全体を通して学生の目標達成は概ねされたと考える。成人看護の対象理解の基本ともいえる概論は幅が広く内容も、抽象的と捉えられがちである。DP別の達成度は【DP1-2】75.1%、【DP2-1】69.8%、【DP3-1】82.2%であった。思考・判断の深まりは今後の課題と言える。学生の授業の質評価では、学習の範囲や課題は明確であり、質問の機会をもうけ、それに答える機会があったと評価されている。今後も、学生の段階を踏まえ、具現化し理解が深まるような参加型教授方法等の工夫が必要である。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は専門教育科目に位置づけられた必修科目である。看護実践のために成人期にある対象を生活者として多角的に理解し、看護実践を展開していく際の導入科目として必要な基礎的な知識や活用できる理論などの内容の習得を意図している。受講動機として「資格取得に必要である」が41人(41.8%)、「関心のある内容である」24名(24.5%)で、これらは昨年度と比較し増加している。内容的には妥当であると考ええる。</p> <p>②DP、行動目標から見ての内容の妥当性 本科目の行動目標として①成人期にある人々の特徴、②環境が健康に及ぼす影響、③健康に関わる保健、医療、福祉システムの概要、④成人期の健康障害の特徴、⑤成人期の健康レベルに対応した看護方法の特徴、⑥成人期に活用できる理論・モデル、を掲げ、これらを述べる事が出来るとしている。遠隔授業の環境下、再試験対象者はなく評価点は昨年とほぼ同等である。目標は概ね達成されており科目内容は概ね妥当であると考ええる。</p> <p>③まとめ 以上の状況から、内容的妥当性には問題ないと考ええる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方は予習して臨めるように、意図的に課題(調べ学習)を課し、各自がまとめて履修することで、学びにつながっている。授業の質評価では各項目の平均値が3.7~4.1であり、さらに上方移動する努力が必要である。学習量の評価では予習・復習とも(0)と答えた学生が約3割いること、また、課題以外の取り組みは61%が行っていない状況は昨年より増加している。主体的学習への動機づけと促進に対する働きかけが必要と考える。学生には後期の方法論と関連づけ、方向性を示しながら具体的な内容について調整を行い講義に臨みたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は専門教育科目の成人期看護学の導入科目である。最終的な成績や観点別の到達度とも一定の成果をえた。また、90.8%の学生が到達度自己評価で肯定的な評価をしていることから、教育目標はほぼ達成できたと考える。遠隔授業の環境下、後期にある各論では知識をもとに思考・判断の深まりを強化していく必要がある。授業の準備性を高め、主体性を促すような授業設計を検討することが課題である。また、わかりやすくポイントを押さえて講義が出来るよう内容と進度の検討をする必要がある。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	高橋 甲枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
成人看護学演習	3	前期	必修	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①成人看護学演習は、2単位（30コマ）で既習の形態機能学、疾病学、看護過程論、成人看護学方法論などで学修した知識、根拠をもとに慢性期、急性期における看護過程および看護技術を修得し、3年次後期の実習にて実践するための科目である。</p> <p>②講義・演習を組み合わせる1回2コマで実施している。今年度は授業時間100分で14回で組み立てを行った。</p> <p>③1グループ5名、19グループを4人の単位認定者と助教・助手で指導を行った。</p> <p>④看護過程のグループ評価、技術の個人評価および定期試験にて看護過程の理解を求めている。昨年度は中間試験を実施したが、本年度は定期試験に変更した。</p> <p>⑤技術に関しては、感染対策のために、モデル人形を用いリアル感を持たせるように工夫を行った。</p> <p>⑥学生の受講動機は必修科目であるが100%、資格取得に必要なが次いで多くみられ、「関心のある内容である」は11.5%（昨年度3.6%）であった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	やや達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①94名が履修を行い、2名は途中休学したため、92名の評価は、総合評価の平均値は69.4点（SD7.9）で昨年度（73点SD5.4）に比べて低値であった。最高点90点、最低点37点であった。不可11名で、再試験にて10名は可とした。結果、46.2%（昨年度76.3%）の学生が標準的レベル（70点以上）に達しており、理想的レベル（80点以上）に達した学生は8.8%（昨年度15.1%）だった。</p> <p>②DP観点別の成績は、DP1-2（知識・理解）は、10点中7点（得点率70.8%）、DP2-1は、70点中48点（得点率68.8%）、DP3-1および3-2は、10点中9点（得点率86.2%）、DP4-1は、5点中4点（得点率87.5%）、DP4-2は、5点中4.99点（得点率99.8%）であった。</p> <p>③学生の到達度自己評価の平均値は、4.1（4.2-3.9）で、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」で最も高かった。</p> <p>④授業の質評価の平均値は、3.8（4.1-3.4）で、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」がもっとも高く、昨年度と同様の傾向であった。もっとも低かったのが「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」であった。</p> <p>⑤学生の学習量評価は、1回30分以上の予習・復習をした学生が、88.5%・88.5%で、4～6回以上した学生が、68.9%・65.6%であった。一方、0回と回答した学生がそれぞれ11.4%・11.4%であった。課題以外の学習に取り組んだ学生は、45.95（昨年度21.7%）という結果で</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は既習の形態機能学、疾病学、看護過程論、成人看護学方法論などで学修した知識、根拠をもとに慢性期、急性期における看護過程および技術を修得し、3年次後期の実習にて実践するための科目である。科目の位置づけとして内容は妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 評価点、観点別学習達成度（知識理解、意欲関心、態度、技能表現）及び学生の到達度自己評価などから、科目内容は妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上より本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であると考え。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①学習達成度、到達度自己評価、授業の質評価の結果は良好で、後期実習に向けた学修の修得につながったと考える。</p> <p>②昨年度の自由記述に定期試験について必要であるのかという意見が聞かれた。しかし、グループワークは個人の理解には繋がるもの自分で考え解くという思考の定着を確認するためには試験を行うことが必要であると考え。 定期試験にて得点率60%未満が76%いるという結果であった。定期試験、看護過程のグループワーク、看護技術の総合点で評価を行うために、基本的な看護過程が理解できていないにも関わらず、合格となる学生がいることは看過できない。今後検討していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は上記に記載した評価点、観点別学習達成度（知識理解、意欲関心、態度）及び学生の到達度自己評価などからみて、この科目の目標は達成できたと思われる。ただし、例年よりも再試験者が多くみられ、基本的な解剖生理学、疾病学の知識、看護過程の理解が乏しいことが挙げられる。 今年度は対面授業となったが、感染防止という観点から積極的な技術演習および技術試験を行うことはできなかった。今後は後期での成人慢性期看護学実習および成人急性期看護学実習で、いかに本講義・演習での学びを活かすことができているか、実習内で技術試験を取り入れるなど、学生の修学の確認をしていきたい。 また、本来、看護過程の理解が不足している学生も総合点にて合格となり、フォローすることができていないのが現状である。配点の検討も含め、演習内容の検討をしていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	溝部 昌子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
老年看護学概論	2	前期	必修	いいえ	104

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①超高齢社会がますます進展していく我が国において、誰しも加齢に伴う心身の変化に適応しながら、高齢者が生活主体として豊かに暮らす社会を目指すことは、ユニバーサルヘルスカバレッジUHCにおいても重点であることがWHOによっても示され、老年看護学概論は単に高齢者の疾病と療養における看護を知ることにとどまらず、基盤となる知識を備え、創造的に思考するための出発点となる科目である。そのため、Agingに関する生物医学的知識、看護理論、疫学的統計資料、高齢者の生活に関連する様々な意識調査、高齢者の暮らしを支える科学技術などの情報、書籍やテレビ番組などで紹介された高齢者の生き様や暮らし方など幅広く、多様な高齢者像を描けるように工夫した。</p> <p>②講義の都度GoogleFormを用いた振り返りアンケートを行った。理解度や興味を尋ねるだけでなく、授業の中で一番印象に残ったことや学びを自由記載してもらったこととした。その結果、授業中に提示したデータや資料について、学生がどのような印象を持ったのか、何がインパクトを以って伝わっているのかを知ることができた。自由記載の記述は必須ではなかったが、常に90%以上が、100文字程度の記述を残していた。</p> <p>③教務課の授業評価では、「事例を示した説明がわかりやすかった」、「高齢者の気持ちや立場を学ぶことができた」などの記載があった。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	やや達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目の評価は、小テスト4回60%、レポート提出39%、その他1%で、小テストの平均点47.7点、レポート平均点33.6点で、最終評価は、平均81.2±6.0点、秀5名、優61名、良35名、可2名で、目標は概ね達成された。レポートは認知症やACPに関する課題で、資料の検索や情報の整理が不十分であったり、感想にとどまる、短絡的な意見の記述、多様な観点を考慮していないなど、思考判断、態度面で減点対象となる物があった。</p> <p>講義中に示した、Webサイトや文献、資料についてはリンクから学生が閲覧できるようにした。また、「自分なりに情報検索をした」、「たくさん資料が紹介されていて興味深い」という意見は、毎回終了時に行っている振り返りに記載があった。一方で、授業評価では、図書館や文献については利用しなかったと回答した人が9割近く、授業評価のデータ収集方法、回答の信憑性や意味付けに検討の余地があると考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①老年看護学概論は看護専門科目であり、基礎看護学に対しても専門科目の位置づけであり、専門基礎及び基礎看護学で習得した知識をさらに発展、応用した内容となっており、科目構成、後期に続く老年看護学方法論の前段階の科目としても妥当な内容と分量の配分となっていると考える。

②DPでは、専門基礎で学んだ生物医学的意味に加えて、高齢者を単なる高齢の患者として捉えるだけでなく、生活者として生きる人間としての人生のステージや、社会における位置づけを理解するための知識、態度、思考を展開するために、テーマの順序性、教材選択を行い、毎時の振り返りFormで「興味深かった」「新しい発見があった」、「さらに学修したいと思う」、「将来役に立つと思う」という回答が9割以上確認できた。

③以上より、内容的にも方法的にも妥当であったと考える。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」

「図書館、インターネット利用」学生の意見など

授業評価において、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の項目が最も平均点が低く3.8であった。遠隔授業などの関係で、学生同士がディスカッションや発表する機会を確保することが難しかったが、後期からは、クラスルーム内のJamboardやグラフィックレコーディング手法を活用し、学生個々が表現力を高められるような、また自身の表現力が高まったと実感できるような手法を取り入れたと考える。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

ディクテーション機能や字幕機能を活用したが、高齢者の生活や看護について伝えようとしている叙情的な部分が遠隔授業でどの程度伝わるのか、昨年同様に気がかりな部分があったが、画面越しであっても教室で伝えるよりも近くに感じられる面もあるし、またその限界もあると考える。情報の共有など遠隔での実施が効率よく効果的であったものは今後もそれを継続し、ドキュメンタリーなどの動画や文書の共有などは当事者の感情を理解する上で対面で行ったほうがよく、内容によって方法を選んで授業の質を高めたいと思う。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	溝部 昌子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
老年看護学演習	3	前期	必修	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①老年看護学演習は、臨地実習前の科目として、老年看護学概論で学んだ老年看護の基礎知識と、老年看護学方法論で学んだ高齢者の身体機能や生活機能の評価や看護技術をもとに、事例に対してどのようにアセスメントをすすめ、看護を展開していくかを系統的に学んでいく科目である。本年度は、その看護展開を前に、摂食嚥下機能の評価と看護、排泄機能の評価と看護、褥瘡評価と看護、下肢血流評価と看護を講義したので、学生が課題として取り組む際に取り入れやすかったと考える。</p> <p>②毎時振り返りと質問のためのGoogleFormを実施し、次回の解説することを定番化し、学生もそれを活用していたと考える。また、今年度は課題に取り組む前に該当箇所についての、ポイント、方向性を示す授業を行い十分に説明を受け資料がある中で学生は課題に取り組むことができ、課題提出後は優れた提出課題の学生プレゼンテーションの後、さらに解説を加えるという形をとったため、私が赴任する前から従来行われていた、事前に学生が課題に取り組んでから講義する方法に比べて、効果的に学修を進められたと考える。さらに、課題に取り組む際の参考書の用い方を詳しく説明し、参考書、講義、資料から個人で学修成果を確認できる状態であることから個別の添削でのフィードバックは廃止した。約100名を対象とした演習科目であり、個別指導という方法はそもそも適切でなく、方法と目標という点で妥当であると考え。</p> <p>③課題はグループでなく、個人での取り組み提出とした。事前説明、資料の提示、参考書、課題提出後のフィードバックにより、一人で看</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①この科目の評価は、看護技術課題のワークシート40%、看護過程40%、参加態度、その他の提出物20%で、最終評価は、平均84.0±9.6点、秀12名、優64名、良12名、可4名+2名となった。14回それぞれに一つ以上の提出物があり、地道で絶え間ない努力を必要とする科目であり、多くの学生はそれを達成できた結果となった。可の4名、一旦不合格となった2名については、看護過程や老年看護学についての知識が全く不足している状態ではなく、時間管理、タスク管理、生活管理に努力の余地が多い。一方、秀となった学生は、すべての課題において完成度が高く、また修正や改善などの向上心が評価された結果となった。</p> <p>②授業の振り返りformで、一番印象に残ったこと、学びについて自由記載で尋ねているが、毎回ほとんどすべての学生が新たな発見や興味、学びの実感についてかなり具体的に記載しているが、授業評価における点数とこの科目における学生が実感している成長とが乖離していて一致していないのではないかと感じる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

- ①臨地実習につながる3年生前期科目として、高齢者アセスメントの実践的方法や論理の展開について講義や演習を通して学生が実践的に学び、2年前期後期の老年看護学概論、老年看護学概論を発展させることができているとあり、科目の位置づけ、内容的に妥当である。
- ②DPでは、毎時振り返りフォームで、「興味を持った」「さらに学修したい」「新たな発見があった」「将来役に立つと思う」とほぼ全員が「そう思う」と回答しており、また看護過程の展開という形ですべての学生が目標を達成しており、思考判断、意欲関心、態度の点で、目標は達成されたと言える。
- ③以上より、内容方法とも妥当であったと考える

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

- ①個別指導を求める意見もあるが、学修課題そのものが全学生共通であり、集合教育の形で目標を定め、効果的な教材提示や説明を検討することで今後も展開していく。個別指導は教材を統一できない臨地実習や卒業研究などの場合に用いる手段であり、学習上のアドバイスは質問に対応することで提供していく。
- ②高齢者看護技術に関する幅広い情報提供、教科書、参考書など必要十分な情報提示ができ、学生によってはさらに情報検索をしたり深く学ぶことにつながったと思われる。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

- ①高齢者看護のアセスメントは、看護学的な視点と様々な評価スケールを用いること、生活者としての視点や家族を含んだケア、エンド・オブ・ライフケア等様々な状況を加味する必要があるとあり、アセスメントにおいて11のすべての側面を選別したり省くことはできない。他の領域では割愛することもあると聞いているが、自身で課題に取り組み、学びに妥協を求めず看護学生としての自覚、責任感を高めて欲しいと考える。
- ②実習施設が拡大することで、担当患者の事例も多様になるため、実習施設を想定した教材を開発する必要があり、臨地実習指導者と協働し、より実際の患者、治療、看護、療養を学べるようにし、原理原則だけでなく将来的に看護師として継続的に学べる姿勢もあわせて教育していきたい。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	前田 由紀子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神看護学演習	3	前期	必修	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は、後期からの精神看護学実習に直接かかわる科目である。学生が実習をイメージしやすいように事例を多く取り入れ、参加型の授業が展開できるようにした。リモート授業であったが個人の発表を多く取り入れ、発表後にディスカッションし、活発に意見交換ができるようにした。受講動機は、100%が必修科目であるためであり、後期からの実習を控え、学生はそれなりの覚悟で臨んでいると思われる。</p> <p>②精神疾患と看護の関連や、患者の全体像を総合的に理解できることを目的にオレム・アンダーウッドの理論を用い、個人ワークによる統合失調症の事例展開を行った。また、作年度に引き続きストレンクス理論を取り入れ、プロセスレコードによる自己洞察について考察の時間を増やした。</p> <p>③精神疾患の特性からどのような観察やケアが必要になるのか、精神科看護のポイントを事例に沿って解説資料を作成し、学生の理解を助けた。リモート授業であったため、授業資料はやや詳細に作り直し理解しやすいように構成した。</p> <p>④配布資料は、実習時に活用しやすいようにファイル化させた。課外においては、うつ病の事例を用い、個人ワークにて看護過程を展開させた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は70点であり、再試対象は9名であった。84名(89.4%)が標準的レベルに達した。理想的レベル（概ね80点以上を目標）に達したものは14名（14.9）%であり、30%ぐらいの学生がこのレベルに達するとよいと思われる。成績の内訳は、A（秀）2.1%、B（優）が12.8%、C（良）が42.6%、D（可）が31.9%であった。</p> <p>精神疾患も持つ人の看護の展開、主に統合失調症の事例が中心であったため、イメージがしづらく、これまでの知識を思考判断に応用することが難しいところもあったようである。また、問題解決思考にとらわれない考え方は他の身体領域とは違うため戸惑うことも多かったようである。精神疾患の病態の理解を深めるとともに、精神疾患を持つ人の生活上の支援が想像できるように、次年度に向けて検討を重ねたい。</p> <p>学習到達度の自己評価の平均は4.12であり、「かなりそうだと思う」が23.4%、「まあそうだと思う」「わりにそうだと思う」が76.5%を占めていた。授業への準備状況として、予習の時間0回が12(昨年26)%、復習の時間0回が15(前年25)%となっており、前年より学習時間が少なくなっている。課題が忙しかったという意見があり、課題以外の学習する時間がなかったということなのであろう。提出率はほぼ100%であったので、授業時間以外の学習はできていたと思われる。新型コロナウイルス感染症の影響か、図書館の利用は41%で少なかったのは残念であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「専門科目」であり、必修科目である。2年生後期の専門知識と、3年後期からの臨地実習をつなぐ要の位置にある。本科目の単位習得は、臨地実習に参加できる要件になっているため、学生はまじめに取り組んでいる。臨地実習を意識した授業になるため、課題はやや多いが学生も応えており、一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 提出物の内容や、発表に内容を省みると学生は積極的に授業に参加していた。本科目の性質上、理解しづらいところは否めないが、リモート授業においてもグループワークで進めたことで、学生一人一人はよく学習し理解は進んだと思われることから、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、平均は4.22であり、「かなりそうだと思う」「わりにそうだと思う」が80.8%、「まあまあそうだと思う」が18.6%を占めていた。精神疾患の事例を取り上げて看護過程を展開している。疾患の理解が難しいため資料の工夫等を重ねているが、今年度は理解が進んだようである。さらにわかりやすい解説をしていきたい。「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均点は、4.4で項目の中で最も高い評価であった。遠隔授業におけるグループワーク中心の演習であったが、発表の機会を多く取り入れ、全体のディスカッションもできた。参加型の授業ができたことは良かった。遠隔授業におけるグループワークのメンバーを3人にしたことで積極的にならざるを得ない環境になり、ほとんどの学生がまじめに取り組んでいた。課題については、学生が計画的に学習に取り組めるように、課題の全体像が見えるように前もって提示した。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、2年生後期の専門知識と、3年後期からの臨地実習をつなぐ要の位置にある。精神疾患の病態および看護の基礎的知識を確認しつつ、精神科看護の専門応用へとつなげていかなくてはならない。基礎的知識の確認は、課題を課したうえで、授業に参加してもらい、グループワークでフィードバックしながら、看護の思考過程へ進んだ。遠隔授業においてもグループにおける活発な意見交換や、クラス全体での発表会を通じて、思考判断、技能表現については学生の自己評価も高かった。課題の提出率もよく、自己学習が進んでいるように思えたが、グループワークの中で十分な学習ができない学生もいたと思われる。次年度も遠隔授業が続くようであれば学生が学習時間を計画的にとれるように指導・工夫していきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	石井 美紀代

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
在宅看護学	3	前期	必修	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機を見ると、全員が「必修科目である」をあげ、「関心のある内容である」のは1割であった。在宅看護学は、他の臨床看護学と比べてなじみが少なくイメージができないと思われるが、最初の動機からポジティブな学生が少ないことが残念である。そのため、科目の目的・目標を共有するのではなく、まずは関心をもって取り組んでもらうための仕掛けを考えた。最初の講義で、神経難病の療養者から西南女学院大学の学生へのメッセージのDVDを見てもらった。このメッセージによって心を揺さぶられ、積極的にとはいかなくても前向きに学ぶことを期待して進めていった。</p> <p>積極的動機が少ないのは例年のことなので、1～2年生の科目でも在宅看護が社会から期待されていることを伝えていきたいと思う。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績は、平均点69.6点（昨年68.3点）であった。成績の内訳は、秀3名（昨年1名）、優11名（昨年4名）、良29名（昨年33名）、可46名（昨年57名）、不可(放棄)2名（昨年0名）であった。昨年に比べ平均点が1.3点高いが、点数の差が大きく、再試者が9名あった。</p> <p>評価は、レポート、小テスト、定期テストで行った。小テストは訪問看護制度の問題を事前に予告していたにもかかわらず、かなりの開きがあった。重要で覚えてほしいからテストをするのであるが、学習不足のまま臨んでいる学生が多数いることは、テストを軽視していると考えられて残念である。</p> <p>学生の評価でも、「授業に参加するために1回30分以上の準備をどのくらい行いましたか」で0回が45%あった。一方、7回以上は予習した人が28%あり、取り組みの差があることがわかる。これらの積み重ねが学習成果（最終評価）につながっていくと考える。</p> <p>学生の主体に任せると学習の取り組みや成果に差が出るため、課題をだすことで最低学習量が確保できる。しかし、3年生の前期は演習科目が多く課題が重なっているため、きちんと思考することにつながらないことも予想できる。どのように興味を持たせていくか、私の大きな課題である。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目はDP1：知識・理解、DP2：思考・判断、DP3：意欲・関心を目標にしている。対象が小児から高齢者とすべてのライフステージである。疾患も多岐にわたっていて、長期の療養をしている人、障害を残している人、ターミナルの人と幅広い。到達度の自己評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が学科平均より低くなっている。在宅看護学には決まった看護技術があるのではなく、個々の対象に応じて試行していかなくてはならず、学生にとって学習成果が見えにくかったと思う。学生が達成感を得られる工夫の必要性を感じる。</p> <p>一方、学生自身も社会に関心を持ち、日本の医療の方向性や看護に求められていることにアンテナを張っていてほしい。特に、在宅看護は対象の価値観や健康観が基本となるため、看護師が押しつけたり決めたり出来ないことから、明確な答えが存在しない。答えがないものを考えることは面倒であり不確実であるが、「看護には答えがたくさんある」という本質をとらえて、不確実なことを面倒がらずに考えるように伝えていきたい。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単に示してください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目は、対象や疾患がさまざまであることから、これまで学んだ各看護学の知識をもとに思考し、統合していく科目である。既習の知識の定着が前提であるものの、学生の特徴として、科目単元ごとの知識で完結し、忘れてしまっていることが多い。昨年は、学生の入校ができず図書館の利用が許されなかったが、一昨年は、「図書館の図書や雑誌を利用した」と答えてくれていた学生が7割あった。今年は2割の学生しか「利用した」と答えていない。理由は「課題で手一杯」「他の課題があった」「時間がない」が大多数を占めている。このことについては、残念という以外ない。大学生として、授業をうける準備が自らできるようになってほしいと願う。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>在宅看護学はすべて明確な答えがあるわけでない。「～かもしれない」と複数の答を予想し、諸状況によって様々な対応が求められる。学生は、明確な答えがないと不安に思ったり、多くの場合は答えがないことを考えたくないようである。答えがないものを面倒がってしまう学生の状況を受け止めつつ、考えることを繰り返し説明したい。また、シラバスを確認し、シラバスに書いている予習・復習をして、講義に臨むように動機づけしていきたい。</p> <p>また授業過程において、学生に興味を持ってもらう工夫をし、大学生らしく主体的に自分で学習テーマをもって、図書館等を利用して学習してほしいと考える。そのため、頑張りを評価的工夫もしていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	石井 美紀代

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
在宅看護学演習	3	前期	必修	いいえ	94

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機について、100%が「必修科目である」をあげている。その他の動機は極端に少なく、「関心のある内容である」のは4%であった。本科目は看護学科の必修科目であり、学生の選択の余地なく受けざるを得ない。授業を履修するにあたってシラバスを参考にした学生は65%、あらかじめ授業を受ける計画を立てた学生は40%であった。関心ある学生が少ない状況での授業開始であることを念頭に授業の導入をしていくことで、仕方なく受けるにしても、興味をもって臨んでもらうようにしたい。</p> <p>在宅看護学・在宅看護学演習は2コマ続きであるため、在宅看護学で理論や考え方を学習し、演習ではその知識を使って思考していく流れを作った。また、①在宅医療や介護についての社会問題を知る ②包括看護計画 ③在宅看護技術（教育技術・提供技術）の3つの柱で14回の授業展開をしていった。授業に興味をもってもらうため、資料で各演習課題の目標を示し、画像を使ったり、教材の工夫をしていったが、学生の受け止めと学習成果は厳しいものであった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された			どちらともいえない	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>評価は、レポート・ケアプラン・看護過程等の提出物が40%、口頭試問10%、期末テスト50%で実施した。最終的な成績は、平均点69.6点（昨年70.7点）であった。成績の内訳は、秀0名（昨年1名）、優10名（昨年10名）、良41名（昨年49名）、可41名（昨年45名）、不可（再試験未受験含む）4名（昨年2名）であった。今年は、ペーパーテストの得点差が大きかった。</p> <p>本科目では半分をグループワークの形式をとる。しかし、科目評価はあくまでも個人で行うため、グループワークの評価割合が少ない。学生の意見の中には「テストの配点を少なくしてグループワークの評価をしてほしい」との意見があったが、グループワークの成果ではなく、グループワークの貢献度を評価しているため、頑張った分は点数に反映していると考えている。</p> <p>一方、学生から「先生によって言っていることが違うことがあったり、説明が理解しづらいことがあった」との記載があった。教員4人で担当しているため、言葉の選択によって違うように聞こえるかもしれないが、演習の目的や内容、書き方については事前に複数回の協議とすり合わせをして指導にあたっており、授業中も質問内容を共有しているので、違うことを教えることはないと思っている。その場で質問や指摘してもらったら授業中に全体に説明することもできるので、気づいたことがあったら教えてほしい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、他の看護学の知識を統合するもので、DP2：思考・判断、DP3：意欲・関心、DP4：態度、DP5：技能・表現を目標にしている。</p> <p>ケアプラン・看護過程では、各自が展開できる力をつけるため、グループワークを取り入れながら、課題の提出は個人個人でするようにした。また、ルーブリック評価表でチェックした。「課題が多すぎる」という意見があったが、大学の講義は予習+講義+復習の時間で成立するものであるから、その点を理解してほしい。</p> <p>到達度自己評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が学科平均より低くなっている。在宅看護学領域には決まった看護技術があるのではなく、個々の対象に応じて試行していかななくてはならず、学生にとって学習成果が見えにくかったと思う。学生が達成感を得られる返し方の工夫をしていきたい。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>在宅看護過程では、基礎看護で学んだ看護過程を基本に、在宅看護特有の情報やアセスメント、包括計画といった過程をたどる。基礎や成人看護学で学んだゴードンのパターンでない独自のパターンであることから、在宅看護過程の見本として「共通事例」を配布した。見本があることを前提に手順の説明をしていったが、学生の授業の質評価が低く、中でも「説明は理解しやすいものだった」が最も低かった。共通事例を配布していること、授業時間での質問も少なかったため、考え方の方向性がわかってもらえるという思いがあった。授業時間外の負担を減らすために、授業時間をなるべくグループワークの時間にして説明の時間を最低限にしていたが、確認が必要だったと反省する。また、全体の目標を説明しながら、現在の作業の方向性を説明することを強化していきたい。</p> <p>「授業以外に学習に取り組みましたか」で、その理由が「課題で精一杯」との意見が多かった。3年前期は看護学各論ごとに看護過程を展開するため、患者を同時に5人受け持っていることと同様の学習量である。そのことは、教員一同、十分承知しており、情報交換しながら技術と看護過程の時期を調整している。提出日も、必ず、他の科目と同日になっていないか調整する。その上でも、授業数が少ない分、科目の質が高く要求され、これまでに比べて課題の量は多くなる。教員同士で同時進行の課題を考慮しているので、後期の実習に向けてこの関門をクリアしてほしい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>主体的な受講動機が低い科目であることから、科目のねらいを具体的に示していきたい。授業外での課題については、今後も他の科目の情報を得ながら考慮するが、なくすことは難しいため、学生の理解を得たい。3年前期は看護学各論ごとに看護過程を展開するため、同時進行している他の演習科目の進行や課題を配慮したものだが、自由記載では課題の量と時期についての意見もあった。実習に向うこの学期は、授業数が少ない分、科目の質が高く要求され、これまでに比べて課題の量は多くなる。教員同士で同時進行の課題を考慮しているので、後期の実習に向けてこの関門をクリアしてほしい。</p> <p>看護過程では既習の知識を使う必要があり、既習のことから説明しているとディスカッションの時間確保が難しい。そのため、講義中は教員と助教でラウンドしながら個々の質問に応じる体制をとっていた。しかし、質問が出ないため、グループの進捗を見ながら個々に解説していたが、不満を感じた学生もあった。在宅看護過程は地域ケアシステムなど特有の視点であるため、全員が理解できるように善処したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	溝部 昌子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
看護研究	3	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①看護基礎教育で学んだことだけで看護師としての職業役割を果たすことは困難で、看護研究は、Evidence-Based Nursingを実践することを念頭に、看護師が生涯に渡って活用する知識・能力を修得する科目である。また、臨地実習での学修は、様々な情報を収集、整理し、分析し、患者に適応しながら看護実践をすすめていくもので、情報リテラシーと看護科学を連関させて課題や疑問を解決していくことを学生を対象とした質問紙調査を通して学ぶ科目構成となっている。学生対象とした調査の実施を前提としており、グループでのテーマ設定、調査票作成、集計、分析、論文化、発表が学修活動となる。</p> <p>②学生の調べたいこと、知りたいことを軸にテーマ設定を行い、楽しく取り組めたということと、他の学生の調査や発表を興味深く聴くことができたという意見があった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	どちらともいえない	やや達成された		やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①この科目の配点は、個人課題レポート20点、グループワークの貢献度に関する記録20点、グループで提出する成果物60点で、個人の評価とグループの評価から構成されている。最終評価は、平均76.7±6.8点、秀0人、優33人、良56人、可0+2名となった。個人課題レポートでは、研究プロセスと看護研究の意義に関する論述であったが、情報の整理が不十分であったり、結論に至っていなかったり、論述が不完全な学生が半数に及び、知識理解、思考判断での達成度は低めであり、そのことが秀の学生が出なかった背景である。グループワークの貢献度は、自己評価票と評価基準を予め提示し、毎時提出されたものをもとに教員が評定した。グループワークへの貢献は個々に様々な形があると考えられ、総合的に勘案して概ね達成されたと判断した。極端にグループへの貢献度が低かった2名については、総合的な評価で不合格となり、グループワークを補完するような追加課題のレポート提出により合格と判断した。このプロセスがあることをすべての学生にも周知することで、評価の公平性が保たれることが理解されることにも繋がったと考える。</p> <p>②Googleドライブ内でのファイルの共有、formを利用したアンケート調査など遠隔授業の特徴を活かして、効率よく効果的に学修活動が行えたものとする。図書館経由のデータベースが利用しづらい状況に関しては、昨年度同様、WWWでの一般公開情報でも遜色なく情報収集できるようなので、デメリットは少ないと感じた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

①本科目は専門科目に位置づけられ、3年生前期は看護学の専門科目の履修が概ね完了する時期であり、看護学で学んだ知識を後期に臨地実習での学びに繋げることを想定し、成人看護学、老年看護学、母性看護学、在宅看護学、公衆衛生領域の研究や看護を題材にしながら授業を展開し、知識の応用や発展を想起することを促したことは、後期の臨地実習の前段階として妥当であると考えます。

②看護研究に関する基礎的知識や、自身が設定した課題を演習するための思考や判断、課題への取り組みなどの態度を修得することは、順序立てて設定した学修活動から可能であり妥当であった。さらに技能表現についても報告会では発揮されたものと思われ、成績評価としてはなく、学生投票という形で上位グループを表彰した。授業評価では、「コミュニケーションや表現力を高めることができた」と、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が、最も平均点が高く4.3であり、学んだ実感としては、自身の学修活動に基づいたものであった。

③以上より、内容的に妥当であったと考えます。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

①学修活動の性質上、講義時間外でのグループワークが必要となったが、グループ間、個人間で取り組みには差があるようであった。15回設定であり、講義時間内の作業時間は10～30分程度とし、講義及び指導時間を確保できたと考える。講義内でグループワーク作業時間を組み入れることを要望する声もあるが、そうすると30回設定で、学生にとって自由度はより低くなると思われるので、現行の時間配分で継続したいと考える。

②学生は、1グループ5人、16グループとし、調査研究を実施し、それにつつまる前後の作業を体験的に学んだ。学生が設定した研究テーマは、恋愛、睡眠、アルバイト、学修、健康状態などについてで、対象となる看護学生と自身についての疑問や興味について、資料を調べ、リサーチクエスチョンとして設定し、調査により明らかになったことから方策を検討して提示するという一連の活動を、研究の知識や方法に基づいて実施できた。今後も学生が興味を持てるあるいは実感している問題について課題として調べる面白さや方法を学べるようにしていきたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

①テーマや方法をあらかじめ設定して、正しい研究方法を教えるように学ぶ方法もあるが、15回、半期を興味を持って取り組める課題であることを優先し実施することで、楽しく学べたという評価につながっていると考えられる。

②新型コロナウイルス感染症やEBNの広まりにより、情報リテラシーや表現する力はますます必要性が高く、その方法も多様な選択肢を提示しながらこの科目はすすめていく必要がある。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	吉原 悦子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
地域連携協働支援論	2	前期	必修	いいえ	104

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>看護の発展に位置付けられる必修科目である。「地域で生活する人々」をキーワードとし、自らの生活に着眼できることを目標としている。</p> <p>昨年と同様、自分自身のことと捉えられるように日常生活をイメージするような課題を提供し、講義を行った。毎回の講義での学びや質問を記載してもらい、その説明を行うようにし、学生の気づきや疑問を表出しやすいようにした。学生の自由な発想を妨げないようにし、学生が提出した課題の発表を行い、共有するようにした。</p> <p>講義の中で地域・看護・認知症・高齢者・障害者などのキーワードでのトピックスなどを交えて提供し、地域で生活する人々への幅広い視点を持てるように行った。</p> <p>5コマ目に小テストを行い、学習状況を確認を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は、78.6 (±7.5) 点であり、標準的なレベルに到達していると考えられる。理想レベルに達したものは47%で昨年より増加した。項目別にみると、知識理解の平均点は78点、思考・判断については73点、関心・意欲については83点であった。関心意欲については十分に習得できたが、特に思考判断について、地域で生活する人々を身近なものとして捉え、そこから看護の役割を見出すことが難しかったのではないかと。そのため、次年度は、事例や具体例の検討を行っていく。</p> <p>授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価は全項目において、概ね達成したと回答した学生が多かった。しかし、各項目「全くそうではないと思う」と答えた学生が、3～6%程度おり、講義内容が伝わっていない学生がいるということからも、授業概要や達成すべき目標を繰り返し学生に伝えていく必要があると考える。</p> <p>前期試験、授業評価アンケートからも、本科目の教育目標はある程度達成できたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、看護学科科目のうち「看護の発展」に位置付けられており、必修科目である。専門科目のベースとなり、内容的には妥当である と考える。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 行動目標については、授業評価アンケートの結果からは、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(4.1)、「事象を理解する 視点や考え方を得ることができた」(4.1)、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」(4.1) 「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた。」(4.0)であった。これまでに学んできた知識を生 かす、また、今後学んでいく内容とも関連があり、学習意欲への促しにつながったのではないかと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方 策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答を お示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価ではほとんどの学生が「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と回答しており、概ね評価 や質問に対する対応ができていたと考える。しかし、「まったくそうでない」と答えた学生もいた。講義開始時にシラバスを用い、評価基 準や講義で課される課題について説明を行ってきたが、伝わっていない学生がいると考え、複数回、丁寧に説明をする必要があると考え る。 今年度は、対面と遠隔での講義であったが、講義資料は余裕をもって提示し、予習ができたり、印刷に可能となるようにした。講義の中で はできるだけ集中して取り組めるように、具体例をあげ、学生がイメージしやすいように話をし、興味や関心を持ってもらう工夫を行っ た。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>全体的に講義内容として学生には概ね伝わり、概ね達成できた。しかし、思考判断の面では、次年度その内容を検討していく必要がある。 特に、授業の概要や課題について理解ができないまま行うことがないように毎回説明していく必要がある。次年度も、対面でも遠隔でも対 応できるように講義内容を精選していく。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	吉原 悦子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
地域生活支援論	3	前期	必修	いいえ	87

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、必修科目である。2年次に学ぶ「地域連携協働支援論」に次ぐ科目であり、地域で生活するあらゆるライフステージにある人々の健康を支えるための知識・ケアを学ぶ科目である。そのため、これまでに学んだ各領域の概論や方法論をベースにし、保健・医療・福祉・教育などの領域の専門職との協働連携や包括的にケアする方法、その中で看護師の役割などを講義した。講義内容は様々な領域にわたるため、身近な具体例を用いながら関心を持ってもらうようにした。昨年と同じく、講義終了後には出席カードにより、学びや質問を確認し、次の講義の際に説明を行った。4コマ目には確認テストを行い、学習状況を確認した。今年度は、講義内容に関心を持つための具体例であることを学生に伝えた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>前期試験の平均点は73（±13.5）点であり標準的なレベルに到達していると考えられる。理想レベルに達したものは30%であった。項目別にみると、知識理解に関する平均点は71点、思考・判断については70点、意欲関心については70点、態度では70点であった。</p> <p>授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価からみると、3.9から4.3の平均値であり、概ね達成できたと考える。遠隔授業の時期もあり、図書館を利用する学生は少なかったが、インターネットを利用した学生が80%を超えており、課題や不明点などについて調べたとと言える。しかし、シラバスを参考にしなかった学生が34%いることから、計画的な学習につながっていない可能性もあるため、その都度、授業概要や課題について説明する必要がある。</p> <p>以上、前期試験、授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から本科目の教育目標はやや達成されていると考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、看護学科科目のうち「看護の発展」に位置付けられており、専門科目のベースとなり、必修科目である。学生も一定の成績を修めており、内容的には妥当であると考えている。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 行動目標については、授業評価アンケートの結果からは、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(4.3)、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(4.2)、「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」(4.2)「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた。」(4.2)であった。これまでに学んできた知識を生かす、また、今後学んでいく内容とも関連があり、学習意欲への促しにつながったのではないかと考え、内容的妥当性には問題ないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価ではほとんどの学生が「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と回答しており、平均値は4.0~4.2であり、概ね評価や質問に対する対応ができていたと考える。特に今回は対面と遠隔での併用の講義であったため講義資料を余裕をもって提示し、予習ができたり、印刷が可能となるようにした。また、配布資料については、学生の意見を取り入れ、余白の量について検討した。課題以外の学習はほとんどの学生が行っていないが、毎回の課題をきちんと提出しており、課題によって復習や調べることにもつながっていた。講義後半については、対面講義であり、課題について学生同士で検討を行うことができた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>全体的に講義内容としては学生に概ね伝わり、達成できたのではないかと考える。しかし、課題以外に「何をしたいのかわからない」という自由記載もあり、次年度はさらに具体的な説明が必要と考える。この科目は、各分野と重なりを持つ部分も多く、そのことを想起し、日々の学びに記載している学生もいる。学生自身の言葉で表現できる機会を作っていくことも必要と考える。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	中原 智美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
緩和・がん看護学	3	前期	必修	いいえ	92

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、専門教育科目で看護の発展、地域包括ケアに位置づけられる科目であり、既修のすべての科目を基盤にしている。</p> <p>あらゆる発達段階、地域のさまざまな場で病気とともに生きているすべての人々を対象に、がん看護、緩和ケア、終末期看護という独自の知識・思考を新たに学ぶ科目である。本年度は遠隔授業にて実施した。</p> <p>がん看護においては、入院治療のみならず、地域で生活や仕事と治療を両立している患者を取り巻く状況を具体的に挙げながら、地域包括ケアの視点で看護方法について解説した。また、3年次後期からの実習に直接的に活用できる知識であり、臨床での事例や最新の治療、具体的な看護方法などを組み込みながら、がんとともに生きるひとの全人的な理解を目指してわかりやすい解説を意識した。患者理解の促進および関心を高める働きかけとして、関連するトピックニュース・新聞記事・医療ドラマなどの話題の紹介や、学生自身が学習前に抱えているイメージについてアンケートを行って、講義中に共有しながら患者の心配事に気づききっかけとしたり、単元の理解確認のために小テストを行った。また、講義終了時に学びや質問、感想を自由に記述してもらい、次回の講義時に応答するようにして前回講義内容の理解の促進および関心を維持できるように努めた。</p> <p>緩和ケア、終末期看護については「死」は誰にでも訪れる身近なものであることを解説し、人生観や死生観が深まるように努めた。小児の緩和ケアについても専門性をふまえて具体的に解説し、実際の事例紹介やドキュメンタリー動画の視聴などを通してより具体的に理解でき</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	やや達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は77.8点、最高93点、73名（受験不適格者1名、再試験放棄者3名を除く計88名中、83.0%）が標準的レベルに到達している。そのうち理想的レベル（80点以上）に達した者は50名（88名中、56.8%）であった。再試験対象者は10名（うち6名は本試験欠席）、再試験は7名が受験し、最終的には2名が60%に到達しなかった。</p> <p>DP別の達成度は、【DP1】79.2%、【DP2】69.8%、【DP3】93.3%であり、【DP2】の到達度がやや低めである。本年度は試験日程を誤り再試験対象となった者が多く、その影響により、試験で評価したDP1、DP2の平均値が多少低くなっている可能性もある。</p> <p>到達度自己評価では、ほとんどの項目において学生は肯定的な評価であり、平均値は4.23であった。</p> <p>なかでも「事象（自然、人、社会、歴史など）を理解する視点や考え方を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」は4.4点、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「さまざまな課題を検討する力を得ることができた」「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」「職業選択の参考になった」の項目では4.3点であり、本科目のねらいとしている思考・判断のために必要な“考える力”や、専門職としての姿勢について修得し、意欲的に学ぶ姿が読み取れる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容妥当性 本科目は、専門教育科目のなかの看護の発展、地域包括ケアに位置づけられる科目であり、看護を学ぶための基礎や看護実践の基本、応用をふまえ、がん患者や終末期にある患者の特徴、看護を学ぶための科目となっている。必修科目であるためか、「関心を持って選択した」という回答は14名と少なかったが、一定の成績を修めていることから内容的には妥当であると考えます。</p> <p>②DP、行動目標から見ての内容妥当性 評価点、DP別達成度、学生の到達度自己評価、および本科目の行動目標も達成していることから、内容は妥当であると考えます。</p> <p>③まとめ 以上のことから内容的妥当性は問題ないと考えます。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>14回講義のうち、予習を1度も行っていない学生が42%、復習を1度も行っていない学生が37%（昨年度はともに30%程度）おり、その理由としては「他の科目の課題が多く時間的余裕がなかった」という意見が目立った。</p> <p>しかし、その一方で、授業の課題以外に学習に取り組んだ学生は43.2%（昨年度24.2%）であった。学習内容としては、気になったことや興味のあることを図書やインターネットで調べたり、関連する本・映画・YouTubeを観たり、まとめノートを作成したりなど、課題以外の学習に自主的に取り組んだ学生も増加している。このことから、講義での働きかけが関心を高めることにつながっていたとも評価できる。</p> <p>また、遠隔授業であっても積極的姿勢で取り組みやすい授業の進め方であったと考える。今後も引き続き関心を高め、自主的な学習を促進できるように働きかけを行っていく。</p> <p>授業の質評価では、平均値が4.0~4.2（平均点4.14）と概ね肯定的であった。</p> <p>情報利用、図書館利用については例年より少なく、文献利用、学術データベースの利用は12%程度にとどまった。自宅から利用できる図書館ホームページの利用は61.7%だったことから、遠隔授業であったことも多少は影響している可能性がある。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、専門教育科目のなかの看護の発展、地域包括ケアに位置づけられている。講義科目であることから遠隔授業による影響は比較的少なく実施でき、科目の目標は概ね良好に達成できた。思考・判断は本科目の重点DPでもあり、教授方法、評価方法ともに今後もさらなる検討を重ねていく。主体的学習を促す働きかけや、教授方法、評価方法については今後もさらなる検討を重ねていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	小田 日出子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
看護キャリア形成論	2	前期	必修	いいえ	104

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>2018年度看護学科カリキュラム改正を機に、総合人間科学「キャリア開発」(必修)に続く、看護のキャリア教育に関わる必修の科目として、2年前期に置かれている。従って、学生は当然「必修科目である」(99.0%)ことを受講動機に挙げる。他に「資格取得に必要」(14.3→36.7%)、「関心のある内容」(14.3→36.7%)を動機とした学生もおり、その割合は増加傾向にある。また、「単位数を確保」(8.8→27.6%)、「GPAをあげる」(4.4→12.2%)、「友達が履修している」(3.3→7.1%)を受講動機とした者も2~3倍に増えており、学生個々の意欲関心(DP3)、態度(DP4)に働きかける当該科目の特性を考えると、看護職や自身の将来への興味・関心から受講するというより、単位の取得、「必修」受講の義務など、主体的に学ぶ姿勢の乏しさを反映しているようにも思える。</p> <p>授業は、看護のキャリアプランニングに必要な知識の整理を前提に、まずは①職業としての「看護」への理解&lt;職業理解&gt;を深めること、②看護を目指す者としての自分自身への理解&lt;自己理解&gt;を深めること、③仕事に対する考え方や希望・夢&lt;キャリア指向性&gt;を明らかにし、看護職としての自身の将来について考えること、④看護専門職としての自身の将来像を具体的にイメージすること、最終的に⑤目標達成に向けて自身の課題を明確化したうえで、学生個々が自らのキャリアライフプランを作成することを目標に、リモート授業(1単位、7回)を行った。授業は、講義以外にブレイクアウトルームを利用した学生間のグループディスカッションや口頭発表の機会を積極的に取り入れながら進めていった。第4回目の授業には、本学看護学科卒業生4名(①東南アジアを中心に外国人対象の看護師教育に携わっている者、②6</p>
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された			達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>当該科目の評価は、課題レポート(50%)、発表(口頭、プレゼンテーション:10%)、レポート外の提出物(20%)および「その他」として、日ごろの遠隔授業への取り組み(積極的・主体的学習姿勢・態度、Meet Meetingへの参加度/貢献度、出席状況など:20%)により総合的に評価を行った。評価点のクラス平均は78.6±7.93点(最高100点、最低63点)で、成績分布の内訳は、標準レベル以上の学生が96/104名、92.4%、うち理想レベルに達した者は43/104名、41.4%で、その割合は昨年度を大きく上回っていた。一方、レポート評価の得点が極めて低く、昨年度はいなかった「可」レベルの学生が8/104名いた。この点は、今後の看護専門科目受講において、【知識理解】【思考判断】への影響が懸念される。</p> <p>学生による授業評価アンケートにおいては、到達度自己評価として「自分なりに目標を達成した」を「かなりそうだと思う」とした者が45.9%、「わりにそうだと思う」が38.8%で、全体の84.7%を占めていた。「まあまあそうだと思う」の14.3%を加えると、学生98名中97名が「達成できた」と自己評価していた。しかし、到達度自己評価の全項目について「全くそうでないと思う」とした学生も1名おり、そう評価した理由は気になるところである。</p> <p>総合的にみた成績評価は、秀8名(7.7%)、優35名(33.7%)、良53名(51.0%)、可8名(7.7%)で、以上の結果より、当該科目における教育目標は、【意欲・関心】「達成された」、【態度】「やや達成された」、全体を通しては「達成された」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけから見ての内容妥当性</p> <p>本授業は看護学科がカリキュラムの柱の一つとした「看護キャリア形成と看護実践」に配置された科目である。授業では、職業としての「看護」を選択し看護学科で2年目を迎えた学生を対象に、「看護」を職業とする自らの生き方を含めたキャリアデザインをどう描くかについて考える機会をもつことで、学生個々の看護キャリア形成に繋げることを目的とした。2年次の学生が主体的・積極的に学ぶための本授業での工夫としては、遠隔授業ではあったが、毎回、AL(GD, プレゼンテーション, パネルディスカッション等)の手法を積極的に取り入れ、教員はファシリテーター役割に徹することを心がけた。結果として、授業評価アンケートの到達度自己評価において、学生は「職業選択の参考になった」(4.6/5.0), 「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(4.5/5.0), 「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(4.4/5.0), 「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」(4.4/5.0), 「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(4.3/5.0), 「事象(自然, 人, 社会, 歴史など)を理解する視点や考え方を得ることができた」(4.3/4.0)と評価していた。また、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(4.3/4.0)とも評価しており、以上の結果から、授業内容は、CP, カリキュラムマップ上の位置づけに対応した妥当性のある内容であったと考えている。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>全てを遠隔授業で行ったが、授業は昨年同様「GD」を軸に展開した。調べ学習等、事前課題を課す科目ではないためか、学修のための情報を「この授業を履修する際にシラバスの記載を参考にした」学生は全体の7割弱(67.3%), 「あらかじめ授業の計画を立てた」者は約半数(46.0%)と、決して関心が高い状況とは言えなかった。学習量の評価(授業の課題以外に学習に取り組んでいない理由)については、「授業や授業中の課題に取り組むことで十分理解できた(14)」とする学生がいる一方で、例年同様「することがなかった/必要ないと思った(11→5)」「他の科目で手いっぱい/他の教科の課題に時間が必要(28→21)」「課題の他に何をしたらよいかわからなかった(7)」「看護の勉強に必要がなかったから(1)」との記述もありもあった述もみられ、驚いた。一方、学習量の評価(授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習)には、「将来のこと、自分のなりたいたいもの、興味を抱いたこと、キャリアについて、インターネットを利用したりして自主的に調べ学習(14→26)」したり、「自分の将来について、キャリアについて考えたり(3)」した学生が多くいた。また、ワークシートを使って「自己分析」に取り組んだり(1), 「友達のいいところを見つける作業をした」と記載した学生(1)もあり、当初の関心の低さは裏腹に、自主的・主体的に調べ学習に取り組んだり、自分について考えたりする学生のこうした変化からは、看護キャリア形成に向けた学生の【関心・意欲】【態度】の高揚を窺い知ることができた。</p> <p>授業の質評価では、5項目中「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>授業評価アンケートより、学生は「職業選択の参考になった」(4.6/5.0), 「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(4.5/5.0), 「自分が学ぼうとしている専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた」(4.4/5.0), 「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(4.4/4.0), 「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(4.3/5.0), 「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(4.3/4.0), 「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(4.3/4.0), 「職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)について学ぶことができた」(4.2/4.0)と評価し、全体を通して「自分なりの目標を達成した」(4.3/4.0)としていたことから、当該科目で「学生が達成すべき行動目標【関心・意欲】【態度】は「やや達成された」と考えている。授業の質評価においても「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」(4.6/5.0), 「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」(4.5/5.0), 「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」(4.5/5.0), 「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」(4.5/5.0), 「説明は理解しやすいものであった」(4.4/5.0), との評価を得ており、また、受講後の学生の自由記述にも前向きな意見が多く見られた。</p> <p>本授業の到達度自己評価を「自分なりに目標を達成した」とした学生のうち、「かなりそうだと思う」(45.9%), 「わりにそうだと思う」(38.8%)が全体の84.7%を占め、「まあまあそうだと思う」(14.3%)を合わせると、98名中97名が当該科目で達成すべき学習目標を「達成で</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	田中 満由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
ウィメンズヘルス	3	前期	選択	いいえ	40

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>各教員が、リプロダクティブヘルス/ライツに関するテーマで講義をし、学生は事前学習・事後学習を行うことで、女性の健康を様々な視点から深く捉え、リプロダクティブヘルス/ライツから見た女性の健康に関する課題について自己の考えを述べることを目標に授業を展開した。学生にとっては遠隔授業のため、図書館が使用できず、思うように文献を調べることができなかったと思うが、できる範囲内で最大限に努力できるようにした。担当の教員は遠隔で講義した。事前学習・事後学習しやすいようにシラバスに事前学習・事後学習の学習内容を載せ、講義スライドは事前にクラスルームでアップした。成績はレポート90点、発表10点として評価した。昨年までは学生さんの興味あるテーマに沿って担当教員のもとで文献を個々に調べて、知識を深めていくようにしたが、コロナ禍で図書館も使用できず、遠隔での指導での限界もあった。コロナ禍での学習効果を上げるために授業の展開方法を担当教員間で検討し、本年度の形を実践したが、学習効果は挙げたと判断する。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	平均点84.3点であった。80点以上が80.0%であった。DPの位置づけ、カリキュラムマップ、シラバスに示した配点に従い採点した。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>DP、カリキュラムポリシー、カリキュラムマップにおける位置づけから内容的に妥当である。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>遠隔の指導ではあったが、本科目の狙い通り、学生は授業と事前学習・自己学習で可能な範囲内で積極的に調べ、発表会(遠隔)でも自分の学習を基に積極的に質問したり、意見を述べていた。目標は達成できたと評価する。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>昨年度までの方法は対面では大変効果的であるが、コロナ禍での遠隔講義では、教員はその期間、大変負担であり、学習効果も限界があった。本年度の方法で学習効果があったので、次年度コロナが落ち着き対面で実施できるか、遠隔で実施になるかまだわからないが、対面でも遠隔でも本年度の方法で授業を展開する予定である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	財津 倫子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
クリティカルケア看護学	4	前期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①特に人工呼吸器装着する患者の看護について、知識だけではなく、実体験を通して人工呼吸器を装着する患者の苦痛や看護の根拠について学ぶ機会となった。</p> <p>②救急・クリティカルな状態・状況における患者及び家族に対する倫理的課題や調整について、事例を提示し、グループワークを通して患者・家族・看護師の葛藤について考え、看護師としての行動について考える機会とした。</p> <p>③学生の受講動機では、17名の回答があり、「必修科目である」が2名(11.8%)、「資格取得に必要である」が1名(5.9%)、「関心のある内容である」12名(70.6%)、「単位数を確保する」が5名(29.4%)、「友人が履修している」が3名(17.6%)、「教員に勧められた」6名(35.3%)、が動機になっていた。今年は、関心のある内容であるとする受講者の割合が高かった。</p> <p>④外部講師の集中ケア認定看護師による演習を組み込んでおり、「この講義で実技を行うことができ、とても勉強になった。」「とても貴重な体験であった。」とする意見があった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の履修者は14名であった。最終的な成績の平均値は、83.1点(SD3.7)点であり、A判定(90+)2名、B判定(80-89)16名、C判定(70-79)1名であった。概ね理想的レベル(80点以上)に到達できた。昨年同様に、今回も、全員が標準的なレベルに到達することができた。</p> <p>DP別では、「知識理解」は、78%、「思考判断について」は76%、「関心意欲について」は86%、「態度について」は100%、「態度・根拠」は90%、「学び続ける姿勢」は81%であった。全体的に講義に対して、意欲関心はあり、真面目に取り組む姿勢がみられ、概ね目標はほぼ達成された。</p> <p>学生による授業評価においては、「到達度自己評価」をみると、平均値は4.1-4.4に推移しており、全ての項目において、全ての学生が「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と回答していた。</p> <p>講義時間内に、集中して講義課題に取り組める授業構成としており、学生は講義時間内に集中して学ぶことができていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「看護の発展」の「看護キャリア形成と看護実践」に位置付けられ、内容的は妥当であると考ええる。</p> <p>②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価では「知識理解」78%、「思考判断について」76%、「関心意欲について」86%、「態度について」100%、「態度・根拠」90%、「学び続ける姿勢」81%であった。クリティカルな状態にある患者および家族の倫理的な問題は、救急・クリティカルケア看護において重要な課題である。平均点の83.1点からも考えても、内容的には妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価では、殆どの学生が「まあまあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそう思う」に回答しており、平均値も4.1～4.4であった。個人ワークおよび発表の場を設けたことで、個人の学びを共有する機会と学生の質問に対応する機会となった。 演習日以外の講義日は遠隔授業であり、図書館の利用がかなわなかったため、図書館の利用は17%であった。また、CiNiiや学術データベースを検索し、利用した学生は半数のみであった。しかし、インターネットのホームページを検索利用したとする学生は、89%であり、最新の情報から学び、その情報をまとめようとする姿勢が感じられた。今後も、文献検索方法および文献検索の必要性を説明し、適切な文献を選ぶ力を修得させ、課題への内容の広がりや理解の深まりを支援していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は「看護の発展」の「看護キャリア形成と看護実践」に位置付けられる、4年次の選択科目である。 行動目標については、概ね達成できたと考える。 学生からの意見として、「外部講師の先生方へ質問する時間を作ってもらえると良かった」とする意見があった。今後、外部講師の先生方へ質問できる時間を取れるように配慮するとともに、興味関心が持てるような授業展開を続けていく。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	隅田 由加里

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
看護マネジメント論	4	前期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>現在、あらゆる企業や組織が存続していくためには、効果的効率的なマネジメントが不可欠であり、看護学生も就職と同時にマネジメント能力が求められる。そのため組織マネジメントの基礎的知識の理解が必要であり、2年次の総論ではこの視点を軸に授業は構成している。4年生の看護マネジメント論は集中講義であり、基本的には看護管理を学びたい、学ぶ必要がある学生が履修登録を行っており、大多数の学生は総合実習で看護管理実習を行う学生である。このため看護管理のゼミを選択した学生には集中講義を受けることを推奨しているため、受講動機は「単位数の確保(40%)」「教員に勧められた(70%)」になっていると思われる。集中講義を行うにあたっては全学生が集中講義に参加できるように事前にクラスルームを介して学生とスケジュール調整を行い、看護管理のゼミが本格的に開始される前に知識修得できるよう開催時期にも配慮した。授業内容に関しては、2年次の授業の復習から開始し、その後日本が抱える医療や社会保障の問題、病院組織とは何かやその役割、そして病院の中での看護の役割と求められる成果へと講義内容を進めて理解しやすい流れとしている。また学生が実習を行う2施設の実習部門である「医療安全管理部」「感染制御部」「入退院支援室」を題材にして、看護マネジメントをより具体的に考えることができるよう、実習に役立つ構成にした。</p> <p>授業は、感染対策を行い、対面で実施することができたため、質疑応答の時間も確保することができた。</p>
--	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の達成度評価は、筆記試験(50%)、小論文(30%)、レポート外の提出(10%)、授業貢献度(10%)で総合的に評価した。達成度自己評価の(1)～(10)の全項目の殆どが、「③まあまあそう思う」「④わりにそう思う」であり、集中講義の中に該当する項目の中央値は「4.0」と高く、学生はある程度は達成度を自覚している。しかし総合成績に関しては、筆記試験は50点中平均点は37.4点、レポートは30点中17.3点で、最終総合成績の平均値は78.7±5.66(最高93点、最低60点)、再履修は認めなかったものの成績の内訳は、秀3名(23.1%)、優4名(30.8%)、良3名(23.1%)、可3名(23.1%)と、全体的に昨年度よりやや成績は下がった結果となった。この内訳の詳細を確認すると、秀・優の学生は看護管理ゼミの学生、成績が可の学生は単位取得のみを目的とし看護管理ゼミには所属していない学生であり、学習成果は二極化している傾向がある。しかし、レポート提出等の遵守や授業への参加に関しては全員まじめに取り組んでおり、意欲関心や態度に関しては問題はなかったと思われる。このような状況から上記のような評価に至った。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、各論実習では患者・看護師間の看護を学んだ後に、広い視野で組織という視点で看護を見直すという点においては、4年生前期というのは妥当な位置付けであると考えている。学習内容においても、国家試験の出題基準に則り、また学生が看護師1年目として業務を遂行するうえで、必要となるマネジメント過程や社会資源、組織化の重要性等の基礎的知識を網羅しながら、CPに準じて保健・医療・福祉の総合的視野に立ち、関連職種との連携・協働能力を育成する授業構成としているので内容的妥当性もあると考えている。学生の自己評価も、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」は平均値3.5前後、中央値4.0と、思考を育むことにはある程度はできたと思われるため妥当だと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価は、(1)～(5)項目の全てにおいて、平均値は3.7～3.9、中央値も全て4.0であり、授業の質の確保はできたと考える。前述したように、この授業の履修者の殆どは看護管理ゼミの学生であるため、この学生らはこの授業の基礎的知識をもとに、各ゼミで総合実習に向けての学びを行っており、授業知識の利活用はできていたと思われる。今後は看護管理ゼミではない学生も学習の必要性を実感できるような構成への改善も必要であると考えている。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>選択科目であり、また総合実習が看護管理部門かどうか、授業に取り組む姿勢に大きく関与することを如実に実感した年代であった。看護の統合として最終段階の集大成科目となるが、コロナ禍で主たる実習が学内になってしまった学生に、病院組織を理解させるのは難しさを実感した。4年生でもあり可能な限り学生が思考しながら参加できる形式を模索したため、授業の質評価の「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均値が3.9、平均値4.0であったことは素直に喜ばしく思う。最終成績は前年度よりも低い結果となったが、昨年度はCOVID-19の影響もあり安易に比較はできないといえる。学生からは否定的意見はなく、自己評価、質評価とも平均値は3.5以上の評価項目が殆どであったため、授業は相対的に学生にとって、みのりあるものであったと考える。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	鹿毛 美香

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
疫学	2	前期	選択	いいえ	64

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、看護学科専門教科科目のうち「看護を学ぶための基礎」として置かれている「保健統計学」既習後に受講する。また、「公衆衛生看護学関係科目」でもあり、看護専門科目としては選択科目であるが、保健師課程では必修科目である。そのため、保健師として必要な疫学の基礎知識の習得とその理解が求められる。今年度は、遠隔授業14コマで構成され、1年次の「保健統計学」と連動させ展開している。</p> <p>学生の受講動機は、「単位数確保」が73.0%、ついで「資格取得に必要」が51.4%、「関心ある内容」が51.4%であり、保健師課程希望者以外の学生にとっては「単位数確保」が受講動機の多くを占めていることが示された。そのため、保健師の活動事例だけでなく、看護師でも活用する具体的な例示を演習課題とする等を試みた。</p> <p>この科目は、演習科目として学生が思考を深めることにも重点を置いているため、演習課題を基本個人ワークとして取り組むようにしたが、個人ワークでは困難な課題と予測されるものについては、小グループワークを取り入れ、学生の思考を促した。また、毎回授業後に「学びの内容と質問」自由記載させ、個々の学修状況を確認した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は、83.71(±7.86)点であり、再試対象者は試験当日の欠席者1名であった。GPAの理想的レベル（成績「優」・「秀」レベルとする）に到達した学生は78.1%、成績「良」レベルが10.9%で、概ね優秀な成績を収めている。</p> <p>DPの目標別達成率として、DP1「知識・理解」81.3%、DP2「思考・判断」75.6%であった。思考判断では、与えられた課題を解決する際に学習の中で得た知識を活用し、応用していくことが必要であるが、その点の習得が十分ではなかったことが示された。加えて、「学生の到達度自己評価」においてコミュニケーション力を高め、話し合いや自分の意見をまとめる時間が授業時間に少ないと回答している学生が数名いることから、グループワークの内容や頻度について次年度の課題と捉え、検討していきたい。</p> <p>しかし、学生の成績およびDPの目標別達成率からみると、学生は、概ねこの科目の目標に達成していると考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、「単位数確保」または公衆衛生看護関係科目として「資格取得」に必要であると認識し、学生は受講している。授業内容としては、「保健統計学」を既習しているため教科書および内容を連動させ進行している。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であるとする。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価からみると平均値は80点を超え、DP1「知識・理解」の到達率は80%、DP2「思考・判断」の到達率は75%を達しているため、内容的には妥当であるとする。</p> <p>③まとめ 以上、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の「到達度自己評価」の平均値は3.5~4.3、中央値はすべての項目で4.0であった。「学生の到達度自己評価」の平均点でもっとも高い項目は「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」で4.3、もっとも低い項目は「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の3.5であった。</p> <p>学生による「授業の質評価」の平均値は4.0~4.6、中央値はほぼ5.0と高い値であった。しかし、その中で平均値、中央値ともに低い項目は「説明は理解しやすいものであった」4.0「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」4.1であった。</p> <p>学生の「到達度自己評価」、学生による「授業の質評価」の平均値が低い項目をみると、①「コミュニケーション力や表現力を高める」、 「話し合う、発表する」というグループワークなどの活動の不足、②「説明の理解しにくさ」という事前学習の等の学生の準備状況と教員側の対応のズレがあると考えられる。①については、今年度は遠隔授業のため十分な活動ができなかったことが影響していることが考えられるため、次年度は個人ワークとグループワークなどの活動を適宜組み入れることを検討したい。②については、授業時間に限界もあるため今年度と同様に事前課題や授業後の質問などに対して学生個人へのフィードバックを行っていきたいと考える。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、看護専門科目の選択科目でありながら、保健師課程の必修科目でもある。基本的な知識の獲得については達成できたが、思考判断の面では課題を残した。この点は、自身を含めた公衆衛生看護学関係科目担当教員と共有し、指導を継続する予定である。</p> <p>授業を振り返ると、全体的成績としては、概ね目標に達成する成績を修めているが、思考判断力の獲得についてグループワークなどの活動時間をできる限り確保し、改善を図りたい。また、学生へのオリエンテーションにて事前課題の取り組み方など学生自身が準備状況を整えられるようシラバス説明をより丁寧に行いたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	布花原 明子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
公衆衛生看護方法論Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	81

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>公衆衛生看護関係科目群において公衆衛生看護の方法と技術を教授する科目である。方法論、技術論の授業では、学生からは保健師の看護ケアの提供場面はイメージしにくく、特に、集団や組織を対象とした公衆衛生看護技術については難しいと聞くことがある。そのため、基本的な知識及び理論を教授した後、保健師活動での支援方法と技術の実際を学ぶ機会を取り入れて、できるだけ実践現場に近い題材を取り入れて授業を行い、学生が関心を高めて学習に取り組めることを大切にしている。受講動機をみると、「単位数を確保する」63.1%が最も多く、昨年度38.5%よりも多かった。「資格取得に必要である」は47.7% (48.8%)、「関心のある科目である」46.2% (昨年度44.2%) は、昨年度とほぼ同様であった。</p> <p>昨年度に、自己学習課題について、「課題の提示から提出日までの期限に猶予をもたせてほしい」という意見があり、授業計画時に学生への課題提示の時期や学習期間を増やすなど改善した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>客観評価『成績』の平均値は77.9点（前年度75.3点）であった。分布：90点以上12名（14.8%）、80～89点24名（29.6%）、70～79点30名（37.0%）、60～69点11名（13.6%）、59点以下3名（5%）。</p> <p>再試験の結果、履修者全員が目標を達成した。観点別評価の達成度（客観的）の到達度は、DP1：77.9%、DP2：65.5%、DP3：82.3%、DP4：86.2%であった。</p> <p>学生の『学習到達度の自己評価』の平均点は、「自分なりの目標を達成した」3.9、「知識を確認、修正したり、新たに獲得することができた」4.2、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」4.1、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」4.1、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」4.0、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた」4.0、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」3.8、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」3.6、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」3.9、「職業選択の参考になった」4.1であった。</p> <p>『学修のための情報利用』は、「この授業の履修する際にシラバスの記載を参考にした」67.7%、「あらかじめ授業の計画を立てた」38.5%であった。また、シラバスを活用してあるいは教員のオリエンテーションを受けて授業を受ける計画を立案したのは4割程度であっ</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、公衆衛生看護関係科目群に位置づけられており、看護師課程科目では基礎看護学及び各看護学領域の概論が開講されている。受講動機では、「単位取得のため」が最も多く、「(保健師)資格取得に必要なである」、「関心のある内容である」の項目は昨年度とほぼ同様だった。客観評価では前年度とほぼ到達度は同程度であり、全項目ともにほぼ達成されていた。『学習到達度の自己評価』から、新たな知識や技術を獲得したと概ね回答していた。以上より、DP、CP、カリキュラムマップにおいて本科目の位置づけは内容的妥当性に問題なしと評価した。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業は対面形式によって進めた(一時期遠隔あり)。</p> <p>『授業の質の評価』では、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」4.1、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」4.2、「説明は理解しやすいものであった」4.1、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」3.9、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受けつけ、それに答える機会が作られていた」4.0であった。前年度までの対面授業では、授業中に健康教育の課題テーマを提示し、学生が計画案の一部を作成していた。しかし、今年度は受講生も多く、教室内で隣との席を空けた状態で、大人数が一斉に話し合うことは難しいと考え、学生間のワークは避けた。ジャーナルの事例、外部講師やDVDの映像などの教材を取り入れるようにしたが、講義を中心とした授業とし、事例の検討では学生を個人指名して発言を求める方法で行った。今回、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の低評価につながった可能性があり、改善が必要だと考えられる。授業への自由記載の内容は、「保健師の内容を濃く学べて良かった。」「この講義のおかげで、保健師の魅力を知ることができました。」「講義楽しかったです。」であった。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>今年度は、本科目の開講以来、最も履修学生数が多かったが、最終的に履修者全員が目標を達成した。受講動機の割合から「単位取得のため」の学生が増えたことが伺えた。公衆衛生看護学、保健師課程の選択履修への意欲を高める授業が求められる。学生の到達度自己評価では、『コミュニケーション力や表現力を高めることができた。』が低く、また授業の質評価では『授業中に、自分の意見をまとめ話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が与えられていた。』が低い傾向であった。対面での学生間の意見交換を控えたことが影響していると推測される。このため、課題は、感染対策に配慮したうえで、学生が自分の意見をまとめ話し合い、発表する機会を時間を短時間に区切って取り入れることによって、コミュニケーション力や表現力の到達度評価を高めていくことである。</p> <p>授業以外の課題学習については、図書館の図書、雑誌、学術データベース、インターネットなどの活用が増えていたことや、授業の質評価について「課題の評価基準が明確である」「期間内に行う範囲や課題の提示は明らかである」では得点が高かったことから、自己学習課題の方法を丁寧に提示することによって、学生は自己学習を進めることができたと考えられるため継続する。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	一期崎 直美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
対象別公衆衛生看護活動論Ⅰ	2	前期	選択	いいえ	57

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は看護学科「看護実践の基盤」として1年次の「公衆衛生看護学概論」既習後に受講する。「公衆衛生看護学関係科目」で、学校保健と産業保健を学ぶ科目である。この科目は、看護専門科目としては選択科目であるが、保健師国家試験受験資格取得を目指す学生にとっては必修科目である。そのため、保健師国家試験受験資格取得希望者にとって必要な学校保健と産業保健の基礎知識の習得とその理解が求められる。この科目は今年度7コマで構成され、2人の教員がこの講義を担当した。各担当授業について、事前に担当教員で評価を含め授業の進行を確認し実施した。対面の講義を設定していたが、途中、遠隔授業に2回変更となった。昨年度、この科目の課題として、学生が思考を深めることを挙げている。そのため今年度は、個人ワークを取り組む際に、担当者から思考を深める方法の一つとして評価の観点などを具体的に説明するよう心がけた。</p> <p>学生の受講動機は、「資格取得に必要」が55.6%、ついで「関心ある内容」が58.5%、「単位数確保」が52.8%であった。これからみると学生の受講動機は、「資格取得」や「単位数確保」に必要ということで受講しているだけでなく、5割の学生は「関心ある内容」で受講する傾向がみられた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差, S, A, B, C, Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な学生の成績は、平均値79.5(±8.0)、再試対象者無しという結果であった。GPAの理想的レベル（成績「優」・「秀」レベルとする）に到達した学生は56.1%、成績「良」レベルが28.1%で、概ね優秀な成績を収めている。</p> <p>DPの目標別達成率として、DP1「知識・理解」77.5%、DP2「思考・判断」77.0%、DP3「意欲・関心」97.0%、DP4「態度」98.9%であった。昨年度より、DP2「思考・判断」は、74.9%から77.0%と若干向上している。</p> <p>学生の成績およびDPの目標別達成率からみると、学生は、概ねこの科目の目標に達成していると考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、衛生看護関係科目として、多くの学生は、「資格取得」や「単位数確保」に必要であると認識し受講している。授業内容としては、「公衆衛生看護学概論」を既習後ということで授業内容を確認しながら進行している。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 成績評価からみるとDP1「知識・理解」、DP2「思考・判断」の平均点が8割に達していないが、DP2「思考・判断」は若干改善がなされているため、内容的には妥当であると考え。</p> <p>③まとめ 以上、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の「到達度自己評価」の平均値は3.5~4.4であった。「学生の到達度自己評価」の平均点でもっとも高い項目は「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」で4.4、もっとも低い項目は「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の3.5であった。</p> <p>学生による「授業の質評価」の平均値が3.8~4.5であった。学生による「授業の質評価」の平均点でもっとも高い項目は「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」で4.5、低い項目は「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」3.8であった。</p> <p>学生の「到達度自己評価」、学生による「授業の質評価」の平均点の低い項目は、「コミュニケーション力や表現力を高める」、「話し合う、発表する」というグループワークなどの活動の不足と考える。感染予防の観点から対面での話し合い活動が、設定できない状況にあったことが影響していることが考えられる。</p> <p>シラバスは、学生の72%が参考にしていて、学生全員が「配布資料」に記録していたと回答し、資料を活用していた。1回も30分程度の事前学習を実施していないと答えた学生が36%、1回も30分程度の事後の復習に取り組んでいないという学生が28%いた。その考えられる理由として、学生の自由記述に多く見られた「他教科の課題があったため」ということがあげられるかもしれない。自由記述と実態から、学生は事前課題を提出しているが、学生によっては、時間をかけた取り組みができていない状況が考えられた。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>看護専門科目の選択科目であるが、保健師国家試験受験資格取得希望者にとっては必修科目でもある。学生は、この科目を「資格取得」や「単位取得」という理由だけでなく「関心ある教科」として受講している者が多かった。授業を振り返ると、全体的成績としては、概ね目標に達成する成績を修めている。昨年度の「思考を深める」といった科目の課題は、改善の傾向がみられる。しかし、グループワークなどの活動は、感染予防の観点から対面講義では困難であった。次年度、交流を含めた活動について、感染症の流行の状況に配慮し検討したい。また、学生へのオリエンテーションで、学生自身で事前事後の学習を計画的に取り組むよう、シラバス説明をより丁寧にしたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	伊藤 直子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保健医療福祉行政と政策	3	前期	選択	いいえ	23

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は、3年生前期に配置された選択科目である。保健師課程の学生には必修科目となっている。受講動機には「資格取得に必要である」が81.8%、「関心のある内容である」が31.8%となっている。受講生には保健師課程選択のための資格取得と主目的となっているが、科目内容に関心を持っている学生もいることが考えられる。</p> <p>②科目内容は、既習した保健医療福祉の知識を基盤に、行政の施策及び政策の策定まで学習する内容となっているため、現存する日本における制度を具体的事例を通して、思考する構成としているため、課題及び個々の学生とのやり取りにより主体的学習を促した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は、85.3点、再試対象者は0名であった。全員が理想的レベルに達した。</p> <p>目標別にみると、知識理解は84.6%、思考判断は82.6%、関心意欲は99.6%であった。</p> <p>到達度自己評価では、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が4.6、「自分が学ぼうとしている専門分野の課題を検討する力を得ることができた」が4.6、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」が4.4、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」が4.5、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」が4.5であった。</p> <p>自由記述欄には、教員との課題のやり取りについての一定の成果がうかがえるコメントが見られる。</p>					
*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、「専門教育科目」の「公衆衛生看護関係科目」の選択科目である。3年生前期となっているため、保健師課程を選択している学生と、単位取得のためという動機の学生がいる。そのため、いずれの学生も科目の内容を学習する中で、学習意欲をいかに引き出すか授業方法の検討を行った。結果、最終的な成績評価からは、100.0%が理想的レベルに達していることから内容的には妥当であると考え。</p> <p>②DP,行動目標からみでの内容的妥当性 知識理解、思考判断及び意欲関心に位置付けられた科目である。、知識理解は84.6%、思考判断は82.6%、関心意欲は99.6%の学生が達成していることから概ね内容的には妥当であると考え。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、『わりにそう思う』と『かなりそうだと思う』を合わせると、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」100%、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」100%、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」100%、「説明は理解しやすいものであった」95.5%、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」95.5%であった。</p> <p>この結果から、意図した主体的学習を促すための教育方法については、一定の成果を上げたと評価できる。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目の達成状況については、授業成績及び授業評価アンケートより計画している状況は、概ね達成できていると評価できる。 授業の工夫により、学生との双方向コミュニケーションは、一定の成果を上げたと考え。今後もこれらの状況を踏まえ、更なる授業方法の工夫を検討していきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	布花原 明子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
公衆衛生看護活動演習	4	前期	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「公衆衛生看護学実習」の実習施設地域を対象に、地域診断の技術を習得する演習科目である。政府統計e-statを主なデータベースとして、実習地域の人口統計・健康指標データ等を収集し、各実習施設の情報収集・アセスメントを行えるよう準備した。</p> <p>授業の実施にあたり大切にしていることは、学生が保健師として実習地域への関心を高め、本科目後に開始される公衆衛生看護学実習に積極的に向かう態度を醸成することである。そのため、学生なりに話し合い考えた意見を肯定し、さらに視点をひろげられるよう学生間の意見交換や教員からの助言を行うように務めた。</p> <p>自由記載では、「グループメンバーや先生方が時間外でも対応していただいていたので最後まで楽しく行うことができた」「自分たちで説明してみる、教員、学生と意見交換するという時間がとても学びのある時間でした。」との回答が見られた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機をみると、「資格取得に必要である」88.2%、次いで「必修科目である」58.8%で、前年度とほぼ同様であった。「関心のある内容である」5.9%と低かった。</p> <p>最終的な成績の平均値は82点であり、再試対象は0名であった。</p> <p>「学習到達度の評価」では、『自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた』4.7、『知識を確認、修正したり、新たに得ることができた』4.6、『事象を理解する視点や考え方を得ることができた』4.5、『職業倫理や行動規範について学ぶことができた』4.5、『自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと思った』4.4、『職業選択の参考になった』4.4、『自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身に付けることができた』4.3、『コミュニケーション力や表現力を身に付けることができた』4.3、『自分が学ぼうとしている専門分野についての確に判断する力を得ることができた』4.1。</p> <p>「学習量の評価」は、17名中15名とほとんどの学生が毎回30分以上の準備を行っていた。</p> <p>「図書館、インターネット利用」は、全員がインターネット、学術雑誌、図書雑誌のいずれかの利用を行っていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性 本科目は「公衆衛生看護領域」に含まれる保健師課程必修科目である。3年生前期の「地区活動論」で修得した知識に基づき、実習地域を対象として、地域診断を行う演習科目である。開講時期は実習施設が確定した4年生前期であり、履修者は保健師課程学生のみを受講である。「学習到達度の評価」では、『自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた』4.7、『知識を確認、修正したり、新たに得ることができた』4.6の結果から、知識を実習地域の分析に生かし、新たな知識を得ながら思考する力がついたと認識することができていた。</p> <p>自由記載の意見は『学生間で意見を出し合うことや、教員に自分たちが考察したことを的確に伝えるなど、自分の頭で考えて意見をまとめ、簡潔に相手に伝えることが看護師・保健師として必要不可欠であると改めて感じた。』『自分たちで説明してみる、教員、他の学生と意見交換をするという時間がとても学びのある時間でした。』であった。</p> <p>②DP, 行動目標からみての内容的妥当性 成績評価では思考判断に関する達成度は前年度とほぼ変わらなかった。</p> <p>以上より、DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけからみた内容的な妥当性に問題はない。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業は対面形式によって進めた（一時期遠隔もあり）。</p> <p>「授業の質の評価」では、『授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた』4.8、『口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受けつけ、それに答える機会が作られていた』4.8、『期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった』4.4、『テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった』4.0、『説明は理解しやすいものであった』4.1であった。</p> <p>毎年度、自己学習、グループ学習課題に関する学習量はかなりの時間を要しているため、毎回、次の授業までの課題を学生と話し合い、学生が主体的に決定し計画的に進めるように心掛けた。その分、授業時間内では目標到達が難しい学生もおり、ベツ補講時間を設けるなど対処した。</p> <p>その結果、自由記載『グループメンバーや教員が時間外でも対応していただいたので最後まで楽しく行うことができた。』のような意見がみられたと思われる。</p> <p>『限られた時間内でしか取り組めないことは理解しているが、個人的にはもう少し健康教育の時間を設けてほしかった』との意見があり、来年度の授業計画を検討する。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>客観評価における学習到達度は、ほぼ全員が到達した。理想レベルの到達状況は前年度と同様であった。</p> <p>学生の到達度自己評価及び授業の質評価の平均はいずれも前年度とほぼ変わらなかった。対面授業で進めたため、教員と学生間で多少のやりとりはしたものの、学生間の話し合いやコミュニケーションを控えた結果、授業評価にも影響したと推測される。</p> <p>授業以外の課題学習については、図書館の図書、雑誌、学術データベース、インターネットなどの活用が増えていたことや、授業の質評価について「課題の評価基準が明確である」「期間内に行う範囲や課題の提示は明らかである」では得点が高かったことから、自己学習課題の方法を丁寧に提示することによって、学生は自己学習を進めることができたことと評価できる。</p> <p>今後は、対面授業のなかで、学生が自分の意見をまとめ話し合い、発表する機会を時間を短時間に区切って取り入れることによって、コミュニケーション力や表現力の到達度評価を高めていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	一期崎 直美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
健康相談	3	前期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この科目は、看護専門科目としては選択科目であるが、養護教諭一種免許状資格取得希望学生にとっては必修科目である。学生の受講動機は「資格取得に必要である」が100%、「必修科目である」が28.6%で、「関心のある内容である」が28.6%であった。学生のこの科目に対する認識は、資格取得に必要な科目という傾向がみられる。「学修準備性」として、「学生がシラバスを参考にした」は57%、「授業計画を立てた」は43%であった。</p> <p>3年前期科目であり、看護および教職の授業の基礎的な学習については習得している。授業は、既習知識についての理解を確認しながら授業内容を考慮し進めている。講義での学びが、学生に定着していくよう事後の課題を作成した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	どちらともいえない	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は77.7(±8.65)であり、再試対象者はいなかった。GPA「秀」「優」に達したものが57%いた。</p> <p>DP目標別達成度でみるとDP1「知識・理解」に関しては67.6%、DP2「思考・判断」に関しては80.3%、DP4「態度」83.7%であった。</p> <p>学生の「学習到達度の自己評価」に関する項目の平均値は4.3～4.7点であった。</p> <p>学生の「授業の質評価」は、平均値4.3～4.6であった。</p> <p>配布資料を全員の学生が記録に活用していた。学生の「学習量の評価」としては、1回30分以上の事前学習を6回以上取り組む学生が57%いた。多くの学生は、課題などを含め授業外での学習に取り組んでいた。</p> <p>「図書館の利用」について学生は、図書館の利用71%やインターネットの利用が71%と多かった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CP, カリキュラムマップからの位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は、看護課程「専門教育科目」であり、教職課程の養護教諭一種免許状取得のためには必須科目である。2年次までの科目内容を考慮し構成されているため、概ね妥当であると考え。</p> <p>② DP, 行動目標からのみでの内容的妥当性 DP1の「知識・理解」は、到達度を80%とすれば、やや到達していない状況がみられる。しかし、学生の「学習到達度の自己評価」に関する項目の平均値は4.3~4.7点で、学生の「授業の質評価」は、平均値4.3~4.6であった。これらの結果から、内容的には概ね妥当であったと考える。</p> <p>③ まとめ 以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方針を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方については、「授業の質の評価」からみるとくに大きな課題はないと考える。しかし、学生の「学習量の評価」「学修のための情報利用」からみると、1回30分以上の事前学習を6回以上取り組む学生が57%いる一方で、あまり取り組めていない学生もいるというような学習状況に個人差がみられた。この点については、課題提示の方法などを今後、検討したい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、看護専門科目の選択科目および養護教諭一種免許状資格取得希望学には必修科目である。今年度は、対面での授業が遠隔授業に3分の1ほど変更となった。しかし、学生の「到達度自己評価」、「授業の質の評価」からみると大きな課題はみられなかったため、概ね目標に達成していると考え。しかし、学生のDP1「知識・理解」の平均点が8割に達成できていない状況について、次年度、基礎的な知識・理解についての振り返りを検討したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	新谷 恭明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教職概論	2	前期	選択	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①オンライン講義となったために、説明用のパワーポイントを作成した。パワーポイントは講義に集中させることを目的としたので、高橋メソッドという技法を用いた。</p> <p>②試験はオンラインで記述式を含む方式を採用した。オンラインの試験はなんとかできると感じた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①到達度自己評価はおおむね良好であり、まずまずの成果はあった。</p> <p>②しかし、試験の平均は59.4であり、課題はあるようだ。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

教職課程の科目なので、問題はない。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」  
「図書館、インターネット利用」学生の意見など

オンラインに馴れてきたこともあって、まずまずであったと思う。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

だいたい満足できた。課題については、来年度はないので、特に記述することはない。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	中島 俊介

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育心理学	2	前期	選択	はい	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>平和で幸せな地域の実現と、より良い社会の建設は教育の成否にかかっている。教職を目指す学生には良い社会の形成に関わるという責任と自覚を持って授業に臨むよう学生に求めてきた。シラバスに記載したように教育に貢献できる心理学的知見を紹介しながら「理想を失わない現実主義者」としての教師になる内容を出るだけ厳選して授業に臨んだ。評価アンケートの結果をみるとおおむね達成できたと思われる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
		達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成の評価の根拠は定期試験の内容である。しっかりと授業者の求める論点に従って書かれている学生が多く、授業者の意図をよくくんで内容を理解していることがわかる。（客観的データとして学生の成績平均を参照して頂ければ分かる）授業アンケートの集計結果も満足のいくものであった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

「映像は100の言葉に勝る」と思われる。スマホ時代の真ん中にいる学生たちには言葉による講義だけでは集中力が続かないことは経験上理解している。その為に毎回の授業では映像を見て考える時間を取っている。アンケート結果をみるとこれは概ね好評である。ただ学生らの意見の中には出来るだけ授業者の話をききたいという要望もあるので今後この点を改善して新たな方法を試してみたいと考えている。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」

「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

昨年度の取り組みでもあったが学生が達成すべき目標を4点シラバスに記載しているが、授業のはじめに説明しておいたこともあり、学生の自己評価および授業者の目から見ても満足のものであった。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

昨年同様に概ね年度当初の授業目標は達成したものと考えている。しかし多様性と個別化を体現している現代の学生のニーズに対応してグループワークや発見学習など多彩な講義時間の運営方法の工夫とさらなる知恵を出していく必要性を痛感している。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	大庭 正美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3	前期	選択	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①学習指導要領における特別活動及び総合的な学習の時間の位置づけや特質、内容などについて基本的な知識理解を中心にしながら、小中学校での指導の実際についても取り扱い、実践的な態度の育成に資する授業に努めた。そのため、できるだけ実践事例の映像資料を活用していった。</p> <p>②授業の終末には授業内容を振り返り、シートに記入させるようにした。そこで出された気づきや疑問などを次の授業の導入で取り扱い、再確認できるようにするとともに、深い学びにつながるように努めた。</p> <p>③授業の内容に応じて、学生自身の学校での経験を想起させ、重ねて考えることができるように促した。そうすることで、理論と実践がつながりやすいようにし、就職後のイメージをもちながら学修できるよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業後の振り返りシートの内容及び試験の結果をもとに判定したトータルの成績において、70点以上を獲得した学生が9名中7名であり、そのうち80点台と90点台の学生が一人ずついた。また、到達度自己評価においては、全体的には学科平均値並みだったが、(9)(10)に関しては非常に高評価だった。したがって、DP4においては目標を「達成した」と判断し、他は「やや達成」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業後、学校や家庭・地域の実態や児童生徒の傾向性を考慮して指導に当たる養護教諭をめざす学生にとって、学校経営や教科横断的な健康教育と密接につながっている特別活動及び総合的な学習の時間の指導内容は非常に重要である。したがって、学生には専門分野に限らず学校全体や教職全般への関心を持ち続けることが求められる。そのような意味から、学生の自己評価での項目（9）「職業倫理や行動規範」（10）「職業選択の参考」が高い評価だったことは教職課程における内容としての妥当性は高いと判断できる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質評価」項目の（5）が学科平均より高かったのは、毎回の授業の振り返りを着眼点ごとに分類整理し、それにコメントを加えて次の授業の冒頭で共有する時間を設定していたことによるのではないかと考える。遠隔授業だったため相互交流がしにくい環境だったわりには成果が上がったと考えられる。</p> <p>学校現場の実際場面がイメージしやすくなる映像資料を活用しながら授業を進めたことは、授業の質評価項目の（3）「説明の理解しやすさ」の評価にも繋がっていると思われるし、自由記述欄において「動画で感動し、心に残る授業」といった感想もあることから、今後もその点に関しては継続していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>将来、養護教諭をめざす学生であるため、特別活動においては健康教育との関連や保健指導との関連などを想定しながら授業を進めていった。特に、教育課程における特別活動の位置づけや役割など、特別活動の教育的な意義については繰り返し指導するように努めた。その結果、毎回の授業後の振り返りシートの記述などから、教職に対する意欲が向上していったことが読み取れた。</p> <p>今年度は遠隔による14コマの授業であり、併せて新たに総合的な学習の時間の内容が加わったため、内容の精選・焦点化に努めたつもりだが、さらに精選・焦点化が必要であると反省した。次年度も、特別活動及び総合的な学習の時間の本質を的確に理解できるようにするとともに、教職課程の授業としてより実践的な資質能力態度が向上するように、一単位時間の授業展開に関してもさらなる工夫改善に努めていきたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
特別支援教育論	3	前期	選択	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>開講時間数が7回の1単位授業のため、特別支援教育の理解に最低限必要な内容についてパワーポイントを利用して講義した。別途資料等を紹介した。テキストについては副教材としての利用を勧奨した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	レポートの内容や授業で関心をもった内容についてのコメントから概ね達成されたと判断できる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

内容的には妥当であったと判断できる。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

4 学科合同の授業であり、レディネスペースでは学科間で多少違いがあることを念頭に入れ、授業中にすべての学生ではないがそれぞれ学科の学生に確認しながら、解説した。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

7時間の授業での制約を踏まえ、また授業中に紹介した資料等にアクセスした学生や自分なりに調べ学習を実施した学生のコメントから、すべての対象学生とは言い切れないが概ね理解が深まったと考えられる。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	新谷 恭明

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育方法論	3	前期	選択	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①後半におこなっている授業づくりと模擬授業の実施が受講生が多いためなかなか全員が実施することができない恨みがあった。今年度は前半の座学を後半の授業づくりと連動させることで精選し、後半の時間を確保した。そして、すべての班が教壇に上がれる機会を設けることにした。</p> <p>②模擬授業のための教材が一つだと飽きてくるという意見も多かったので、今年度は教材を小中にわたって多様な発達段階のものを準備した。</p> <p>③評価シートを改善し、相互批判の時間も確保するように工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	試験の平均点は67.6で納得するものではない。意欲に欠けているのではないか、心配だ。模擬授業は充実しており、いい結果を残したと思う。					
<p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など

教職課程の科目なので問題はない。

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」  
「図書館, インターネット利用」 学生の意見など

模擬授業は定着してきたと思う。みんなよく協働作業をしている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

まずまずなのだろう。来年は担当しないので、課題は書かないことにする。

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
道德教育の理論と実践	2	前期	選択	はい	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>教職課程の必修科目であるため、学生の意識の上では準備がある程度なされていると考える。ただし、小中時代の道德教育の実施状況から考えて、非常に意識しにくい科目であると予想される。そのため本授業では授業実践としての道德教育を具体的な形で意識できることをひとつの焦点とした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>○2020年度 全体平均80.7、看護学科平均82.8、秀25.0%、優50.0%、良18.8%、可6.3%、不可0.0%</p> <p>○2021年度 全体平均81.3、看護学科平均80.4、秀25.0%、優50.0%、良16.7%、可0.0%、不可8.3% 標準偏差13.14</p> <p>○昨年度から引き続き良好な結果であった。秀と優で全体の75%を占め、可がない。他学科と比べて標準偏差が倍程度あるが、これは1名のみ不可がいたためであり、これを除けば看護学科全体の散らばりも非常に小さくなる（不可1名を除外した参考数値5.14）。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」, 自由記述の意見など</p>	<p>教職課程の必修科目ということ、また従来型の理論偏重の道徳教育ではない実践的アプローチを採用しているということを鑑み、内容的な妥当性はあると考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」 「学習量の評価」 「学修のための情報利用」 「図書館, インターネット利用」 学生の意見など</p>	<p>○授業の進め方としては(1)道徳とは何かという理論編(2)日本の学校教育における道徳教育の位置づけ(3)学習指導案の構造と授業の実際(4)自分で道徳の授業を組み立てる、というものであった。 (3)と(4)に関しては同時並行という形になり、常に自分ならどのような授業にしたいかを考えて授業に参加することを求めた。 ○本年度は実際の学校現場で用いられている各種資料の参照、理解度を深めるための課題等について多様な形式を工夫した。 ○指導案作りに関しては、いくつかの段階を踏んで作成できるよう課題作成・提出を組み合わせた。 ○今年度は昨年度良好な結果であったオンラインによる課題の工夫を難易度や負担の観点から改善した。次年度が対面授業となった場合に同様の効果が得られるよう授業計画を行いたい。 ○児童生徒を意識した授業づくりの楽しさを一層感じることができる授業としたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>○達成状況は十分満足できるレベルにある。 ○次年度は全員合格かつ良以上の成績に到達できるよう、内容や方法を改善したい。今年度は動画の授業実践の視聴と検討に時間をかけたが、これは比較的理解を深めるきっかけとなったと思う。次年度も同様の試みを継続する予定である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2021年度前期

学科	看護学科
氏名	渡邊 義隆

1. 基本情報

科目名	担当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生徒指導論	3	前期	選択	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。</p> <p>開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①学生の授業評価アンケートによると、受講動機として「資格に必要」が100%となっており、教員免許や資格取得に向けた意識が高いことが推察される。</p> <p>②授業にあたっては、基本的な教育法規、特に生徒指導に関することを中心に学習させた。最も重視したことは学生が教師として教壇に立った時にすぐに必要となる対応・指導・その後の見守りを実際の事例を中心に授業を展開した。</p> <p>③今年度はリモート授業のため、グループ学習や発表等の授業ができなかったことは残念であったが、学生からの意見としては、授業に余裕があり、時間配分や記述する時間の確保ができ、学生からは好評であった。</p> <p>また、授業のまとめの提出を二日後にメールでの提出にしたため、学生とのやり取りもでき、内容が非常に良く充実したものになった。昨年度の反省であった、「次の授業に向けての準備、授業後の振り返り等を充実させたい」このことが達成できた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差, S, A, B, C, Dの度数), 独自に設けた基準による達成度, 学生の授業評価アンケートの結果など, できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  <授業評価の指標> 「学修準備性」, 「学習到達度の自己評価」, 「学習量の評価」, 「学修のための情報利用」, 「図書館, インターネット利用」, 自由記述の意見など	<p>①(目標を達成した)の項目では、同科の受講生8名中「かなり」「わりに」「まあまあ」すべてが肯定的回答であった。このことから目標に達したと言える。</p> <p>②学生の(知識)(理解)に関する達成自己評価を見ると、それぞれ肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「2名、4名、2名」「1名、6名、1名」で100%であり、否定的回答は0名であった。このことから目標に達したと言える。</p> <p>③学生の思考判断に関する(検討する力)(判断する力)それぞれ肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「3名、4名、1名」「1名、4名、3名」で100%であり否定的回答は0名であった。このことから同様に目標に達したと言える。</p> <p>④同じく意欲関心に関する(意欲)では肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「3名、4名、1名」で100%であり否定的回答は0名であった。このことからすべての学生が意欲をもって授業に参加したと言える。</p> <p>⑤さらに技能表現に関する(技術)と(コミュニケーション、表現力)の習得では、肯定的回答は、「かなり」「わりに」「まあまあ」の順で「1名、2名、5名」「0名、3名、5名」であった。すべてが否定的回答であった。このことからほとんどの学生が技能表現を習得できたと言える。</p> <p>⑥(職業倫理)や(職業選択)での肯定的回答は、それぞれ「1名、5名、2名」「4名、2名、2名」で100%であり否定的回答は0</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上における本科目の位置づけから見ての内容の妥当性としては、教員免許の取得に向けた受講であり学生の志向に 応えるために、まさに現場の生の状況に触れることにより対応や指導を学ぶことができた授業であり妥当性があるものと思われる。</p> <p>②「学習到達度の自己評価」ではすべての項目で肯定的回答であり授業の到達度の目標が達成できたと言える。</p> <p>③自由記述では学生が教員を目指すに当たり良い職業選択ができるよう授業を進めてきたことから、担当教員への感謝の記述などをいただき 教員を目指して努力する姿に応援できるよう来年度に向けての励みになった。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」 「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①学生の担当教員への意見は「リモート学習であったため、途中で休憩を入れることによりリフレッシュでき良かった」との意見があった。</p> <p>②授業の質評価についてはすべての項目で肯定的な回答となった。</p> <p>③学習量の評価については「何をすればいいのかわからなかった」との意見があり、予習や課題を明確に示す必要性を感じた。</p> <p>④情報機器の活用はリモート授業のため度合いはわからなかったが、活用しやすかったのではないかとと思われる。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>総合評価として、概ね良好であった。昨今、教師という職業は非常に大変である職業のように言われているが、子ども達の成長する姿、人生の一部分であるが関わることのできる素晴らしい職業であることを、学生に伝えることができたのではないかと総合評価を感じることができた。</p> <p>来年度は学生が主体的に授業に参加できるよう考えてまいりたい。</p>
-------------------------------	---